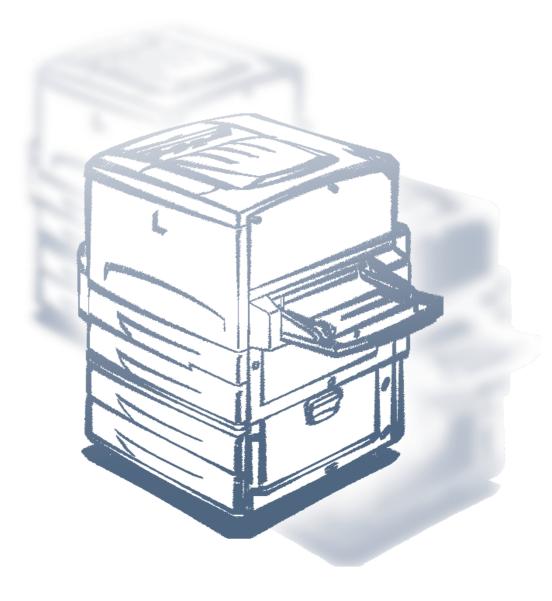
カラーレーザープリンター

DocuPrint C830

ドキュプリント

取扱説明書

THE DOCUMENT COMPANY

FUJI XEROX

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

「Microsoft」、「MS-DOS」、「Windows」、「Windows NT」は、
米国 Microsoft Corporation(マイクロソフト社)の米国およびその他の国における登録商標です。
画面の使用に関しては、米国マイクロソフト社の許諾を得ています。
「Novell」、「NetWare」は、米国ノベル社の登録商標です。
「Adobe」、「Acrobat」は、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)およびその子会社の
各国での商標または登録商標です。
「Apple」、「AppleTalk」、「EtherTalk」、「Macintosh」、「MacOS」、「TrueType フォント」は、
米国アップルコンピュータ社の登録商標もしくは商標です。
This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本製品は、RSA Security Inc. の RSA(R) BSAFETM Crypto-C を搭載しております。
RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国
およびその他の国における登録商標です。RSA Security Inc. All rights reserved.
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

平成明朝体™ W3、平成ゴシック体™ W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制(電波規制や材料規制など)は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

[XEROX] [The Document Company] [Ethernet (イーサネット)] は登録商標です。
[DocuWorks] [CentreWare] は商標です。

はじめに

このたびは、DocuPrint C830 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、本製品をはじめてご使用になるかたを対象に、機械の設置と必要なソフトウェアのインストール、機械の操作方法、使用上の注意事項について記載しています。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に必ず本書をお読みください。
また、本書を読んだあとも大切に保管してください。機械をご使用中に、操作上でわからないことや機械に不具合が生じたときに、読み直してご活用いただけます。

富士ゼロックス株式会社

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（ 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠 ）に適合しています。

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。
また、本書の「安全にご利用いただくために」をご一読ください。

この装置は、危険なレーザー光を出さない「クラス１のレーザーシステム」です。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

故障かな？　操作方法がわからない！

こんなときは、ここを読んでください

電源が入らない

P. 186

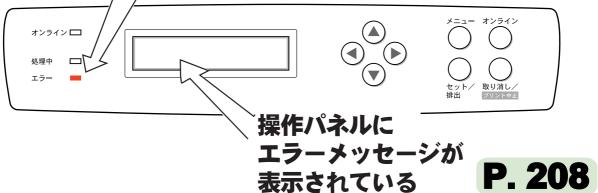
印刷できない

P. 187

エラーランプが点灯、点滅している

P. 217

操作パネルにエラーメッセージが表示されている

P. 208

印字品質が悪い

P. 194

トラブル発生！

対処方法が
見つからない場合は、

お買い求めの販売店、

または、

富士ゼロックス
プリンター
サポートデスク

にご連絡ください。

カバーF
P. 232

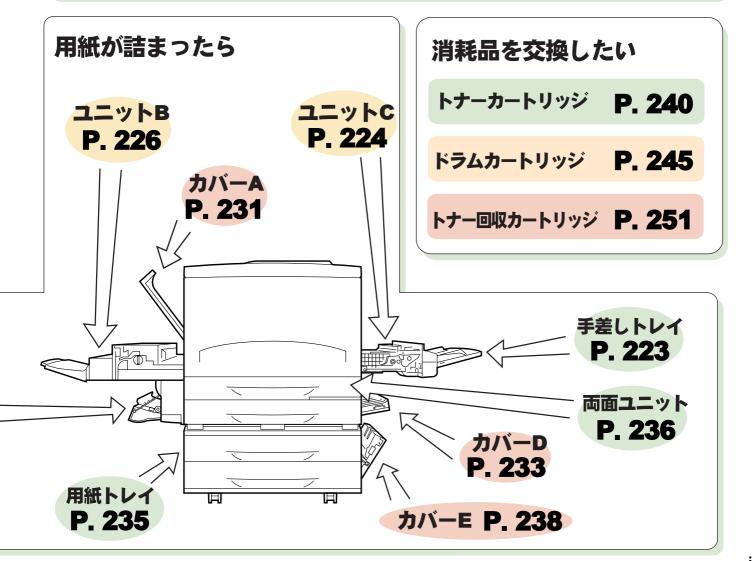
印刷を中止したい　P. 115

用紙のセットの仕方や印刷方法を知りたい

用紙が詰まったら

ユニットB P. 226
ユニットC P. 224
カバーA P. 231
手差しトレイ P. 223
両面ユニット P. 236
カバーD P. 233
用紙トレイ P. 235
カバーE P. 238

消耗品を交換したい

トナーカートリッジ	P. 240
ドラムカートリッジ	P. 245
トナー回収カートリッジ	P. 251

プリンターを使いこなそう

こんなこともできます

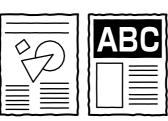
節約する

両面印刷をする キーワード：両面印刷する

オンラインヘルプ

複数ページ分の原稿を、
1枚の用紙に印刷する(まとめて1枚)

キーワード：
複数ページを1枚にまとめて印刷する

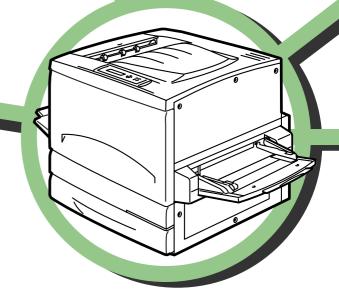
節電モードを設定する

P. 170

カラーを調整する

目的や種類によって、
画質タイプを設定する

色合いや画質を調整する

ディスプレイの色に
合わせて印刷する

『カラー印刷してみよう』

いろいろな機能を使って印刷する

オンラインヘルプ

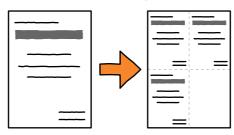
「社外秘」などの文字を、バックに印刷する(スタンプ)

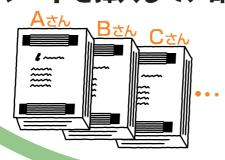
(Macintoshでは使用できません。)

キーワード：
スタンプ文字列を付けて印刷する

OHPフィルムの間に用紙を挿入して印刷する(OHP合紙)

キーワード：
OHP合紙

原稿を1枚の用紙に複数印刷する(画像繰り返し)

キーワード：
画像繰り返しの機能を使って印刷する

バナーシートを挿入して、印刷物の混在を防ぐ

キーワード：
バナーシートを付けて印刷する

プリンターを管理する

目　次

第 2 章　使用環境の設定

第 3 章　プリンタードライバーのインストール

第 4 章　プリンターの基本操作

第 5 章 使用できる用紙とセットの仕方

第 6 章　操作パネルについて

第 7 章　困ったときには

付　録

マニュアル体系について

本プリンターでは、次のマニュアルを用意しています。使用目的にあわせてご利用ください。なお、PDF ファイルで提供しているマニュアルは、画面に表示したり、印刷したりするとき、Adobe Acrobat Reader 4.0J 以降（Windows XP の場合は 5.0J 以降）が必要です。プリンターに同梱されている「CentreWare Utilities」CD-ROM から、必要に応じて、Adobe Acrobat Reader をお使いのコンピューターにインストールしてください。

『プリンターをお使いいただくために』

同梱品のご案内と、箱を開けてから、印刷できるまでのプリンターの設置手順の概要を説明しています。まず、このマニュアルを見て、同梱品を確認してください。
そのあと、『取扱説明書』とあわせて参照しながら、プリンターを設置してください。

『取扱説明書』　＜本書＞

プリンター本体の設置と、オプション（ 増設メモリー、ネットワーク拡張カード、ハードディスク ）の取り付け方、必要なソフトウェアのインストール方法を説明しています。
また、プリンターの基本的な印刷操作や、トラブル時の対処、消耗品の交換など、日常プリンターを使用するときに必要なことがらについて説明しています。

『ネットワークガイド』

ネットワークプリンターとして使用する場合の設置と操作、および印刷できる環境を整えるまでの手順を、ネットワーク環境別に詳しく説明しています。同梱されている CD-ROM に、PDF ファイルおよび DocuWorks ファイル（Windows 上でのみ、表示できます ）として収録しています。

『カラー印刷してみよう』

すぐに印刷してみたいというかたに、カラーのサンプル文書の紹介と印刷方法について説明しています。また、色についての基礎知識を楽しくイラストで紹介しています。同梱されている CD-ROM に、PDF ファイルとして収録しています。

本書の読み方

ここでは、本書の読み方について説明します。

前提知識

本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。
お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューター、オペレーティングシステム、ネットワークシステムに付属の説明書をお読みください。

本書の構成

本書は、次のような構成になっています。

第 1 章　プリンター本体の設置

設置場所を決め、同梱品を確認し、プリンターを設置場所に移動させてから、実際にプリンターを設置して、正しく作動するかどうかを確認するまでの手順を説明しています。

第 2 章　使用環境の設定

ネットワーク環境での設定方法など、プリンターを使用するために必要な環境と設定について説明しています。

第 3 章　プリンタードライバーのインストール

コンピューター側に必要なソフトウェア (プリンタードライバー) のインストール手順について説明しています。

第 4 章　プリンターの基本操作

プリンターの基本的な機能について、その使用方法を説明しています。

第 5 章　使用できる用紙とセットの仕方

使用できる用紙の種類や、用紙のセットの仕方、用紙トレイをオプションのトレイと交換するときの手順について説明しています。

第 6 章　操作パネルについて

操作パネルの操作方法と、操作パネルを使用して設定できるプリンターの各機能について説明しています。

第 7 章　困ったときには

プリンターにエラーメッセージが表示された場合の、メッセージの意味と対処方法を説明しています。

また、プリンターの使用中に起こりやすいトラブルについて、対処方法を説明しています。トラブルが起きたときは、プリンターの故障と判断する前に、この章をお読みください。

第 8 章　用紙が詰まったときには

プリンターに用紙が詰まったときの対処方法について説明しています。

第 9 章　消耗品の交換と日常の取り扱い

プリンターに必要な消耗品について、取り扱いの注意事項、および交換手順を説明しています。また、レポート / リスト、コンピューターからプリンターの状態を確認する方法、プリンターの清掃方法、長時間使用しない場合に必要な作業、プリンターを移動するときの方法、階調補正について説明しています。

付録

オプションと消耗品の紹介、操作パネルメニューの一覧、製品情報の入手方法、主な仕様、消耗品の寿命などを説明しています。

本書の表記

① 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

② 本文中では、説明する内容によって、以下のマークを使用しています。

注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

補足　補足事項を記述しています。

参照　参照先を記述しています。

③ 本文中では、以下の記号を使用しています。

参照「　　」：参照先は、本書内です。

参照『　　』：参照先は、本書内ではなく、ほかの説明書です。

「　　」：フォルダー、ファイル、アプリケーション、CD-ROM、機能などの名称や入力文字などを表します。

[　　]：コンピューター上のメニュー、ウィンドウやダイアログボックスと、それらに表示されるボタンや項目などの名称を表します。

〈　　〉キー：キーボード上のキーを表しています。

【　　】：プリンターの操作パネルに表示されるメッセージ、メニューの選択肢や設定値を表します。

④ チェックボックスがチェックされている状態をオン、チェックされていない状態をオフで表します。

⑤ ラジオボタンは、チェックされている項目が、選択されている項目です。

安全にご利用いただくために

機械を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」のページを最後までお読みください。

各図記号は以下のような意味を表しています

⚠警告　**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。**

⚠注意　**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。**

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

高温注意

発火注意

感電注意

指はさみ注意

⊘記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

禁　止

火気禁止

分解禁止

接触禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

指　示

プラグを抜け

アース線を接続せよ

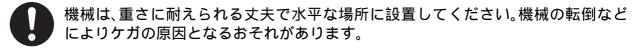
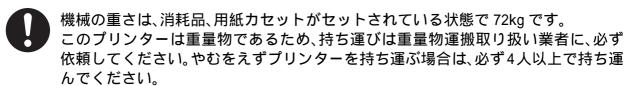
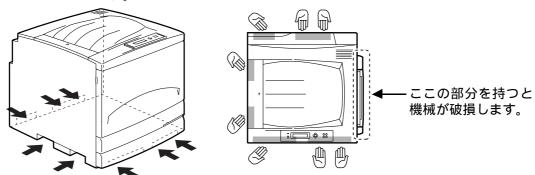
設置および移動時の注意

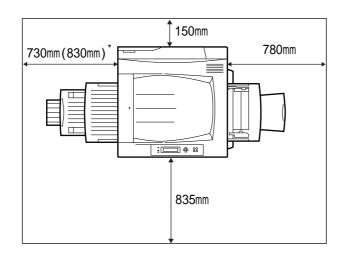
⚠注意

高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所には機械を設置しないでください。発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

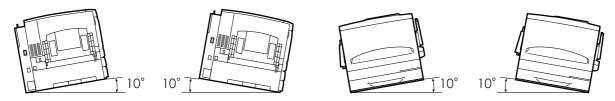
ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には機械を設置しないでください。発火の原因となるおそれがあります。

機械は、重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

機械の重さは、消耗品、用紙カセットがセットされている状態で 72kg です。
このプリンターは重量物であるため、持ち運びは重量物運搬取り扱い業者に、必ず依頼してください。やむをえずプリンターを持ち運ぶ場合は、必ず4人以上で持ち運んでください。

このプリンターは重量物であるため、持ち運びは重量物運搬取り扱い業者に、必ず依頼してください。やむをえず機械を持ち上げるときは、機械正面に向かって、前後両側と左側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。このくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるケガの原因となるおそれがあります。

このプリンターは重量物であるため、持ち運びは重量物運搬取り扱い業者に、必ず依頼してください。やむをえず機械を持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

機械の側面および背面には通気口があります。機械は壁から 150㎜ 以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
また、機械の操作および消耗品類の交換、日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

* ( ) 内は、オプションの両面印刷モジュールを取り付けた場合です。

機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

機械を移動する場合は、機械を下図に示す角度以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

オプションのトレイモジュールを設置した後は、トレイモジュールのキャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動きケガの原因となるおそれがあります。

その他

- **いつも良い状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。温度 10 ～ 32 ℃　湿度 15 ～ 85%（結露がないこと）温度が 32 ℃のときは湿度 65% 以下、湿度が 85% のときは温度 28 ℃以下でお使いください。**

  補足

  冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し、部分的に印刷できない場合があります。

- **直射日光の当たる場所には機械を置かないでください。故障の原因となることがあります。**

- **機械を前後方向 5㎜、左右方向 10㎜ 以上傾けないでください。機械内部の消耗品がこぼれるなど故障の原因となります。**

- **機械を移動するときに、ドラムカートリッジやトナー回収カートリッジを取り外し、再度取り付けることはしないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因となります。**

- **エアコン、ヒーターの風が直接当たる場所に設置しないでください。機械内部の温度条件が変わり、故障の原因となります。**

電源およびアース接続時の注意

⚠警告

電源プラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は、100V 、11A となっています。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。発熱による火災のおそれがあります。なお、延長コードが必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

次のようなときには直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。

- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 機械の内部に水が入ったとき

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 650㎜ 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

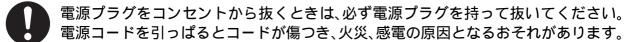
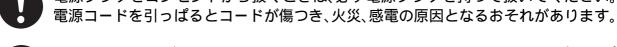
ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。
• ガス管 (引火や爆発の危険があります。)
• 電話専用アース線および避雷針 (落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。)
• 水道管や蛇口 (配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

電源コードが傷んだら (芯線の露出、断線) 、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクに交換をご依頼ください(有償)。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

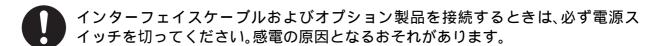
⚠注意

機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。
なお、異常がある場合はお買い求めの販売店までご連絡ください。
• 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
• 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
• 電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
• 電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか。

連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

インターフェイスケーブルおよびオプション製品を接続するときは、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

その他

● 受信障害について
ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキ、ゆがみなどの電波障害が発生し、電波障害の原因が本機であると考えられる場合は、機械の電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
・ 機械とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
・ 機械とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
・ 機械とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
・ 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。
（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
・ ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

機械使用上の注意

⚠警告

機械の上に花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。

機械の上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、機械内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。

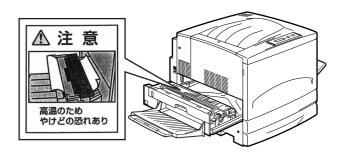
万一、異物（金属片、水、液体）が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。

この装置は、レーザーの国際規格　ＩＥＣ60825　に適合しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは装置内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。従って、お客様が使用される場合はレーザーは被爆しません。取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になることがあります。

⚠注意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。
なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。

機械の上に重いものを載せないでください。機械のバランスが崩れて倒れたり、重いものが落下してケガの原因となるおそれがあります。

機械の近くまたは内部で強燃性スプレーや引火性溶剤を使用しないでください。引火による火災の原因となるおそれがあります。

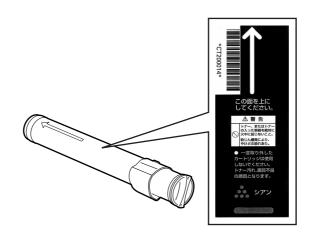
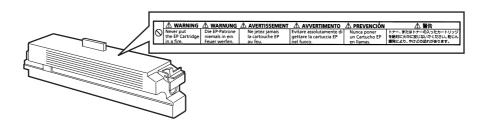
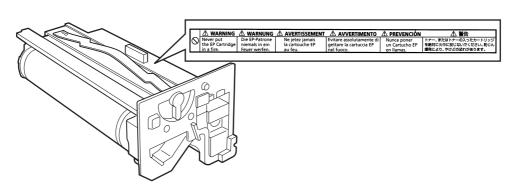
つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。
なお、紙片や用紙がヒーター部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクに連絡してください。

その他

- 紙づまりや故障の処置を行うときは、取扱説明書をよくお読みください。

消耗品取り扱い上の注意

⚠警告

トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

トナー回収カートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

ドラムカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

その他

● 消耗品は、ご使用になるまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
  - 高温、多湿の場所
  - 火気のある場所
  - 直射日光の当たる場所
  - ホコリが多い場所
  - 消耗品を使用するときは、消耗品の箱や容器に記載された「取り扱い上の注意」をよく読んでから使用してください。

● 以下の事項に従って、応急措置を行ってください。
  - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
  - トナーが皮膚に付着した場合は、せっけんを使ってよく洗い流してください。
  - トナーを吸引した場合は、暴露環境から離れて、多量の水でよくうがいをしてください。
  - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだ物を吐き出し、すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

● トナーがいっぱいになって取り出したトナー回収カートリッジは、再度ドラムカートリッジ内に戻して使用しないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因となります。

● 使用中のドラムカートリッジやトナー回収カートリッジを一時的に取り出して、傾けたり振ったりしないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因となります。

国際エネルギースタープログラムの目的

国際エネルギースタープログラムは、大切な地球環境を守るために以下のような方法を推奨し、エネルギーを節約することを目的にしています。本機は、この国際エネルギースタープログラムの基準に適合しています。

節電モード 2 について

本機は電力消費量を軽減するために、自動的に消費電力を節約する機能をもっています。工場出荷時の設定では、節電モード 1 に移行してから、さらに 15 分以上この機器が使用されなかった場合に、自動的に定着部の温度を下げ消費電力を節約するようになっています。この設定は 5 ～ 120 分の間で任意に調節できます。操作の詳細については「第 6 章　操作パネルについて」をごらんください。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
   - □ 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
   - □ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン件、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。

2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
   - □ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図画。
   - □ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
   - □ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
   - □ 役所または公務員の印影、署名、記名。
   - □ 私人の印影または署名。

3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、図面、地図、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
   - (1)複製　紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
   - (2)改変　紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。
   - (3)送信　電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

   権利者の許諾なく複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。
   - □ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
   - □ 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
   - □ 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。
   - □ 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
   - □ 学校教科書への掲載。ただし、権利者への補償金が必要です。
   - □ 学校その他教育機関における複製。ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
   - □ 試験問題としての複製。ただし、権利者への補償金が必要です。

プリンター本体の設置

1 章

1.1 各部のテープとスペーサーを取り外す

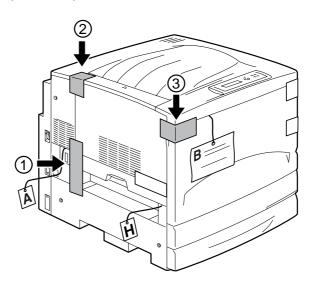
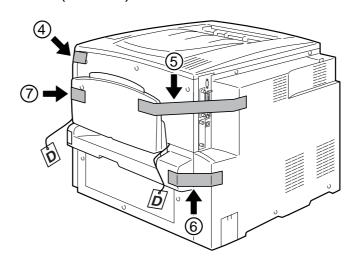
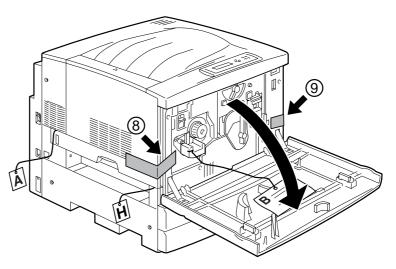
梱包箱から取り出したプリンターは、輸送時の振動や衝撃から守るために、カバーの開閉部分などをテープで止めたり、各部にスペーサーを取り付けたりしています。プリンターの据え置きが終了したら、まず、各部のテープやスペーサーを取り外します。

注記

- プリンターを購入した場合は、プリンターの開梱とお客様指定位置までの運搬は搬入業者が行います。プリンターの持ち運びは、搬入業者にお任せください。
- テープやスペーサーが残ったままプリンターを使用すると、紙づまりや故障の原因になることがあります。必ず、次の手順に従って、すべてのテープとスペーサーを取り外してください。

1.1.1 各部のテープを取り外す

プリンターには、テープで留められている箇所が 9 か所あります。
下の図を参照して、すべてのテープをはがしてください。

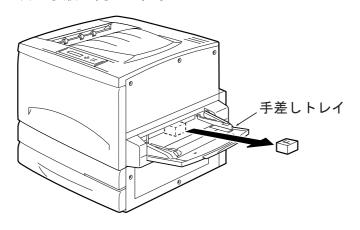
プリンター本体左側 (3 か所)

プリンター本体右側 (4 か所)

フロントカバー内部 (2 か所)

1.1.2 各部のスペーサーを取り外す

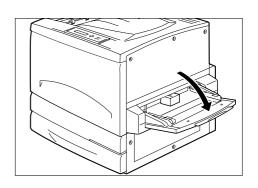
プリンターには、7 種類 8 個のスペーサーと 4 個のトナーカバーが取り付けられています。
すべてのスペーサーとカバーを取り外してください。

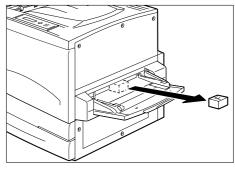
注記

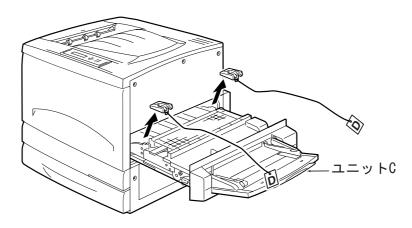
B、C、D、E、F と書かれたスペーサーは、プリンターを長距離移動させるときに必要です。なくさずに保管しておいてください。

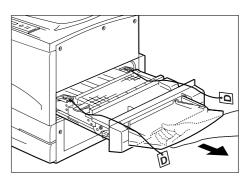
手差しトレイのスペーサーを取り外す

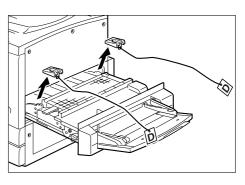
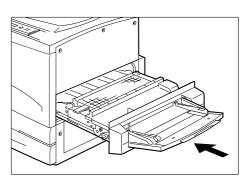
次の手順に従って、手差しトレイのスペーサーを取り外します。

操作手順

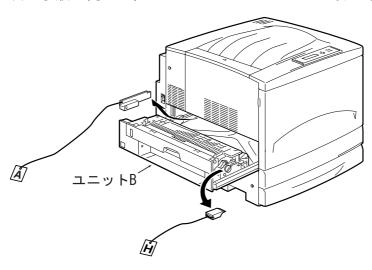
1 **手差しトレイを開けます。**

2 **図の位置にあるスペーサー(F と書かれています)を取り外します。**

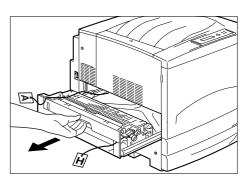
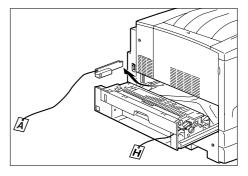
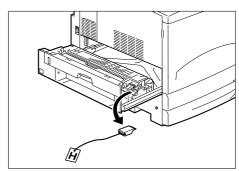
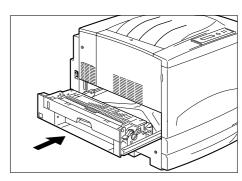
補足
移転などプリンターを長距離移動する可能性がある場合は、F のスペーサーを保管しておいてください。

ユニット C のスペーサーを取り外す

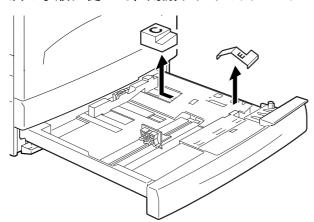
次の手順に従って、ユニット C のスペーサーを取り外します。

操作手順

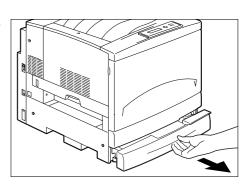
1 **ユニット C を、止まるまでゆっくり引き出します。**

2 **図の位置にあるオレンジ色のスペーサー(D と書かれたタグが付いています)を引いて外します。**

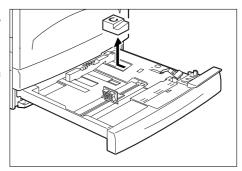
補足
移転などプリンターを長距離移動する可能性がある場合は、D のスペーサーを保管しておいてください。

3 **ユニットCを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。**

ユニット B のスペーサーを取り外す

次の手順に従って、ユニット B のスペーサーを取り外します。

操作手順

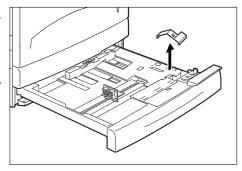
1 **ユニット B を、止まるまで引き出します。**

2 **ユニット B の奥にあるスペーサー (A と書かれたタグが付いています) を、スペーサーに付いている紐を引いて取り外します。**

3 図の位置にあるスペーサー(Hと書かれたタグが付いています)を、スペーサーに付いている紐を引いて取り外します。

4 ユニットBを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

用紙トレイのスペーサーを取り外す

次の手順に従って、用紙トレイのスペーサーを取り外します。

操作手順

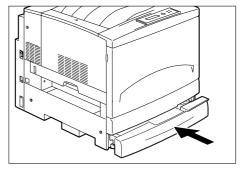
1 用紙トレイを、止まるまで手前に引き出します。

2 **図の位置にあるスペーサー(C と書かれています)を取り除きます。**

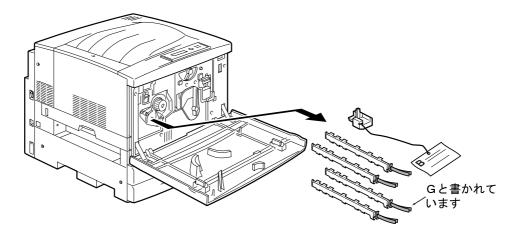
このスペーサーは、コの字の形をしているので、いったんプリンターの奥側にずらしてから、上に持ち上げてください。

3 **図の位置にあるスペーサー(E と書かれています)を取り除きます。**

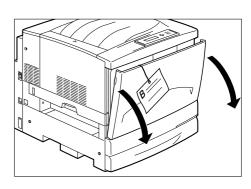
補足

移転などでプリンターを長距離移動する可能性がある場合は、CおよびEのスペーサーを保管しておいてください。

4 **用紙トレイを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。**

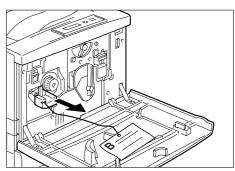
注記

用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

トナーカートリッジ取り付け口のスペーサーとトナーカバーを取り外す

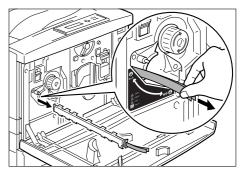
次の手順に従って、トナーカートリッジ取り付け口のスペーサーとトナーカバーを取り外します。

操作手順

1 **フロントカバーを開けます。**

2 **図の位置にある回転止めスペーサー (B と書かれたタグが付いています) を引き抜いて外します。**

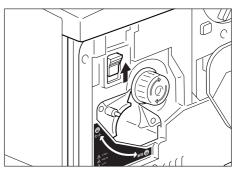
補足

移転などプリンターを長距離移動する可能性がある場合は、B のスペーサーを保管しておいてください。

3 **トナーカートリッジ取り付け口にあるトナーカバーを、先端の取っ手 (G と書かれています) を引っ張って外します。**

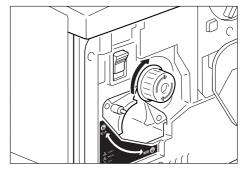
補足

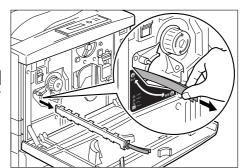
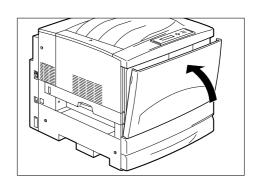
このトナーカバーは、4 つのトナーカートリッジ取り付け口にそれぞれ取り付けられています。次の手順で残りの 3 個も取り外します。

4 **回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで押し上げ、手を離します。**

注記

回転防止スイッチを押し上げたら、手を離してください。回転防止スイッチは、次の手順でノブを回すと自動的に下がるしくみになっています。

5 **ノブを矢印の方向に止まるまで回し、次のカートリッジを取り付け口に移動させます。**

補足

ノブを回すと、「カチッ」と音がして回転防止スイッチが下がります。

6 **正面に移動してきたトナーカバーを、先端の取っ手を引っ張って外します。**

7 **手順 4 〜 6 の操作を繰り返します。4 個のトナーカバーがすべて取り外されていることを確認してください。**

8 **フロントカバーを閉じます。**

9 **プリンター本体に同梱されていた保守連絡先カードを、機械前面に貼ってください。**

1.2 トレイモジュールと両面印刷モジュールを取り付ける

オプションのトレイモジュールや、両面印刷モジュールを購入している場合は、ここでプリンター本体に取り付けます。
取り付け方は、次に示す項、またはマニュアルを参照してください。

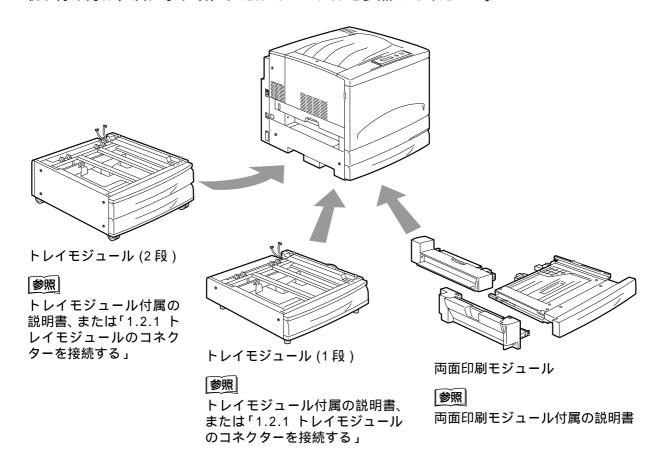
トレイモジュール (2 段)

参照
トレイモジュール付属の説明書、または「1.2.1 トレイモジュールのコネクターを接続する」

トレイモジュール (1 段)

参照
トレイモジュール付属の説明書、または「1.2.1 トレイモジュールのコネクターを接続する」

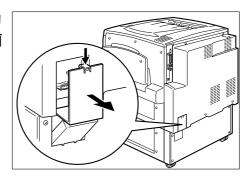
両面印刷モジュール

参照
両面印刷モジュール付属の説明書

補足
専用キャビネットを購入している場合も、ここでプリンター本体に取り付けます。
取り付け方は、専用キャビネットに付属の説明書を参照してください。

1.2.1 トレイモジュールのコネクターを接続する

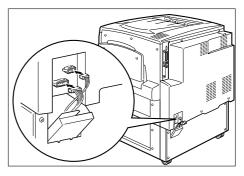
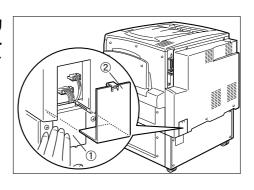
トレイモジュールを購入した場合、搬入業者が設置作業をしますが、コネクターが接続されていない場合があります。
トレイモジュールから出ている 2 本のコネクターケーブルが、プリンター本体に接続されているかどうかを確認し、接続されていない場合は、次の手順に従って作業してください。ここではトレイモジュール (2 段) の例で説明します。

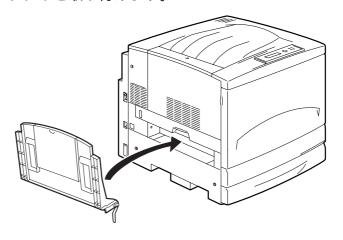
操作手順

1 **プリンター背面にあるコネクターカバーを、上部のツメを押しながら手前に引いて外します。**

2 **トレイモジュールから出ている 2 本のコネクターケーブルを、プリンター本体の 2 か所のコネクター差し込み口に、外側の枠とコネクターの高さが同じになるまで押し込んで接続します。**

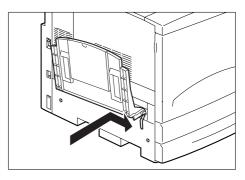
注記

- 2 つのコネクターは、大きさが異なります。図のように大きさが合うコネクターを接続してください。
- コネクターは強い力で押し込まないでください。指や爪を傷つけるおそれがあります。

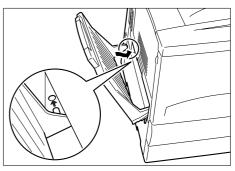
3 **トレイモジュール側のコネクターカバー (①) を押さえながら、プリンター側のコネクターカバー (②) を、ガイドに沿って取り付けます。**

1.3 サイドトレイを取り付ける

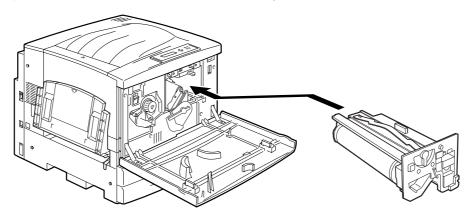
次の手順に従って、サイドトレイを取り付けます。

操作手順

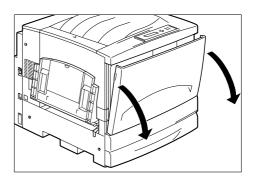
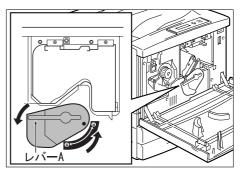
1 **サイドトレイを立てるように持ち、トレイの右側の突起部をプリンター側の穴にはめ込みます。**

このとき、金属部分をプリンターの中に入れないで、トレイの下側に出すようにしてください。

2 **サイドトレイの左側の突起部をプリンター側の穴にはめ込みます。**

注記

サイドトレイの突起部は、破損しやすいので注意してください。

1.4 ドラムカートリッジを取り付ける

次の手順に従って、ドラムカートリッジを取り付けます。

操作手順

1 フロントカバーを開けます。

2 オレンジ色のレバー A を図の矢印の方向に回し、「●」印を解除位置（🔓）に合わせます。

3 新しいドラムカートリッジを梱包箱から取り出し、カートリッジを覆っている保護シートを緑色の矢印部分を引っ張ってはがします。

注記

- ドラムの表面(青色)は手で触らないでください。ドラムの表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。ドラムの表面に傷や手の脂、汚れなどが付くと、印刷写りが悪くなります。
- 保護シートは、ドラムカートリッジを水平にした状態ではがしてください。

4 ドラムカートリッジの取っ手を持ち、左右のガイドをプリンター本体のレールに載せて、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

注記

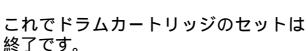
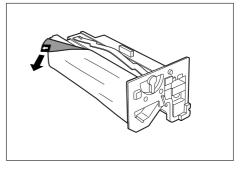
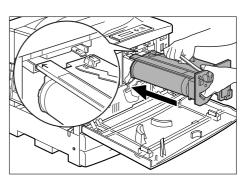
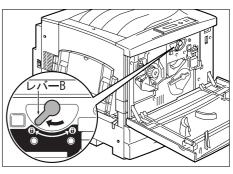
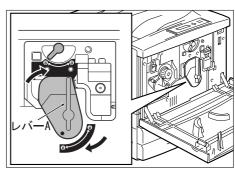
- ドラムカートリッジのガイドがきちんとレールに載っていない状態で挿入すると、カートリッジの破損の原因になります。
- ドラムの表面(青色)が、ほかの部品に接触しないように注意してください。

5 レバーB を図の矢印の方向に回し、セット位置 (🔒) に合わせます。

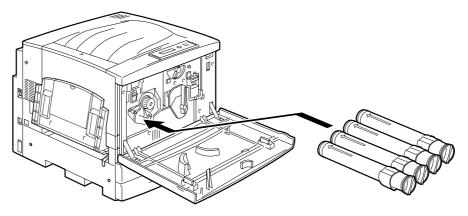
注記

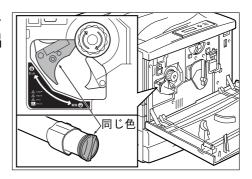
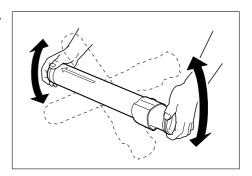
ドラムカートリッジが奥まで押し込まれていないと、レバーは回りません。

6 レバーA を図の矢印の方向に回し、「●」印をセット位置 (🔒) に合わせます。

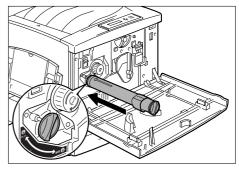
これでドラムカートリッジのセットは終了です。

続けて、トナーカートリッジを取り付けます。フロントカバーは開けたまま、次の手順に進んでください。

1.5 トナーカートリッジを取り付ける

次の手順に従って、トナーカートリッジを取り付けます。

注記
トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗い流してください。

操作手順

1 **差し込み位置の色と同じ色の新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出します。**

2 **図のように 7 ～ 8 回振り、中のトナーを均一にします。**

3 トナーカートリッジの先端の矢印を上にして、プリンターの奥に突き当たるまでしっかり差し込みます。

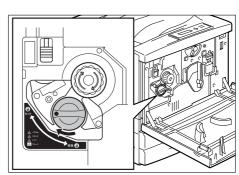
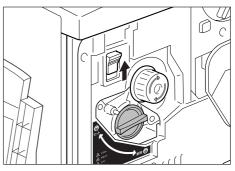
注記

トナーカートリッジをしっかり差し込まないで操作すると、故障の原因になります。

4 トナーカートリッジを図の矢印の方向に止まるまで回し、トナーカートリッジ側の「●」印をプリンター側の「セット」( ) に合わせます。

注記

トナーカートリッジを最後までしっかり回さないと、トナーがこぼれることがあります。

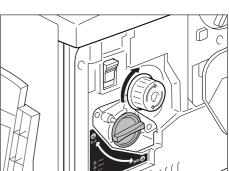
5 回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで押し上げ、手を離します。

注記

回転防止スイッチを押し上げたら、手を離してください。回転防止スイッチは、次の手順でノブを回すと自動的に下がるしくみになっています。

6 ノブを図の矢印の方向に止まるまで回し、セットしたトナーカートリッジを移動させます。

注記

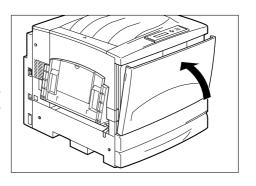
トナーカートリッジが正しくセットされていないとノブは回りません。
ノブが動かない場合は、トナーカートリッジが正しくセットされているかどうかを確認してください。

補足

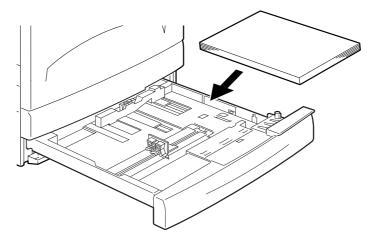
ノブを回すと、「カチッ」と音がして回転防止スイッチが下がります。

7 **残りの 3 つのトナーカートリッジについても同様に、手順 1 ～ 6 の操作を行います。最後のトナーカートリッジについては、手順 5、6 は不要です。**

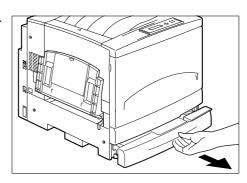
8 **フロントカバーを閉じます。**

注記

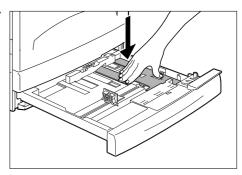
ドラムカートリッジの取り付け口にある、レバーA、B が正しいセット位置に合っていないと、フロントカバーを閉じることができません。フロントカバーを閉じることができない場合は、レバーA、B がセット位置に合っているかどうかを確認してください。

1.6 用紙をセットする

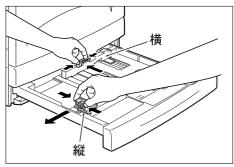
次の手順に従って、トレイに用紙をセットします。

参照
使用できる用紙や、手差しトレイに用紙をセットする方法は、「第5章　使用できる用紙とセットの仕方」を参照してください。

1.6.1 トレイ1に用紙をセットする

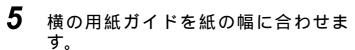
ここでは、トレイ1にA4サイズの用紙を縦置きにセットする例で説明します。

操作手順

1 **用紙トレイを、止まるまで手前に引き出します。**

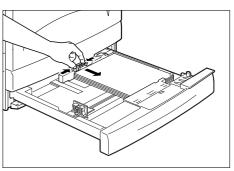
2 用紙トレイの、金属の底板を手で下げて、上に浮き上がらないように固定します。

3 縦、横の用紙ガイドクリップを指でつまみながら、ガイドを外側にずらします。

縦の用紙ガイドは、左側いっぱいまでずらしてください。

4 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にして、右手前側にあるツメの下に用紙をセットします。

注記

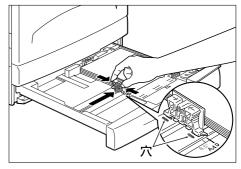
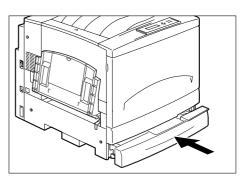
- 折りめやシワが入った用紙、反りが大きい（カールしている）用紙は使用しないでください。
- 最大収容枚数(用紙上限)を超えて、用紙をセットしないでください。
- 用紙はツメの下にセットし、ツメの上に載せないようにしてください。

5 横の用紙ガイドを紙の幅に合わせます。

注記

用紙ガイドを用紙に強く押しつけすぎると、紙づまりの原因になります。逆にゆるすぎると、紙のねじれの原因になります。

6 用紙の端をそろえたあと、縦の用紙ガイドの先端（▽）を用紙サイズ目盛りに合わせます。

- 縦の用紙ガイドのストッパーが目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- 縦の用紙ガイドが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときは、いったん縦の用紙ガイドを左端までずらし、再度目盛りに合わせてください。

7 用紙トレイを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

注記

用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

1.6.2 トレイ 2、3 に用紙をセットする

オプションのトレイモジュールを取り付けている場合は、次の手順でトレイ 2 と 3 に、用紙をセットします。ここでは、トレイ 2 に A4 サイズの用紙を縦置きにセットする例で説明します。

補足

同様の手順で、トレイ 3 にも用紙をセットできます。

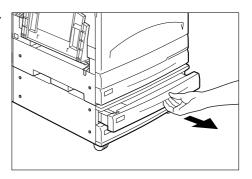
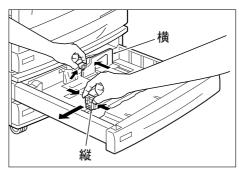
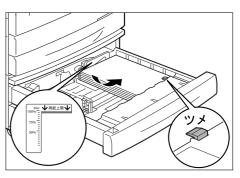
操作手順

1 **用紙トレイを、止まるまで手前に引き出します。**

2 **縦、横の用紙ガイドクリップを指でつまみながら、ガイドを外側にずらします。**

縦の用紙ガイドは、左側いっぱいまでずらしてください。

3 **用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にしてセットします。**

注記

- 折りめやシワが入った用紙、反りが大きい（カール している）用紙は使用しないでください。
- 最大収容枚数(用紙上限)を超えて、用紙をセットしないでください。
- 図の灰色のツメは、用紙が斜めに送られるのを防ぐためのものです。このツメの高さまで、用紙をセットしないでください。

4 横の用紙ガイドを紙の幅に合わせ、「カチッ」と固定されるまでずらします。

注記

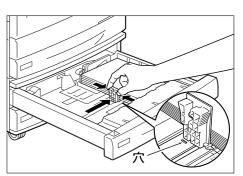
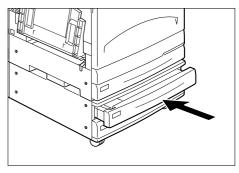
- 横の用紙ガイドのストッパーが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- 横の用紙ガイドのストッパーが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときはいったん横の用紙ガイドを奥までずらし、再度目盛りに合わせてください。

5 用紙の端をそろえたあと、縦の用紙ガイドの先端（▽）を用紙サイズ目盛りに合わせます。

注記

- 縦の用紙ガイドのストッパーが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- 縦の用紙ガイドが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときはいったん縦の用紙ガイドを左端までずらし、再度目盛りに合わせてください。

6 用紙トレイを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

注記

用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

1.7 オプション品を取り付ける

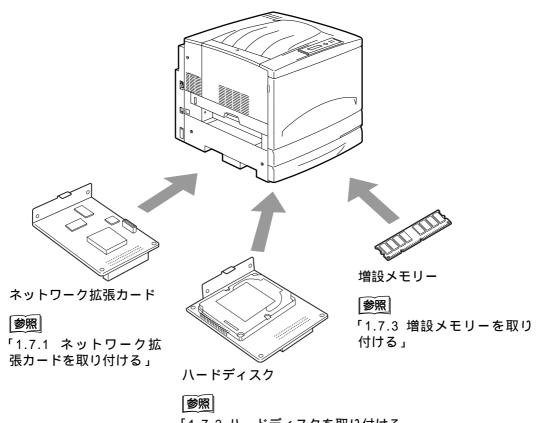
オプションのネットワーク拡張カードや増設メモリー、ハードディスクを購入している場合は、プリンター本体に取り付けます。
取り付け方は、次に示す項を参照してください。
なお、ネットワーク拡張カードと増設メモリー、ハードディスクは、プリンター本体右側面の右上カバーを開けた状態で取り付けます。このあとの各項目では、取り付け後に右上カバーを閉じる手順を説明していますが、複数のオプションを購入している場合は、すべて取り付けてから、右上カバーを閉じてください。

ネットワーク拡張カード

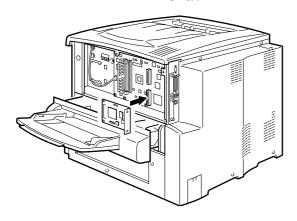
参照
「1.7.1 ネットワーク拡張カードを取り付ける」

ハードディスク

参照
「1.7.2 ハードディスクを取り付ける」

増設メモリー

参照
「1.7.3 増設メモリーを取り付ける」

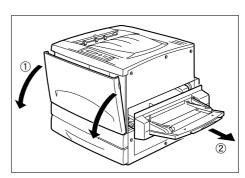
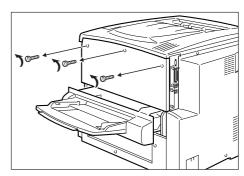
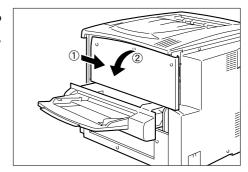
1.7.1 ネットワーク拡張カードを取り付ける

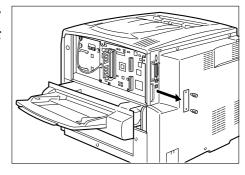
本プリンターには TCP/IP に対応したネットワーク機能があります。NetWare や SMB、EtherTalk のネットワーク環境でも印刷できるようにするためには、オプションのネットワーク拡張カードをプリンター本体に取り付けます。

ネットワーク拡張カードを取り付ける手順は、次のとおりです。

⚠注意
インターフェイスケーブルおよび別売品を接続するときは、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

補足
別のオプションを取り付けたあとで、すでにプリンター本体右側面の右上カバーが開いている場合は、手順 4 から作業してください。

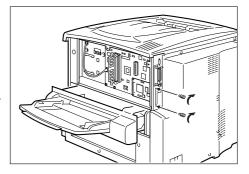
操作手順

1 **フロントカバーを開け（①）、ユニット C を引き出します（②）。**

2 **プリンター本体右側面の、右上カバー上にある 3 本のネジを外します。**

3 **右上カバーをプリンター背面側にずらし（①)、手前に倒して外します（②)。**

4 **プリンター本体背面にあるネットワーク拡張カード用カバーの 2 本のネジを外します。**

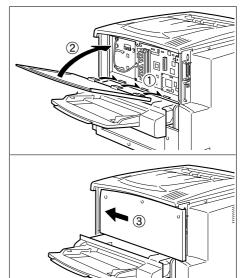
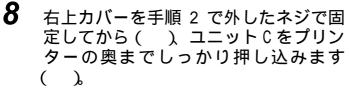
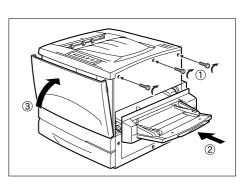
補足
取り外したカバーは、大切に保管してください。

5 **ネットワーク拡張カードのコネクターを、インターフェイスボード側のコネクターに合わせ（ ①)、上から押してしっかり差し込みます (②)。**

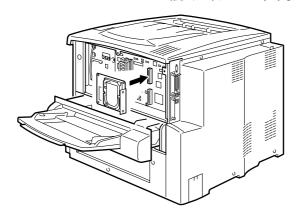
注記
基板の一部が高温になっていることがあるので注意してください。また、故障の原因になるので、基板には手を触れないでください。

6 **手順 4 で外したネジで、ネットワーク拡張カードを固定します。**

補足
このほかにハードディスクや増設メモリーを取り付ける場合は、以降の手順を行わないで、続けて作業してください。

7 **右上カバー下側の突起部を、プリンター本体の穴に差し込み（①）、プリンター本体側に倒します（②）。**

右上カバーをプリンター前面側にずらし（③）、しっかりとはめ込みます。

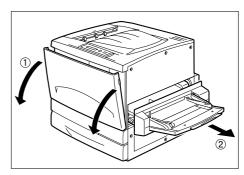
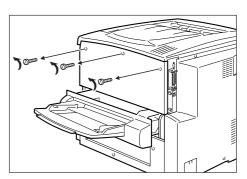
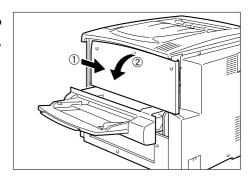
8
右上カバーを手順 2 で外したネジで固定してから（①）、ユニット C をプリンターの奥までしっかり押し込みます（②）。

最後に、フロントカバーを閉じます（③）。

1.7.2　ハードディスクを取り付ける

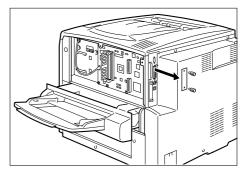
プリンターにハードディスクを取り付けると、電子ソート機能が使用できます。電子ソート機能は、ハードディスクにデータを取り込み、2 部め以降はハードディスクからデータを読み出すので、高速に印刷できます。

プリンター本体にハードディスクを取り付ける手順について説明します。

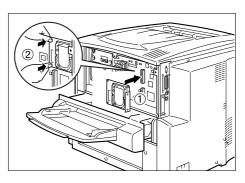
> ⚠注意
> **インターフェイスケーブルおよび別売品を接続するときは、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。**

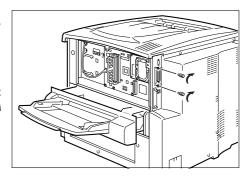
補足
別のオプションを取り付けたあとで、すでにプリンター本体右側面の右上カバーが開いている場合は、手順 4 から作業してください。

操作手順

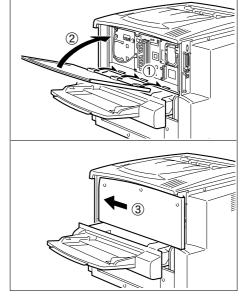
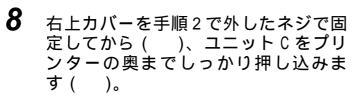
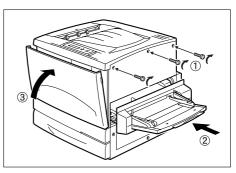
1　フロントカバーを開け (①)、ユニット C を引き出します (②)。

2 **プリンター本体右側面の、右上カバー上にある 3 本のネジを外します。**

3 **右上カバーをプリンター背面側にずらし (①)、手前に倒して外します（②)。**

4 **プリンター本体背面にあるハードディスク拡張用カバーの 2 本のネジを外します。**

補足
取り外したカバーは、大切に保管してください。

5 **ハードディスクのコネクターを、インターフェイスボード側のコネクターに合わせ (①)、上から押してしっかり差し込みます。**

注記
基板の一部が高温になっていることがあるので注意してください。また、故障の原因になるので、基板には手を触れないでください。

6 **手順 4 で外したネジで、ハードディスクの増設カードを固定します。**

補足
このほかにネットワーク拡張カードや増設メモリーを取り付ける場合は、以降の手順を行わないで、続けて作業してください。

7 **右上カバー下側の突起部を、プリンター本体の穴に差し込み (①)、プリンター本体側に倒します (②)。**

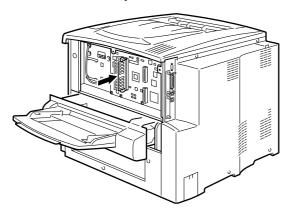
右上カバーをプリンター前面側にずらし (③)、しっかりとはめ込みます。

8
右上カバーを手順 2 で外したネジで固定してから (①)、ユニット C をプリンターの奥までしっかり押し込みます (②)。

最後に、フロントカバーを閉じます(③)。

1.7.3　増設メモリーを取り付ける

プリンターに増設メモリーを追加すると、プリンターのメモリー容量が増えます。大量のカラーデータを印刷する場合は、増設メモリーの追加をお勧めします。

注記

本プリンターでは、次の増設メモリーを用意しています。これ以外の増設メモリーを使用した場合のトラブルは、保証できません。

- 形状：168 ピン DIMM SDRAM
- 容量：64、128Mbyte

補足

- 本プリンターのメモリー用のスロットは、2 つあります。標準で、左側のスロットに、64Mbyte のメモリーが付いています。これをより容量が大きい増設メモリーと交換すれば、256Mbyte(128Mbyte × 2) まで増やすことができます。
- メモリーを取り外す場合は、このあとの手順 4 の補足を参照してください。

増設メモリーを取り付ける手順は、次のとおりです。

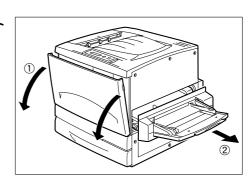
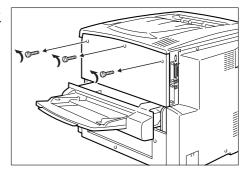
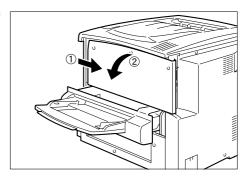
⚠注意

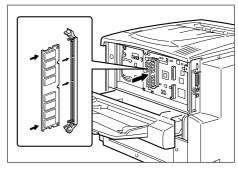
インターフェイスケーブルおよび別売品を接続するときは、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

補足

別のオプションを取り付けたあとで、すでにプリンター本体右側面の右上カバーが開いている場合は、手順 4 から作業してください。

操作手順

1 **フロントカバーを開け (①)、ユニット C を引き出します (②)。**

2 **プリンター本体右側面の右上カバー上にある 3 本のネジを外します。**

3 **右上カバーをプリンターの背面側にずらし (①)、手前に倒して外します (②)。**

4 **メモリー用スロットの両端にあるイジェクトレバーを外側に倒します。**

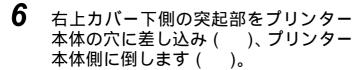
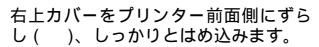
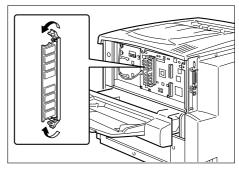
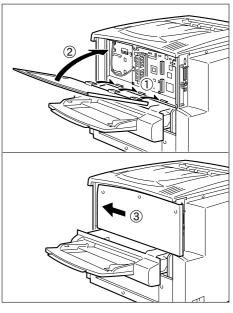
メモリーの両端を持ち、2 つの切れめと、スロット側の 2 つの凸部分を正しく合わせて、まっすぐに差し込みます。

注記
基板の一部が高温になっていることがあるので注意してください。また、故障の原因になるので、基板には手を触れないでください。

補足

すでに取り付けられているメモリーを取り外す場合は、イジェクトレバーを外側に倒したあと、まっすぐ引き抜いてください。

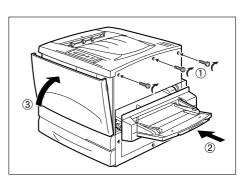
5 **メモリーをスロットにしっかり差し込んだら、スロットの両端にあるイジェクトレバーを内側に倒して固定します。**

補足

このほかにネットワーク拡張カードやハードディスクを取り付ける場合は、以降の手順を行わないで、続けて作業してください。

6
右上カバー下側の突起部をプリンター本体の穴に差し込み (①)、プリンター本体側に倒します (②)。

右上カバーをプリンター前面側にずらし (③)、しっかりとはめ込みます。

7 **右上カバーを手順 2 で外したネジで固定してから (①)、ユニット C をプリンターの奥までしっかり押し込みます (②)。**

最後に、フロントカバーを閉じます(③)。

1.8 ケーブルを接続する

ローカルプリンターで使用する場合は、パラレルケーブルまたは USB ケーブルで、プリンターとコンピューターを直接接続します。
USB ケーブルは、コンピューターにプリンタードライバーをインストールしてから実施します。
ネットワークプリンターで使用する場合は、イーサネットケーブルでプリンターをネットワークに接続します。

参照

USB ケーブルを接続する方法は、「3.1.7　USB ポートの設定をする」を参照してください。

1.8.1 パラレルケーブルを接続する

パラレルケーブルは、プリンター、およびコンピューターに合ったものを用意してください。

補足

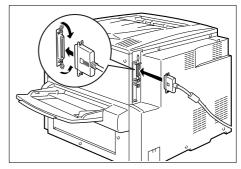
- 本プリンターでは、パラレルケーブルとイーサネットケーブルを同時に接続して使用できます。
- 本プリンターでは、接続するコンピューターに合わせて次のパラレルケーブル（オプション）を用意しています。
  ①パラレルインターフェイスケーブル (PC98 用 36Pin)
  ②パラレルインターフェイスケーブル (PC/AT 用)
  ③PC98MATE 用接続ケーブル

パラレルケーブルを接続する手順は、次のとおりです。

> ⚠注意
> **インターフェイスケーブルを接続するときには、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。**

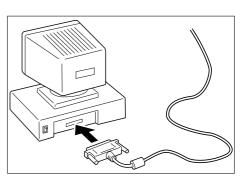
操作手順

1 **プリンター本体背面のパラレルインターフェイスコネクターに、パラレルケーブルを接続します。**

差し込んだあと、両端を金具で固定します。

2 **パラレルケーブルの他方を、コンピューターのパラレルインターフェイスコネクターに接続します。**

差し込んだあと、両端のネジを締めて固定します。

補足

コンピューターの機種によって、パラレルインターフェイスコネクターの場所が異なります。

1.8.2　イーサネットケーブルを接続する

本プリンターが対応しているイーサネットインターフェイスは、次のとおりです。

- **10BASE-T(半二重モード、全二重モードに対応)**
- **100BASE-TX(半二重モード、全二重モードに対応)**

補足

10BASE-T と 100BASE-TX は、自動的に切り替わります。操作パネルを使用して、種類やモードを特定することもできます。イーサネットインターフェイスを特定する方法については、「第 6 章　操作パネルについて」を参照してください。

イーサネットケーブルは、使用しているネットワークの接続形態に合ったツイストペアケーブルを用意してください。

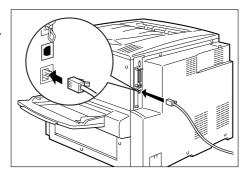
注記

100BASE-TX の場合は、カテゴリー 5 のケーブルが必要です。

イーサネットケーブルを接続する手順は、次のとおりです。

> ⚠注意
> **インターフェイスケーブルを接続するときには、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。**

操作手順

1 **プリンター本体背面のイーサネットインターフェイスコネクターに、イーサネットケーブルを接続します。**

1.9 電源を入れて、作動することを確認する

プリンターにすべての付属品が取り付けられたので、ここでは電源コードを接続し、電源を入れてプリンターが正常に作動することを確認します。

1.9.1 電源コードを接続する

手順は次のとおりです。

⚠警告

電源プラグは、定格電圧 100V、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は、100V 、11A となっています。

⚠警告

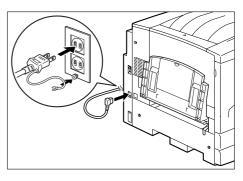
万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。

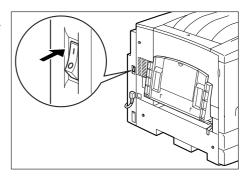
- **電源コンセントのアース端子**
- **銅片などを 650㎜ 以上地中に埋めたもの**
- **接地工事 (D 種) を行っている接地端子**

操作手順

1 **電源コードを、プリンター本体左側面にある電源コードコネクターに接続します。**

2 **電源コードの他方を、電源コンセントに差し込みます。**

電源コンセントにアースが付いている場合は、アースも接続します。

1.9.2 電源を入れる

手順は次のとおりです。

操作手順

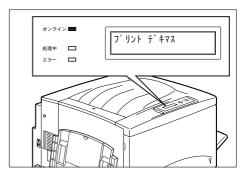
1 **プリンター本体左側面にある電源スイッチの［I］側を押します。**

これで、電源が入ります。

2 **操作パネルのディスプレイに、【シンダンシテイマス】と表示されます。この表示が【オマチクダサイ】から【プリント デキマス】に変わり、オンラインランプが点灯することを確認します。**

補足

ディスプレイに【オマチクダサイ】と表示されているときは、印刷準備中です。この間は印刷できません。

注記

ディスプレイにエラーメッセージが表示された場合は、メッセージの内容を確認して対処してください。対処方法がわからない場合は、「7.7 操作パネルにエラーメッセージが表示されたときには」を参照してください。

1.9.3　プリンター設定リストを印刷する

プリンターが正しく設置されたことを確認するために、操作パネルを使用してプリンター設定リストを印刷します。
プリンター設定リストでは、プリンターが正しく印字できることを確認できます。また、オプションを取り付けている場合には、正しく設置できたかどうかを確認できます。

参照

プリンター設定リストの印刷方法は、「9.4.1 プリンターの構成やネットワーク設定を確認する」を参照してください。

注記

プリンター設定リストが印刷されない場合は、電源を切り、電源を入れ直してください。操作パネルのディスプレイに【プリント　デキマス】と表示されたら、再度プリンター設定リストの印刷を指示します。それでも印刷されない場合は、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。

プリンター設定リストの印刷例

次ページの例を参考に、内容を確認してください。

オプションの情報が印刷されます。

DocuPrint C830
プリンター設定リスト

全体

プリント総ページ数	9枚
ドラムカウンター	217count
搭載メモリー	128Mbyte
搭載プリンター言語	XPL2:200202211103
搭載フォント数	XPL2用 和文 2書体 欧文13書体
F/Wバージョン	200202221655
Bootバージョン	200110171500
IOTバージョン	1.10.33
DACSバージョン	200110221443
PDFバージョン	200202211107

ネットワーク

F/Wバージョン	5.02
Ethernet Address	08:00:37:02:f8:ce
Ethernet設定	unknown(AUTO)
TCP/IP設定	DHCP
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
IPX/SPX設定	
IPXフレームタイプ	unknown(AUTO)
ネットワークアドレス	00000000:08003702f8ce
搭載プロトコル	LPD,Port9100,IPP SMB,NetWare® EtherTalk® FTP,SNMP SMTP/POP3 Internet Services
受信制限	なし

オプション

拡張ネットワークカード	あり
用紙トレイ	トレイ1、2、3、手差し
オプショントレイ	2段
両面印刷モジュール	あり
ハードディスク	あり
Contents Bridge拡張キット	あり

パラレル

ECP	有効

LPD

ポート状態	起動

Port9100

ポート状態	起動

IPP

ポート状態	起動

SMB

ポート状態	起動
TCP/IP	起動
NetBEUI	起動
ホスト名	FX02F8CE
ワークグループ名	WORKGROUP

NetWare®

ポート状態	起動
動作モード	DS-PServerモード
装置名	FX02F8CE
ツリー	
コンテキスト	

EtherTalk®

ポート状態	起動
プリンタ名	FX02F8CE
ゾーン名	unknown(*)
プリンタタイプ	XPL2

FTP

ポート状態	停止

SNMP

ポート状態	起動
UDP/IP	起動
IPX	起動

SMTP/POP3

ポート状態	停止

Internet Services

ポート状態	起動

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

2
章

使用環境の設定

2.1 使用環境を設定する

本プリンターを使用する環境を確認し、必要な設定をします。

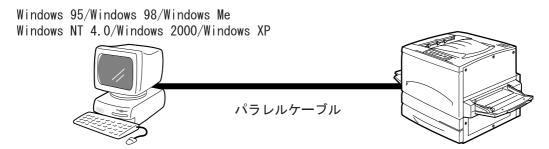
2.1.1 使用できる環境について

本プリンターをコンピューターに直接接続すると、ローカルプリンターとして使用できます。
また、本プリンターをネットワークに接続すると、ネットワークプリンターとして使用できます。本プリンターはマルチプロトコルに対応しているので、異なったネットワーク環境でも、1 台のプリンターを共有できます。

ローカル

本プリンターとコンピューターを、パラレルケーブルまたは USB ケーブルで接続して印刷します。

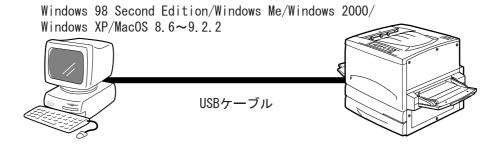
＜パラレルケーブル接続の場合＞

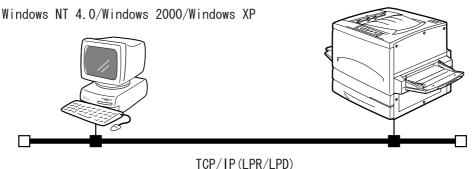
Windows 95/Windows 98/Windows Me
Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP

注記
パラレルケーブルは、弊社別売りのものを使用してください。弊社取り扱い以外のケーブルを使用すると、電波障害を起こすことがあり、正常に出力できない場合があります。

＜ USB ケーブル接続の場合＞

次の条件を満たす場合は、本プリンターと USB ケーブルで接続して印刷できます。ただし、USB 対応機器すべての動作を保証するものではありません。

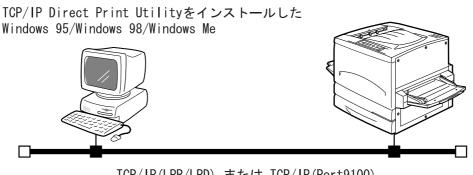
- **Windows Me/Windows 98 Second Edition/Windows 2000/Windows XPの各プレインストールモデルのコンピューター**
- **MacOS 8.6 ～ 9.2.2 で USB インターフェイスを標準搭載した Macintosh**

Windows 98 Second Edition/Windows Me/Windows 2000/
Windows XP/MacOS 8.6～9.2.2

TCP/IP (Windows NT® 4.0/Windows® 2000/Windows® XP)

プリンターは、TCP/IP(LPD) プロトコルをサポートしているため、Windows NT 4.0 や Windows 2000/Windows XP から、LPR で印刷データを直接送信して、印刷できます。この場合は、プリンターと Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP コンピューターに、IP アドレスの設定が必要です。

■Windows 2000/Windows XP では、次のような印刷もできます

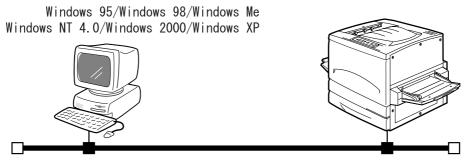
- **プリンターは、Port9100 をサポートしているため、設定したポートに印刷データを直接送信して印刷できます。**
- **プリンターは、IPP をサポートしているため、プリンターのポートに、プリンターの URL を指定してインターネット印刷ができます。**

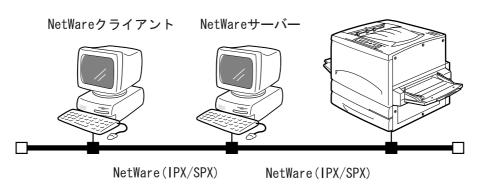
TCP/IP（Windows 95/Windows 98/Windows Me）

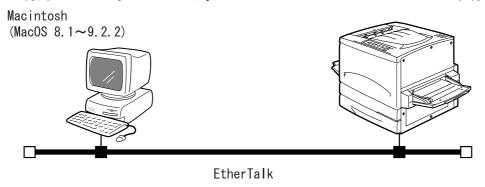
TCP/IP 環境で、Windows 95/Windows 98/Windows Me から印刷する場合は、TCP/IP Direct Print Utility を使用します。
TCP/IP Direct Print Utility とは、コンピューターからネットワーク上のプリンターに、サーバーなどを経由しないで、印刷データを直接送信して印刷するためのソフトウェアです。この場合、プリンターと Windows 95/Windows 98/Windows Me コンピューターに、IP アドレスの設定が必要です。
また、TCP/IP Direct Print Utility のプロトコルは、LPD または Port9100 が使用できます。

■IPP が利用できる Windows Me では、次のような印刷もできます

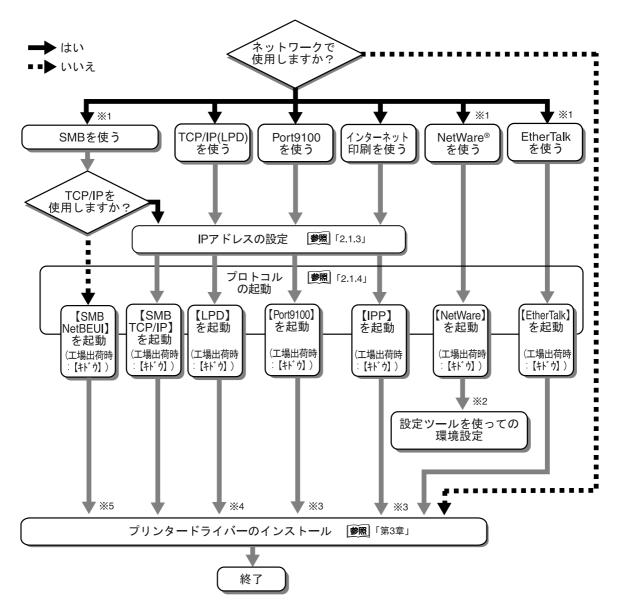
プリンターは、IPP をサポートしているため、プリンターのポートに、プリンターの URL を指定してインターネット印刷ができます。

SMB（Windows ネットワーク）

オプションのネットワーク拡張カードを取り付けると、プリンターが SMB(Server Message Block) プロトコルを利用できるようになります。SMB とは、Windows 95 や Windows 98、Windows Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP 上でファイルやプリンターを共有するためのプロトコルです。SMB プロトコルを使用すれば、サーバーは必要ありません。印刷データを直接送信し、印刷できます。
SMB のトランスポートプロトコルは、NetBEUI、または TCP/IP が使用できます。ただし、NetBEUI は、Windows XP ではサポートされていません。

NetWare®

オプションのネットワーク拡張カードを取り付けると、プリンターが IPX/SPX プロトコルを利用できるようになります。ネットワーク OS として Novell 社製の NetWare 3.12J/3.2J/4.1J/4.11J/4.2J/5.0J を使用している環境で、NetWare クライアントコンピューターから印刷できます。

EtherTalk

オプションのネットワーク拡張カードを取り付けると、プリンターが EtherTalk を利用できるようになります。ネットワーク上の Macintosh から印刷できます。

2.1.2 プリンター環境の設定の流れ

プリンターの環境を設定する流れについて説明します。
フローチャートに沿って、それぞれのプリンター環境に必要な設定を確認してください。

※１　これらの環境で使用するには、オプションのネットワーク拡張カードが必要です。
※２『ネットワークガイド』の「NetWare 環境での設置」を参照してください。
※３『ネットワークガイド』の「TCP/IP 環境での設置」を参照してください。
※４　Windows NT 4.0 や Windows 2000/Windows XP では、共有プリンターを作成することができます。共有プリンターを作成する方法、およびクライアントコンピューターから共有プリンターを使用して印刷する方法については、『ネットワークガイド』の「TCP/IP 環境での設置」を参照してください。
※５　同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

こんなときはネットワークガイドを参照してください

本プリンターでは、次のようなネットワーク機能も持っています。これらについては、同梱されている CD-ROM 内の『ネットワークガイド』を参照してください。

■各ネットワーク環境では、次のようなニーズにも柔軟に対応できます。

- **TCP/IP 環境では .... プリンターの IP アドレスを、DHCP サーバーで管理したい。
WINS サーバーにプリンターを登録したい。**

注記

DHCP で運用したい場合には、IP アドレスが変更されることがあるので、定期的に IP アドレスを確認して使用する必要があります。また、WINS 環境下で DHCP を使う場合は、オプションのネットワーク拡張カードが必要です。

- **SMB 環境では .... ホスト名やワークグループ名を任意に変更したい。**
- **EtherTalk 環境では .. プリンター名を任意に変更したい。
ゾーンを設定したい。**

補足

EtherTalk 環境で使用する場合の手順については、『ネットワークガイド』を参照してください。

■TCP/IP 環境では、CentreWare Internet Services が使用できます。

Web 画面からプリンターの状態やプリンターの各種設定ができます。この機能を「CentreWare Internet Services」と呼びます。

■TCP/IP と NetWare の環境で、SNMP エージェント機能を持っています。

SNMP エージェント機能を起動する (工場出荷時：起動) ことによって、各種 SNMP マネージャーから、本プリンターを管理できます。

また、CentreWare Simple Status Notification ツールを使用して、ネットワーク上のコンピューターから、プリンターの状態を確認できます。

■TCP/IP 環境では、電子メールを送受信できます。

企業内のネットワークやインターネットを経由して、ユーザーと本機間で電子メールを使い、プリンターを管理できます。この機能を「Status Messenger」と呼びます。

補足

プリンターには、電子メールを送るだけで、メール本文や添付文書（PDF またはテキストファイル）を印刷する機能 (E メールプリント機能) もあります。E メールプリント機能については、「4.10 E メールプリントをする」を参照してください。

2.1.3 IP アドレスを設定する

ここでは、操作パネルを使用して、IP アドレスとサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定する方法を説明します。
手順は次のとおりです。

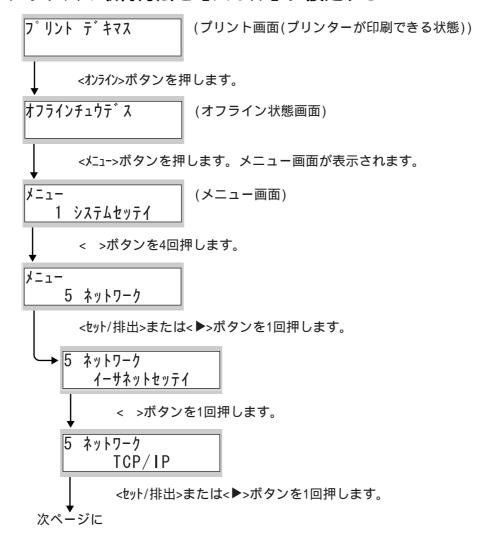
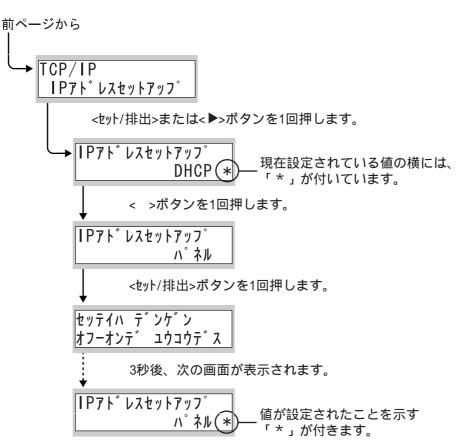
注記

IP アドレスは、ネットワークシステム全体で管理されています。誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。割り当てる IP アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

参照

- 操作パネルの操作方法については、「6.2 メニュー画面の基本操作」、および「付録B 操作パネルメニュー一覧」を参照してください。
- IP アドレス設定ツールを使用すると、プリンターの IP アドレスを簡単に設定できます。IP アドレス設定ツールについては、同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

IP アドレスの取得方法を【パネル】に設定する

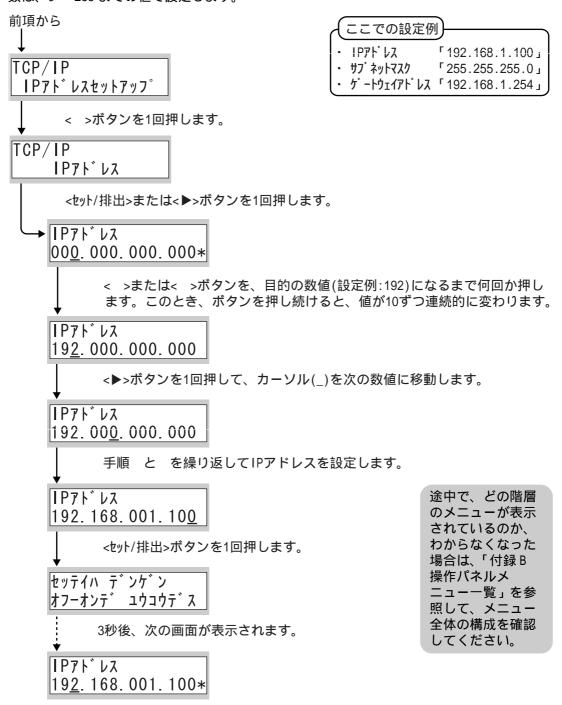
次ページに

⑩ <取り消し/ﾌﾟﾘﾝﾄ中止>または<◀ >ボタンを1回押します。
下段に【IPアドレスセットアップ】が表示されている画面に戻ります。

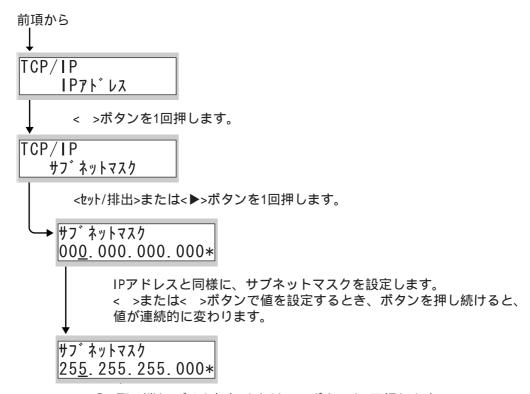
注記

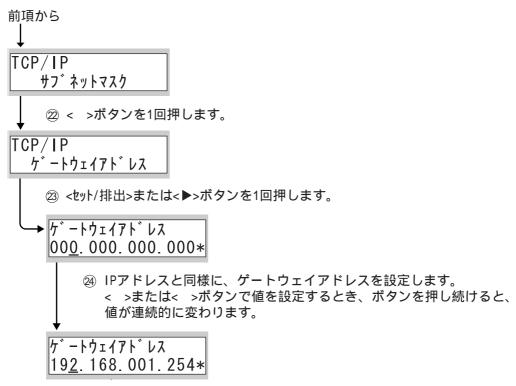
プリンターの電源は、ゲートウェイアドレスまで設定してから、最後に入れ直します。このまま先に進んでください。

IP アドレスを設定する

補足

IP アドレスは、小数点で区切られた 4 つの数値 (10 進数) を設定します。それぞれの 10 進数は、0 ～ 255 までの値で設定します。

⑰ <取り消し/ﾌﾟﾘﾝﾄ中止>または<◀>ボタンを1回押します。
下段に【IPアドレス】が表示されている画面に戻ります。

サブネットマスクを設定する

㉑ <取り消し/ﾌﾟﾘﾝﾄ中止>または<◀>ボタンを1回押します。
下段に【サブネットマスク】が表示されている画面に戻ります。

ゲートウェイアドレスを設定する

㉕ ここまでの設定が終了したら、プリンターの電源を切り、入れ直します。

2.1.4 プロトコルを設定する

注記
工場出荷時には、【Status Messenger】と【E メールプリント】、【FTP】以外のプロトコルは、【キドウ】に設定されています。プリンターを購入して、はじめてネットワークの設定をする場合には、ここでの操作は必要ありません。
これでプリンター側の設定は終了です。「2.1.5 設定を確認する」に進んでください。

ネットワークプリンターで使用する場合は、プリンター側で、設置するネットワーク環境に応じたプロトコルを起動しておく必要があります。

- **TCP/IP(LPD) の場合 →〔LPD〕プロトコル**
- **Port9100 の場合 →〔Port9100〕プロトコル**
- **IPP の場合 →〔IPP〕プロトコル**
- **SMB（トランスポートプロトコル :TCP/IP） →〔SMB TCP/IP〕プロトコル**
- **SMB（トランスポートプロトコル :NetBEUI） →〔SMB NetBEUI〕プロトコル**
- **NetWare の場合 →〔NetWare〕プロトコル**
- **EtherTalk の場合 →〔EtherTalk〕プロトコル**

また、コンピューター側にプリンタードライバーをインストールするとき、「CentreWare Utilities」を使用するために、次のプロトコルを起動しておきます。

- **〔SNMP UDP/IP〕プロトコル**

手順は次のとおりです。

補足
プリンター本体と電子メールの送受信をしてプリンターの管理をしたい場合は【Status Messenger】プロトコルを、電子メールを送って印刷したい場合は【E メールプリント】プロトコルを、同様の手順で起動します。

補足
ここでは、オプションのネットワーク拡張カードをプリンターに取り付けたときの画面例で説明しています。ネットワーク拡張カードを取り付けていないときは、手順中にある次のプロトコルは表示されません。

- SMB TCP/IP
- SMB NetBEUI
- NetWare
- EtherTalk

参照
操作パネルの操作方法については、「6.2 メニュー画面の基本操作」、および「付録 B 操作パネルメニュー一覧」を参照してください。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
(プリント画面(プリンターが印刷できる状態))
① <ｵﾌﾗｲﾝ>ボタンを押します。
ｵﾌﾗｲﾝﾁｭｳﾃﾞｽ
(オフライン状態画面)
② <ﾒﾆｭｰ>ボタンを押します。メニュー画面が表示されます。
ﾒﾆｭｰ
1 ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲ
(メニュー画面)
③ <▼>ボタンを4回押します。
ﾒﾆｭｰ
5 ﾈｯﾄﾜｰｸ
④ <ｾｯﾄ/排出>または<▶>ボタンを1回押します。
5 ﾈｯﾄﾜｰｸ
ｲｰｻﾈｯﾄｾｯﾃｲ
⑤ <▼>ボタンを3回押します。
5 ﾈｯﾄﾜｰｸ
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
⑥ <ｾｯﾄ/排出>または<▶>ボタンを1回押します。
次ページに

前ページから
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
LPD
⑦ <▼>ボタンを1回押します。
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
Port9100
⑧ <▼>ボタンを1回押します。
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
IPP
⑨ <▼>ボタンを1回押します。
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
SMB TCP/IP
⑩ <▼>ボタンを1回押します。
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
SMB NetBEUI
⑪ <▼>ボタンを1回押します。
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
NetWare
⑫ <▼>ボタンを1回押します。
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
EtherTalk
⑬ <▼>ボタンを2回押します。
ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
SNMP UDP/IP
プロトコルを起動する
❶ <ｾｯﾄ/排出>ボタンを1回押します。
xxxの部分には、プロトコル名が表示されます。
XXX
ﾃｲｼ ＊
❷ <▼>ボタンを1回押します。
XXX
ｷﾄﾞｳ
❸ <ｾｯﾄ/排出>ボタンを1回押します。
【セッテイハ デンゲン オフ-オンデユウコウデス】と3秒間表示されたあと、次の画面になります。
XXX
ｷﾄﾞｳ ＊
❹ ほかのプロトコルを起動する場合は<取り消し/ﾌﾟﾘﾝﾄ中止>または<◀>ボタンを1回押し、次の手順に進みます。
設定を終了する場合は、
手順⑭に進んでください。
⑭ プリンターの電源を切り、入れ直します。

2.1.5　設定を確認する

プリンター設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。
また、プリンター設定リストには、コンピューター側の設定をするときに必要な情報も印刷されます。あわせて確認しておきます。

参照

プリンター設定リストの印刷方法は、「9.4.1 プリンターの構成やネットワーク設定を確認する」を参照してください。

プリンター設定リストの印刷例

次ページの例を参考に、内容を確認してください。

補足

次ページのプリンター設定リストは、オプションのネットワーク拡張カードを取り付けたときの印刷例です。

DocuPrint C830

プリンター設定リスト

全体

プリント総ページ数	9枚
ドラムカウンター	217count
搭載メモリー	128Mbyte
搭載プリンター言語	XPL2:200202211103
搭載フォント数	XPL2用
	和文 2書体
	欧文13書体
F/Wバージョン	200202221655
Bootバージョン	200110171500
IOTバージョン	1.10.33
DACSバージョン	200110221443
PDFバージョン	200202211107

ネットワーク

F/Wバージョン	5.02
Ethernet Address	08:00:37:02:f8:ce
Ethernet設定	10Base-T Half(AUTO)
TCP/IP設定	パネル
IPアドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.254
IPX/SPX設定	
IPXフレームタイプ	ETHERNET-Ⅱ(AUTO)
ネットワークアドレス	0006715c:08003702f8ce
搭載プロトコル	LPD,Port9100,IPP
	SMB,NetWare®
	EtherTalk®
	FTP,SNMP
	SMTP/POP3
	Internet Services
受信制限	なし

オプション

拡張ネットワークカード	あり
用紙トレイ	トレイ1、2、3、手差し
オプショントレイ	2段
両面印刷モジュール	あり
ハードディスク	あり
Contents Bridge拡張キット	あり

パラレル

ECP	有効

LPD

ポート状態	起動

Port9100

ポート状態	起動

IPP

ポート状態	起動

SMB

ポート状態	起動
TCP/IP	起動
NetBEUI	起動
ホスト名	FX02F8CE
ワークグループ名	WORKGROUP

NetWare®

ポート状態	起動
動作モード	DS-PServerモード
装置名	FX02F8CE
ツリー	
コンテキスト	

EtherTalk®

ポート状態	起動
プリンタ名	FX02F8CE
ゾーン名	unknown(*)
プリンタタイプ	XPL2

FTP

ポート状態	停止

SNMP

ポート状態	起動
UDP/IP	起動
IPX	起動

SMTP/POP3

ポート状態	停止

Internet Services

ポート状態	起動

EtherTalkはApple Computer, Incの登録商標です。
NetWareはノベル株式会社の登録商標です。
XEROX、THE DOCUMENT COMPANYは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

3章

プリンタードライバーの インストール

3.1 プリンタードライバーをインストールする (Windows)

プリンタードライバーとは、コンピューター上の印刷データや指示を、プリンターが解釈できるデータに変換するためのソフトウェアです。
ローカルプリンターで使用する場合はプリンターを接続しているコンピューターに、ネットワークプリンターで使用する場合は、ネットワークに接続しているコンピューターに、プリンタードライバーをインストールします。

3.1.1 対象 OS とシステム環境

本プリンターのプリンタードライバーは、次の OS が動作する IBM PC-AT およびその互換機（DOS/V 機）と NEC 社 PC-98 シリーズ（1993 年 11 月以降に発売されたもの）に対応しています。

- **Microsoft® Windows® 95 オペレーティングシステム日本語版用**
- **Microsoft® Windows® 98 オペレーティングシステム日本語版用**
- **Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版用**
- **Microsoft® Windows NT® WorkStation オペレーティングシステム Version 4.0 日本語版 (ServicePack 4 以上) 用**
- **Microsoft® Windows® 2000 Professional 日本語版用**
- **Microsoft® Windows® XP Professional 日本語版用**
- **Microsoft® Windows® XP HomeEdition 日本語版用**

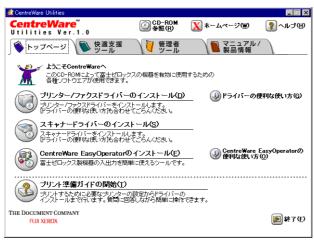
注記
Windows NT 4.0 用のプリンタードライバーは、ServicePack 3 以下では動作しません。

補足
- Windows NT 4.0 用のプリンタードライバーは、Microsoft Windows NT Server ネットワーク オペレーティングシステム Version 4.0 日本語版 (ServicePack 4 以上) にもインストールできます。
- Windows NT 4.0 用のプリンタードライバーは、Intel x86 版 NT 4.0 に対応しています。
- Windows 2000 用のプリンタードライバーは、Microsoft Windows 2000 Server 日本語版にもインストールできます。
- Windows Me では、Windows 98 用のプリンタードライバーを利用できます。
- Windows XP では、Windows 2000 用のプリンタードライバーを利用できます。

3.1.2　インストールの概要

Windows 用のプリンタードライバーは、同梱されている CD-ROM をセットすると表示される、「CentreWare Utilities」を使って、インストールできます。

CentreWare Utilities について

同梱されている CD-ROM を、お使いのコンピューターの CD-ROM ドライブにセットすると、次のような CentreWare Utilities のトップページが表示されます。

補足

本書で記載している CentreWare Utilities は、Ver.1.0.2a です。表示される画面や手順は、今後のバージョンアップによって変更される可能性があります。異なるバージョンをお使いのかたは、CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

本書では、CentreWare Utilities を使って、コンピューターにプリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

注記

- プリンタードライバーは、[プリンタの追加ウィザード] を使っても、インストールできます。
  [プリンタの追加ウィザード] は、[スタート] メニューの [設定] から [プリンタ] をクリックし、表示された [プリンタ] ウィンドウで [プリンタの追加] をダブルクリックすると表示されます。(Windows XP では、[スタート] メニューの [プリンタと FAX] をクリックし、表示された [プリンタと FAX] ウィンドウで [プリンタのタスク] の [プリンタのインストール] をクリックします。) インストールの途中で inf ファイルを選択するダイアログボックスが表示された場合は、CD-ROM の「XPL2」フォルダーを開き、お使いの OS に合わせて、「Nt40」フォルダー (Windows NT 4.0(ServicePack 4 以上) 用)、「Win2000_XP」フォルダー (Windows 2000、Windows XP 用)、「Win95」フォルダー (Windows 95 用)、または「Win98_Me」フォルダー (Windows 98、Windows Me 用) を選択してください。
- Windows Me、Windows 2000、Windows XP で IPP を使用してインターネット印刷をする場合は、CentreWare Utilities を使ってプリンタードライバーをインストールできません。[プリンタの追加ウィザード] を使って、インストールします。手順は、同梱されている CD-ROM 内の『ネットワークガイド』を参照してください。

プリンタードライバーのインストール
3

参照
CentreWare Utilities が動作するために必要な環境については、CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

使用環境とインストール手順について

CentreWare Utilities を使ったインストール手順は、使用環境によって異なります。
該当する箇所を参照して、プリンタードライバーをインストールしてください。

参照
IPP、Port9100 を使用して印刷する場合は、『ネットワークガイド』を参照してください。

■コンピューターとプリンターをパラレルケーブルで接続し、ローカルプリンターで使用する場合

参照
「3.1.3 プリンタードライバーをインストールする（ローカルプリンターの場合)」

■TCP/IP ネットワーク上にあるプリンターに、LPR を使用して直接印刷する場合

Windows 95、Windows 98、Windows Me の場合は、TCP/IP Direct Print Utility も、プリンタードライバーと同時にインストールされます。

参照
「3.1.4 プリンタードライバーをインストールする (TCP/IP 環境 (LPR/LPD) の場合)」

■SMB を使用して、プリンターに直接印刷する場合

参照
- トランスポートプロトコルにTCP/IPを使用する場合は、「3.1.5 プリンタードライバーをインストールする (SMB 環境の場合)」
- トランスポートプロトコルに NetBEUI を使用する場合は、同梱されている CD-ROM 内のマニュアル

■NetWare サーバーや、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP 上の共有プリンターを経由して印刷する場合

参照
「3.1.6 プリンタードライバーをインストールする (NetWare 環境の場合)」

■コンピューターとプリンターを USB ケーブルで接続し、ローカルプリンターで使用する場合

参照
「3.1.3 プリンタードライバーをインストールする（ローカルプリンターの場合)」
「3.1.7 USB ポートの設定をする」

3.1.3　プリンタードライバーをインストールする（ローカルプリンターの場合）

ローカルプリンターに印刷するための手順について説明します。

操作手順

1 **プリンターの電源を入れます。**

2 **コンピューターの電源を入れ、Windows を起動します。**

Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP を使用している場合は、Administrator グループに属するユーザー、または Administrator でログインします。

3 **同梱されている CD-ROM を、お使いのコンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。**

CentreWare Utilities のトップページが表示されます。

補足

Windows の設定によっては、CentreWare Utilities の画面が自動的に表示されないことがあります。その場合は、CD-ROM 内の「Launcher.exe」を実行してください。

4 **[プリンター/ファクスドライバーのインストール]をクリックします。**

ドライバーインストールツールが起動され、[セットアップ方法の選択]ダイアログボックスが表示されます。

5 [カスタムセットアップ] をクリックします。

[プリンタ指定方法の選択] ダイアログボックスが表示されます。

6 [ローカルプリンタを指定する] を選択して、[次へ] をクリックします。

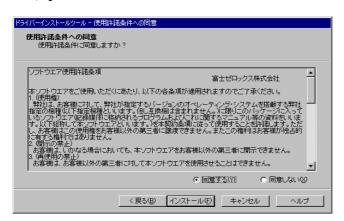
[ローカルプリンタの指定] ダイアログボックスが表示されます。

7 使用する [ポート] と、[機種] を指定し、[次へ] をクリックします。

[アプリケーションの選択] ダイアログボックスが表示されます。

8 表示されたツールの中から、プリンタードライバーと一緒にインストールしたいアプリケーションを選択し、[次へ] をクリックします。

[使用許諾条件への同意] ダイアログボックスが表示されます。

9 内容を確認して [同意する] を選択し、[インストール] をクリックします。

セットアップが始まり、本プリンターのグラフィックとインストールしているプリンタードライバー名が表示されます。

セットアップが完了すると、[セットアップ完了] ダイアログボックスが表示されます。

10 [通常使うプリンタの設定] から、本プリンターを通常使用するプリンターとして設定する場合は本プリンターを、通常使用するプリンターを変更しない場合は [変更しない] を選択します。

補足

必要に応じて、[追加 / 更新されたプリンタ] に表示された本プリンターを選択し、[共有の設定]、[プリンタ名の変更]、[プロパティ]、[印刷指示の設定] の設定をします。なお、お使いの OS によって選択できないボタンは、グレー表示になっています。

11 [追加 / 更新されたプリンタ] に表示された本プリンターを選択し、[プロパティ] をクリックします。

プリンタードライバーの [プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

12 **[プリンタ構成] タブをクリックして、[設定の変更] で、本プリンターに取り付けられているオプションのチェックボックスをオンにします。**

補足

取り付けられているオプションについては、「プリンター設定リスト」を印刷して確認してください。プリンター設定リストの印刷方法については、「9.4.1 プリンターの構成やネットワーク設定を確認する」を参照してください。

13 **[OK] をクリックして、[プロパティ] ダイアログボックスを閉じます。**

14 **[セットアップ完了] ダイアログボックスの [テスト印刷] をクリックし、本プリンターから印刷できるかどうかを確認します。**

15 **[完了] をクリックします。**

16 **表示された [ドライバーインストールツール] ダイアログボックスで [はい] をクリックし、インストールを終了します。**

3.1.4 プリンタードライバーをインストールする (TCP/IP 環境 (LPR/LPD) の場合)

TCP/IP 環境のプリンターにコンピューターから LPR で印刷するための手順について説明します。
この方法では、お使いのコンピューターと同じサブネットで LPD 接続されたプリンターが、自動で検索されます。検索結果のリストから機種名を選ぶだけで、プリンタードライバーをインストールできます。
また、複数の機種を選択できるので、検索されたすべてのプリンターの設定を、1 回の操作で同時に行うことができます。

補足
本プリンターが自動で検索されるために、プリンター側で IP アドレスなどのアドレスが正しく設定されていること、および【SNMP UDP/IP】プロトコルが起動されていることを確認してください。各アドレスやプロトコルの設定は、プリンター設定リストで確認できます。

インストールする前に

プリンタードライバーをインストールする前に、コンピューター側で、次のことを確認してください。

■Windows 95、Windows 98、Windows Me の場合

LPR ポートを使用して印刷する場合、コンピューター側では弊社製「 TCP/IP Direct Print Utility(TCP/IP プロトコル ）」を使用します。TCP/IP Direct Print Utility は、プリンタードライバーと同時にインストールされます。TCP/IP Direct Print Utility をインストールする前に、コンピューターに「TCP/IP プロトコル」がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、Windows 95、Windows 98、Windows Me に付属の説明書を参照してインストールしてください。

■Windows NT 4.0 の場合

コンピューターに「TCP/IP プロトコル」と「Microsoft TCP/IP 印刷」がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、Windows NT 4.0 に付属の説明書を参照してインストールしてください。

■Windows 2000、Windows XP の場合

ここでは、OS 標準の LPR ポートを使用します。
コンピューターに「インターネットプロトコル (TCP/IP) 」がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、Windows 2000、Windows XP に付属の説明書を参照してインストールしてください。

プリンタードライバーをインストールする

プリンタードライバー、および TCP/IP Direct Print Utility（Windows 95、Windows 98、Windows Me の場合）をインストールする手順は、次のとおりです。

操作手順

1 **プリンターの電源を入れます。**

2 **コンピューターの電源を入れ、Windows を起動します。**

Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP を使用している場合は、Administrator グループに属するユーザー、または Administrator でログインします。

3 **同梱されている CD-ROM を、お使いのコンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。**

CentreWare Utilities のトップページが表示されます。

補足

Windows の設定によっては、CentreWare Utilities の画面が自動的に表示されないことがあります。その場合は、CD-ROM 内の「Launcher.exe」を実行してください。

4 **[プリンター/ファクスドライバーのインストール]をクリックします。**

ドライバーインストールツールが起動され、[セットアップ方法の選択]ダイアログボックスが表示されます。

5 [標準セットアップ] をクリックします。

[プリンタ・複合機の選択] ダイアログボックスが表示されます。同じサブネット内の TCP/IP で接続されたプリンターが検索され、[検索されたプリンタ・複合機] に表示されます。

6 本プリンターのチェックボックスがオンになっていることと、その IP アドレスを確認します。このとき、インストールする必要がないプリンターのチェックボックスはオフにします。

確認したら、[次へ] をクリックします。

補足

- プリンターの工場出荷時の名前は「FXnnnnnn」(nnnnnn: ネットワークカードに設定されているMACアドレスの下6桁)が設定されています。「プリンター設定リスト」で確認できます。
- 追加したいプリンターは、このリストで複数選択できます。

[アプリケーションの選択] ダイアログボックスが表示されます。

<本プリンターが検索されなかった場合>

本プリンターが検索されなかった場合は、プリンター側の IP アドレスなどのアドレスが正しく設定されていること、および【SNMP UDP/IP】プロトコルが起動されていることを確認してください。そのあとで、[再検索] をクリックして、検索し直してください。

補足

各アドレスやプロトコルの設定は、プリンター設定リストで確認できます。

また、プリンターがお使いのコンピューターと異なるサブネットに接続されている場合は、次の手順に従ってください。

①[戻る] を選択し、[セットアップ方法の選択] ダイアログボックスの [カスタムセットアップ] をクリックします。

②[LPR(TCP/IP) プリンタを指定する] を選択し、[次へ] をクリックします。

[LPR(TCP/IP) プリンタの指定] ダイアログボックスが表示されます。

③[検索範囲] をクリックして表示されるダイアログボックスで、サブネットを指定し、[OK] をクリックします。

指定した範囲で検索し直され、[LPR(TCP/IP) プリンタの指定] ダイアログボックスの [指定できるプリンタ] に表示されます。

④本機を選択し、[次へ] をクリックします。

⑤[インストールの確認] ダイアログボックスが表示されたら、[はい] をクリックします。

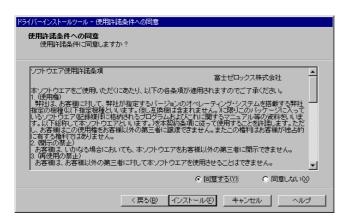
[アプリケーションの選択] ダイアログボックスが表示されるので、手順 7 に進んでください。

プリンタードライバーのインストール

3

7 表示されたツールの中から、プリンタードライバーと一緒にインストールしたいアプリケーションを選択し、[次へ] をクリックします。

[使用許諾条件への同意] ダイアログボックスが表示されます。

8 内容を確認して [同意する] を選択し、[インストール] をクリックします。

セットアップが始まり、本プリンターのグラフィックとインストールしているプリンタードライバー名が表示されます。

Windows 95、Windows 98、Windows Me の場合は、TCP/IP Direct Print Utility もインストールされます。

セットアップが完了すると、[セットアップ完了] ダイアログボックスが表示されます。

このドライバーインストールツールでは、プリンターに取り付けられているオプションの設定も、自動で行われます。

補足

「デバイスオプションの取得ができませんでした」とメッセージが表示された場合は、インストール終了後に、[プリンタ構成] タブで、本プリンターに取り付けられているオプションの設定をしてください。
[プリンタ構成] タブの画面は、次の手順で表示できます。
①[スタート] メニューの [設定] から [プリンタ] をクリックします。
(Windows XP では、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] をクリックします。)
②追加されたプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。
③[プリンタ構成] タブをクリックします。

9 [通常使うプリンタの設定] から、本プリンターを通常使用するプリンターとして設定する場合は本プリンターを、通常使用するプリンターを変更しない場合は [変更しない] を選択します。

補足

必要に応じて、[追加 / 更新されたプリンタ] に表示された本プリンターを選択し、[共有の設定]、[プリンタ名の変更]、[プロパティ]、[印刷指示の設定] の設定をします。なお、お使いの OS によって選択できないボタンは、グレー表示になっています。

10 [テスト印刷] をクリックし、本プリンターから印刷できるかどうかを確認します。

11 [完了] をクリックします。

12 表示された [ドライバーインストールツール] ダイアログボックスで [はい] をクリックし、インストールを終了します。

3.1.5 プリンタードライバーをインストールする (SMB 環境の場合)

ここでは SMB でトランポートプロトコルに TCP/IP を使用して印刷するための手順について説明します。

参照

SMB でトランスポートプロトコルに NetBEUI を使用する場合の手順は、同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

操作手順

1 プリンターの電源を入れます。

2 コンピューターの電源を入れ、Windows を起動します。

Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP を使用している場合は、Administrator グループに属するユーザー、または Administrator でログインします。

3 同梱されている CD-ROM を、お使いのコンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。

CentreWare Utilities のトップページが表示されます。

補足

Windows の設定によっては、CentreWare Utilities の画面が自動的に表示されないことがあります。その場合は、CD-ROM 内の「Launcher.exe」を実行してください。

4 [プリンター/ファクスドライバーのインストール] をクリックします。

ドライバーインストールツールが起動され、[セットアップ方法の選択] ダイアログボックスが表示されます。

5 [カスタムセットアップ] をクリックします。

[プリンタ指定方法の選択] ダイアログボックスが表示されます。

6 [SMB プリンタを指定する] を選択して、[次へ] をクリックします。

[SMB プリンタの指定] ダイアログボックスが表示されます。

7 [ホスト名] に本プリンターのホスト名を入力するか、[指定できるプリンタ] から本プリンターを指定し、[次へ] をクリックします。

補足

プリンターの工場出荷時のホスト名は「FXnnnnnn」(nnnnnn: ネットワークカードに設定されているMACアドレスの下6桁)が設定されています。「プリンター設定リスト」で確認できます。

8 表示された内容を確認し、[はい] をクリックします。

[アプリケーションの選択] ダイアログボックスが表示されます。

9 表示されたツールの中から、プリンタードライバーと一緒にインストールしたいアプリケーションを選択し、[次へ] をクリックします。

[使用許諾条件への同意] ダイアログボックスが表示されます。

10 内容を確認して [同意する] を選択し、[インストール] をクリックします。

セットアップが始まり、本プリンターのグラフィックとインストールしているプリンタードライバー名が表示されます。

セットアップが完了すると、[セットアップ完了] ダイアログボックスが表示されます。

このドライバーインストールツールでは、プリンターに取り付けられているオプションの設定も、自動で行われます。

補足

「デバイスオプションの取得ができませんでした」とメッセージが表示された場合は、インストール終了後に、[プリンタ構成] タブで、本プリンターに取り付けられているオプションの設定をしてください。
[プリンタ構成] タブの画面は、次の手順で表示できます。
①[スタート] メニューの [設定] から [プリンタ] をクリックします。
(Windows XP では、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] をクリックします。)
②追加されたプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。
③[プリンタ構成] タブをクリックします。

11 **[通常使うプリンタの設定] から、本プリンターを通常使用するプリンターとして設定する場合は本プリンターを、通常使用するプリンターを変更しない場合は [変更しない] を選択します。**

補足
必要に応じて、[追加 / 更新されたプリンタ] に表示された本プリンターを選択し、[共有の設定]、[プリンタ名の変更]、[プロパティ]、[印刷指示の設定] の設定をします。なお、お使いの OS によって選択できないボタンは、グレー表示になっています。また、プリンター名も異なる場合があります。

12 **[テスト印刷] をクリックし、本プリンターから印刷できるかどうかを確認します。**

13 **[完了] をクリックします。**

14 **表示された [ドライバーインストールツール] ダイアログボックスで [はい] をクリックし、インストールを終了します。**

3.1.6 プリンタードライバーをインストールする (NetWare 環境の場合)

NetWare 環境で、サーバーを経由して印刷するための手順について説明します。

補足

- ここでは、コンピューターで NetWare 環境のクライアント設定が済んでいることを前提にします。
- Windows NT 4.0 や Windows 2000、Windows XP 上の共有プリンターを使用して印刷する場合も、同様の手順でプリンタードライバーをインストールできます。

操作手順

1 **プリンターの電源を入れます。**

2 **コンピューターの電源を入れます。Windows を起動し、本プリンター用のオブジェクトを構築した NetWare ファイルサーバーにログインします。**

3 **同梱されている CD-ROM を、お使いのコンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。**

CentreWare Utilities のトップページが表示されます。

補足

Windows の設定によっては、CentreWare Utilities の画面が自動的に表示されないことがあります。その場合は、CD-ROM 内の「Launcher.exe」を実行してください。

4 **[プリンター/ファクスドライバーのインストール] をクリックします。**

ドライバーインストールツールが起動され、[セットアップ方法の選択] ダイアログボックスが表示されます。

5 [カスタムセットアップ] をクリックします。

[プリンタ指定方法の選択] ダイアログボックスが表示されます。

6 [共有プリンタを指定する] を選択して、[次へ] をクリックします。

[共有プリンタの指定] ダイアログボックスが表示されます。

7 **[共有名] に利用するプリントキューのパスを入力するか、[参照] をクリックしてプリントキューを指定し、[次へ] をクリックします。**

補足

- プリントキュー名がわからない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
- 共有プリンターを使用する場合は、[共有名] に共有プリンターのパスを指定します。

＜ [プリンタの指定] ダイアログボックスが表示された場合＞

本プリンターを認識できなかった場合、[プリンタの指定] ダイアログボックスが表示されます。そのときは、IP アドレス、ホスト名、IPX アドレス、または機種名を直接指定してください。

8 **表示された内容を確認し、[はい] をクリックします。**

[アプリケーションの選択] ダイアログボックスが表示されます。

9 表示されたツールの中から、プリンタードライバーと一緒にインストールしたいアプリケーションを選択し、[次へ] をクリックします。

[使用許諾条件への同意] ダイアログボックスが表示されます。

10 内容を確認して [同意する] を選択し、[インストール] をクリックします。

セットアップが始まり、本プリンターのグラフィックとインストールしているプリンタードライバー名が表示されます。

セットアップが完了すると、[セットアップ完了] ダイアログボックスが表示されます。

このドライバーインストールツールでは、プリンターに取り付けられているオプションの設定も、自動で行われます。

参照

「デバイスオプションの取得ができませんでした」とメッセージが表示された場合は、インストール終了後に、[プリンタ構成] タブで、本プリンターに取り付けられているオプションの設定をしてください。
[プリンタ構成] タブの画面は、次の手順で表示できます。
①[スタート] メニューの [設定] から [プリンタ] をクリックします。
②追加されたプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。
③[プリンタ構成] タブをクリックします。

11 **[通常使うプリンタの設定] から、本プリンターを通常使用するプリンターとして設定する場合は本プリンターを、通常使用するプリンターを変更しない場合は [変更しない] を選択します。**

補足

必要に応じて、[追加 / 更新されたプリンタ] に表示された本プリンターを選択し、[共有の設定]、[プリンタ名の変更]、[プロパティ]、[印刷指示の設定] の設定をします。なお、お使いの OS によって選択できないボタンは、グレー表示になっています。また、プリンター名も異なる場合があります。

12 **[テスト印刷] をクリックし、本プリンターから印刷できるかどうかを確認します。**

13 **[完了] をクリックします。**

14 **表示された [ドライバーインストールツール] ダイアログボックスで [はい] をクリックし、インストールを終了します。**

3.1.7 USB ポートの設定をする

コンピューターとプリンターを USB ケーブルで接続する場合は、プリンタードライバーのインストールに続けて、次の手順を実行してください。

Windows 2000、Windows XP の場合

ここでは、Windows 2000 の例で説明します。

操作手順

1 **コンピューターの電源が入っていることを確認し、プリンターの電源を切ります。**

2 **USB ケーブルを接続します。**

3 **プリンターの電源を入れます。**

コンピューターが、自動的に新しいハードウェアを検出し、必要なソフトウェアがインストールされます。これで、USB ポートの設定は完了です。

4 **接続を確認します。**

[スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。

[プリンタ] ウィンドウが表示されます。

補足

Windows XP では、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] をクリックします。

5 **プリンタードライバーのインストールによって DocuPrint C830 のプリンターアイコンが追加されています。追加されたプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。**

[プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

6 **[ポート] タブの [印刷するポート] に USB ポートが追加されているので、このポートを選択します。**

7 **[全般] タブの [テストページの印刷] をクリックします。**

正しく印刷できたかどうかを確認するダイログボックスが表示されます。

8 **印刷結果を確認し、正しく印刷されていれば、[はい] をクリックします。**

9 **[プロパティ] ダイアログボックスの [OK] をクリックします。**

これで、プリンターを使用するための設定は完了です。

Windows 98、Windows Me の場合

ここでは、Windows 98 の例で説明します。

■USB Print Utility をインストールする

操作手順

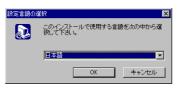
1 **USB ケーブルが接続されている場合は、いったん取り外します。**

2 **同梱されている CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

CentreWare Utilities のトップページが表示されます。

3 **[CD-ROM 参照] をクリックします。**

4 「Usb98me」フォルダーを開き、[Setup.exe] アイコンをダブルクリックします。

5 [日本語] が選択されていることを確認し、[OK] をクリックします。

USB Print Utility のインストーラーが起動されます。

6 [次へ] をクリックします。

7 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択して、[完了] をクリックします。

8 コンピューターが起動したら、Windows 98 を起動し、[スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。

[プリンタ] ウィンドウが表示されます。

9 **プリンタードライバーのインストールによって DocuPrint C830 のプリンターアイコンが追加されています。追加されたプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。**

[プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

10 **[詳細] タブの [印刷先のポート] に [FXUSB:(USB Printer Port)] が追加されていることを確認します。**

11 **[OK] をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。**

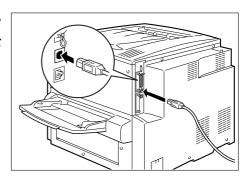
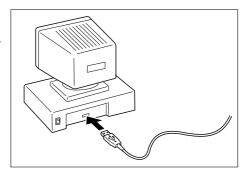
■USB ケーブルを接続する

USB ケーブルを接続する手順は、次のとおりです。

> ⚠注意
> **インターフェイスケーブルを接続するときには、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。**

操作手順

1 **プリンターの電源が切れていることを確認します。**

2 **プリンター本体背面の USB インターフェイスコネクターに、USB ケーブルを接続します。**

3 **USB ケーブルの他方を、コンピューターの USB インターフェイスコネクターに接続します。**

■USB ポートを設定する

操作手順

1 **プリンターの電源を入れます。**

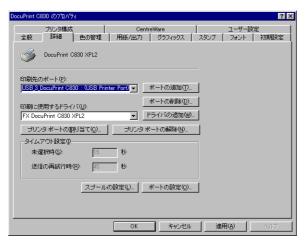
コンピューターが、自動的に新しいハードウェアを検出し、必要なソフトウェアがインストールされます。

2 **[スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。**

[プリンタ] ウィンドウが表示されます。

3 **DocuPrint C830 のプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。**

[プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

4 **[詳細] タブの [印刷先のポート] に [FXUSB_x_DocuPrint C830:(USB Printer Port)] が追加されています。このポートを選択してください。[FXUSB_x_・・・] の [x] には、使用している環境によって、0 〜 FF の値が表示されます。**

5 **接続を確認するために、テストページを印刷します。**

[適用] をいったんクリックして設定を確定してから、[全般] タブの [印字テスト] をクリックします。

正しく印刷できたかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **印刷結果を確認し、正しく印刷されていれば、[はい] をクリックします。**

7 **[プロパティ] ダイアログボックスの [OK] をクリックします。**

これで、プリンターを使用するための設定は完了です。

3.1.8 プリンタードライバーのアンインストールについて

Windows用のプリンタードライバーのアンインストールは、同梱されているCD-ROM内のプリンタードライバーアンインストールツールで行うことができます。CD-ROMをコンピューターのドライブにセットし、表示される画面で[快適支援ツール]タブをクリックして[プリンタードライバーのアンインストールツール]を選択してください。手順の詳細については、CD-ROM内のマニュアルを参照してください。

TCP/IP Direct Print Utilityのアンインストールについて

Windows 95、Windows 98、Windows MeにインストールしたTCP/IP Direct Print Utilityを削除する場合は、同梱されているCD-ROM内の製品情報からTCP/IP Direct Print Utilityの「readme.txt」を参照して、削除してください。

USB Print Utilityのアンインストールについて

Windows 98、Windows MeにインストールしたUSB Print Utilityを削除する場合は、同梱されているCD-ROMをドライブにセットし、[CD-ROM参照]ボタンをクリックします。表示された画面から、「Usb98me」フォルダーを開き、その中にある「readme.txt」を参照して、削除してください。

3.1.9 最新プリンタードライバーの入手方法

最新プリンタードライバーは、インターネットの弊社ホームページで提供しています。ダウンロードしてご利用ください。
なお、通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。
Windows用最新プリンタードライバーの入手方法は、次のとおりです。

操作手順

1 **[スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックします。**

[プリンタ]ウィンドウが表示されます。

補足

Windows XPでは、[スタート]メニューから[プリンタとFAX]をクリックします。

2 **本プリンターのプリンターアイコンを選択し、[ファイル]メニューから[プロパティ]をクリックします。**

[プロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

3 [用紙 / 出力] タブをクリックします。

4 [Fuji Xerox ホームページ] をクリックします。

ブラウザーが起動して、ホームページが表示されます。

5 指示に従って、該当するプリンタードライバーをダウンロードします。

6 [OK] をクリックして、[プロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

補足

- 同梱のCD-ROMを使って弊社のホームページを参照し､最新プリンタードライバーをダウンロードできます。[ホームページ] をクリックすると、ブラウザーが起動してホームページが表示されます。指示に従って、プリンタードライバーをダウンロードしてください。
- 富士ゼロックス株式会社のホームページのアドレス (URL) は、次のとおりです。
  http://www.fujixerox.co.jp/
- 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。
- CentreWare ネットワークサービスのドライバーインストールツールを使用すると、弊社ホームページからダウンロードできるプリンタードライバーがお使いのプリンタードライバーより新しい場合、新しいプリンタードライバーを自動でダウンロードできます。更新方法の詳細については、CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

3.2 プリンタードライバーをインストールする (Macintosh)

Macintosh 用プリンタードライバーには、USB ケーブルで接続されたプリンター用と、ネットワーク (EtherTalk 環境) に接続されたプリンター用の 2 種類があり、両方のプリンタードライバーが一度にインストールされます。

3.2.1 対象 OS とシステム環境

プリンタードライバーは、次の条件を満たした Macintosh にインストールできます。

- USB ケーブルで接続されたプリンターに印刷する場合は、Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 で、USB インターフェイスを標準搭載していること（ただし、USB 対応機器すべての動作を保証するものではありません。）
- ネットワークに接続されたプリンターに印刷する場合は、Mac OS 8.1 ～ 9.2.2 を搭載していること
- EtherTalk のクライアント設定が済んでいること

参照

EtherTalk のクライアント設定の詳細については、Macintosh に付属の説明書を参照してください。

注記

本プリンターを使用するときは、システム上で Apple QuickDraw GX を動作させておくことはできません。

3.2.2 プリンタードライバーをインストールする

Macintosh にプリンタードライバーをインストールして、印刷できるようにするための手順について説明します。

プリンタードライバーをインストールする

Macintosh にプリンタードライバーをインストールする手順は、次のとおりです。

操作手順

1 ウイルスチェックソフトウェアがインストールされている場合は、アンインストールするか、オフにします。

2 **同梱されている CD-ROM をお使いのコンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。**

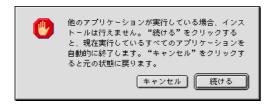
CD-ROM アイコンがデスクトップ上に表示されます。

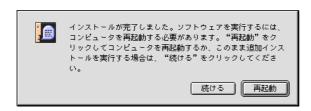
3 **表示された CD-ROM アイコンをダブルクリックします。**

4 **[Printer Driver] フォルダー、[C830] フォルダーの順に開き、インストーラーアイコンをダブルクリックします。**

5 **[ライセンス] ダイアログボックスが表示されたら、[同意] をクリックします。**

6 **[インストール] をクリックします。**

7 **[続ける] をクリックします。**

インストールが始まります。

8 **インストールが完了すると、次のダイアログボックスが表示されます。[再起動] をクリックします。**

プリンターを設定する

正しくインストールできたかどうかを確認します。また、プリンターにオプションを取り付けている場合は、プリンターの構成を変更します。

操作手順

1 **コンピューターが起動したら、アップルメニューから [セレクタ] をクリックします。**

[セレクタ] ウィンドウが表示されます。

2 **[セレクタ] ウィンドウ左上のボックスから、使用するプリンターのアイコンをクリックします。**

< USB ケーブルで接続している場合>

① [DPC830(USB)] アイコンをクリックし、手順 5 に進みます。

< EtherTalk 環境で使用している場合>

① [DPC830] アイコンをクリックします。

② ゾーンを設定しているときは、[AppleTalk ゾーン] でプリンターのゾーンをクリックします。

補足

ゾーンを設定していないネットワーク環境では、[AppleTalk ゾーン] は表示されません。

[プリンタの選択] に、ゾーン内のプリンターが表示されます。

3 [プリンタの選択] から、設定するプリンターをクリックします。

4 必要に応じて、[バックグラウンドプリント] の設定を変更します。

注記

[バックグラウンドプリント] を [切] にした場合、オプションのハードディスクを取り付けていないと、ソート機能が使用できません。

5 オプションの設定をする場合は、[設定] をクリックします。

[プリンタの設定] ダイアログボックスが表示されます。

6 **プリンターの構成に応じて各項目を選択し、[OK] をクリックします。**
設定例：トレイモジュール (2 段) を取り付けた場合

7 **[セレクタ] ウィンドウを閉じます。**

3.2.3 最新プリンタードライバーの入手方法

最新プリンタードライバーは、インターネットの弊社のホームページで提供しています。ダウンロードしてご利用ください。
なお、通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。
富士ゼロックスのホームページのアドレス (URL) は、次のとおりです。

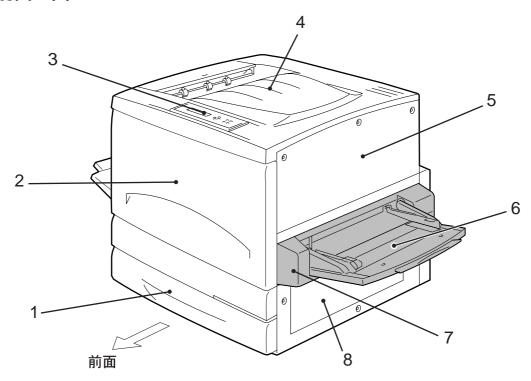
http://www.fujixerox.co.jp/

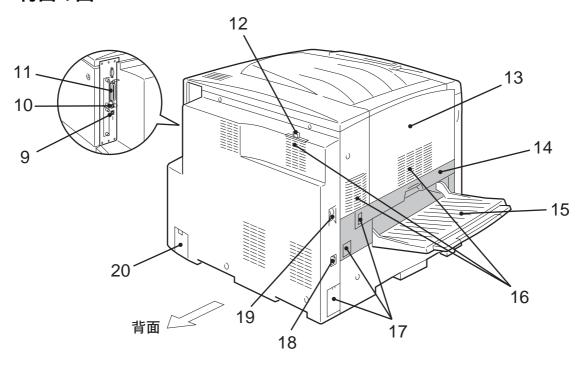
プリンターの基本操作

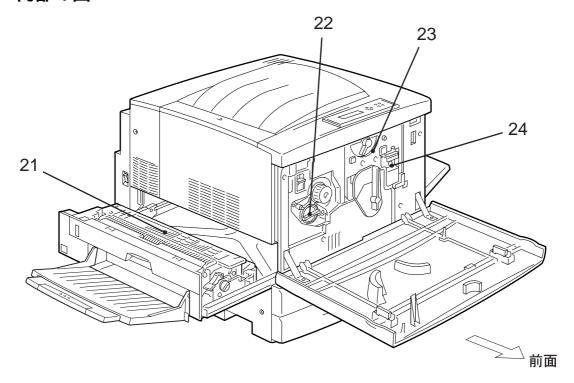
4
章

4.1 各部の名称と働き

プリンター本体の各部の名称と働きは、次のとおりです。

前面の図

番号	名称	働き
1	用紙トレイ	用紙をセットします。
2	フロントカバー	プリンター正面のカバーです。トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換するときに開けます。
3	操作パネル	ランプ、ボタン、ディスプレイで構成されています。 詳細は、「第 6 章　操作パネルについて」を参照してください。
4	センタートレイ	印刷された用紙が、印刷面を下にして排出されます。
5	右上カバー	プリンター右側面上のカバーです。ネットワーク拡張カードや、増設メモリー、ハードディスクなどを取り付けるときに開けます。
6	手差しトレイ	用紙をセットします。はがきや封筒などに印刷するときは、このトレイを使用します。
7	ユニット C	プリンター右側面の引き出し型ユニットです。詰まった用紙を取り除くときに開けます。上の図では、ユニット部分に色をつけています。
8	カバー D	プリンター右側面下のカバーです。詰まった用紙を取り除くときに開けます。

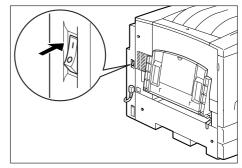
背面の図

番号	名称	働き
9	イーサネット インターフェイス	ネットワークプリンターで使用する場合、イーサネットケーブルを差し込みます。
10	USB インターフェイス	ローカルプリンターで使用する場合、USB ケーブルを差し込みます。
11	パラレルインターフェイス	ローカルプリンターで使用する場合、パラレルケーブルを差し込みます。
12	フィルター	トナーが外部に飛散するのを防いでいます。フィルターは、外さないでください。
13	カバー A	プリンター左側面のカバーです。詰まった用紙を取り除くときに開けます。
14	ユニット B	プリンター左側面の引き出し型ユニットです。詰まった用紙を取り除くときに開けます。上の図では、ユニット部分に色をつけています。
15	サイドトレイ	印刷された用紙が、印刷面を上にして排出されます。
16	通気口	プリンター内部の加熱を防ぐため、熱を放出します。設置時には通気口をふさがないようにしてください。
17	両面印刷モジュール用 コネクターカバー	オプションの両面印刷モジュールを取り付けるときに接続するコネクターのカバーです。
18	電源コードコネクター	電源コードを差し込みます。
19	電源スイッチ	電源を入 / 切にするスイッチです。[I] 側に押すと電源が入り、[O] 側に押すと電源が切れます。
20	トレイモジュール用コネクターカバー	オプションのトレイモジュールを取り付けるときに接続するコネクターのカバーです。

内部の図

番号	名称	働き
21	フューザー	用紙にトナーを定着させます。 プリンター使用時には高温になっています。手を触れないように注意してください。
22	トナーカートリッジ	ブラック、イエロー、マゼンタ、シアンの 4 色のトナーが収容されています。
23	ドラムカートリッジ	ドラム（ 感光体 ）、ドラムクリーナー、トナー回収カートリッジで構成されています。このドラム面に電荷を与えて、像をつくります。
24	トナー回収カートリッジ	使用済みのトナーを回収します。ドラムカートリッジに付属していますが、単品で交換することもできます。

4.2 電源を入れる / 切る

プリンターを使用するときは、電源を入れます。
また、1 日の印刷作業の終わりや、長期間プリンターを使用しないときには、電源を切ります。

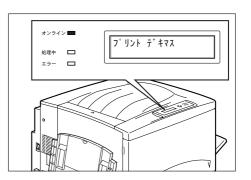
4.2.1 電源を入れる

手順は次のとおりです。

操作手順

1 プリンター本体左側面にある電源スイッチの [I] 側を押します。

これで、電源が入ります。

2 操作パネルのディスプレイに、【シンダン シテイマス】と表示されます。この表示が【オマチクダサイ】から【プリント　デキマス】に変わり、オンラインランプが点灯することを確認します。

補足
ディスプレイに【オマチクダサイ】と表示されているときは、印刷準備中です。この間は印刷できません。

注記
ディスプレイにエラーメッセージが表示された場合は、「7.7 操作パネルにエラーメッセージが表示されたときには」を参照して対処してください。

4.2.2　電源を切る

手順は次のとおりです。

操作手順

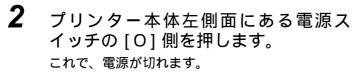
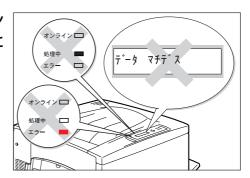
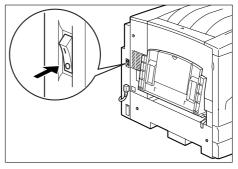
1　**操作パネルのディスプレイに、【プリント　デキマス】と表示されていることを確認します。**

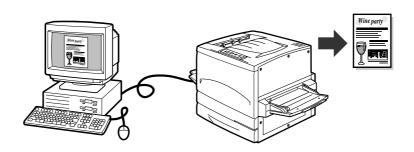
注記

次の場合は、電源を切らないでください。

- 操作パネルのディスプレイに【データ マチデス】、または【オマチクダサイ ガシツチョウセイシテイマス】と表示されている
- 処理中ランプが点灯している
- エラーランプが点灯している

2　**プリンター本体左側面にある電源スイッチの［O］側を押します。**

これで、電源が切れます。

4.3 コンピューターから印刷する

コンピューターから印刷する手順を OS 別に説明します。

注記

プリンターにオプションを取り付けている場合は、プリンタードライバーでオプションの設定がされていないと、使用できない機能があります。確認および設定方法については、「4.6 オプション品の構成を変更する」を参照してください。

4.3.1　Windows の場合

アプリケーションから印刷する

ほとんどのアプリケーションソフトでは、[印刷 (プリント)] コマンドを選択するだけで、プリンターに印刷できます。
Windows® 98 の Microsoft® Word 97 から印刷する例で説明します。

補足

ダイアログボックスの表示方法や内容は、使用しているコンピューターの OS(オペレーティングシステム) やアプリケーションソフトによって異なります。各アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

操作手順

1 **[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。**

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

2 **[プリンタ名] を本プリンターに設定し、[プロパティ] をクリックします。**

3 必要に応じて各タブをクリックし、項目を設定します。

参照

- 各タブの項目についての詳細は、オンラインヘルプを参照してください。また、オンラインヘルプの使用方法については、「4.4 オンラインヘルプを活用する」を参照してください。
- [グラフィックス] タブでは、画像の種類や目的に合わせて、画像や色を調整できます。カラー印刷については、同梱されている CD-ROM 内の『カラー印刷してみよう』を参考にしてください。

4 設定ができたら、[プロパティ] ダイアログボックスの [OK] をクリックします。

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

5 [印刷範囲] を設定し、[OK] をクリックします。

これで印刷データがプリンターに送信されます。

参照

印刷を中止したいときは、「4.5 印刷を中止する」を参照してください。

印刷機能の初期値を変更するには

印刷機能の初期値とは、アプリケーションソフトの［ 印刷 ］ダイアログボックスからプリンタードライバーのプロパティ画面を表示させたときにあらかじめ設定されている値です。印刷時に、通常設定を変更する項目は、あらかじめ初期値を変更しておくと、印刷するたびに変更する手間が省けます。
初期値を変更する手順は次のとおりです。ここでは、Windows 98 の例で説明します。

補足
ダイアログボックスの表示方法や内容は、使用しているコンピューターの OS（オペレーティングシステム）によって異なります。手順中の補足、または各 OS の説明書を参照してください。

操作手順

1 ［ スタート ］メニューの［ 設定 ］から、［ プリンタ ］をクリックします。

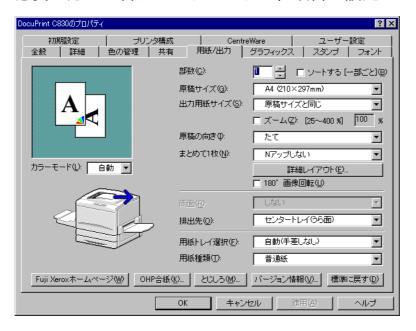
［ プリンタ ］ウィンドウが表示されます。

補足
Windows XP では、［ スタート ］メニューから［ プリンタと FAX］をクリックします。

2 本プリンターのプリンターアイコンを選択し、［ ファイル ］メニューから［ プロパティ ］をクリックします。

［ プロパティ ］ダイアログボックスが表示されます。

補足
- Windows 95、Windows Me の場合は、Windows 98 と同様の手順で［ プロパティ ］ダイアログボックスを表示します。
- Windows NT 4.0の場合は、[ファイル]メニューから[ドキュメントの既定値]をクリックして、表示された画面で設定します。
- Windows 2000/Windows XPの場合は、[ファイル]メニューから[印刷設定]をクリックして、表示された画面で設定します。

3 必要に応じて各タブをクリックし、項目を設定します。

参照

各タブの項目についての詳細は、オンラインヘルプを参照してください。また、オンラインヘルプの使用方法については、「4.4 オンラインヘルプを活用する」を参照してください。

4 設定ができたら、[プロパティ] ダイアログボックスの [OK] をクリックします。

これでプリンタードライバーの印刷機能の初期値が変更されます。

4.3.2　Macintosh の場合

ここでは、Microsoft Office Word 98 から印刷する例で説明します。

補足

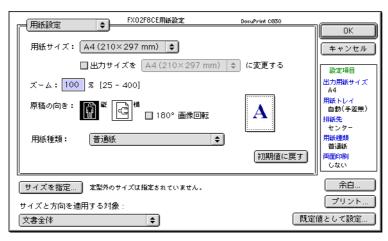
ダイアログボックスの表示方法や内容は、使用しているアプリケーションソフトによって異なります。各アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

操作手順

1　[ファイル] メニューから [用紙設定] をクリックします。

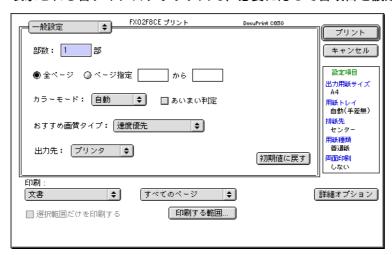
[用紙設定] ダイアログボックスが表示されます。

2　[用紙設定] 横の ◆ をクリックし、表示される一覧から設定する項目を選択します。

表示される各ダイアログボックスで、必要に応じて各項目を設定し、[OK] をクリックします。

3　[ファイル] メニューから [プリント] をクリックします。

[一般設定] ダイアログボックスが表示されます。

4 ［ 一般設定 ］横の ⇕ をクリックし、表示される一覧から設定する項目を選択します。

表示される各ダイアログボックスで、必要に応じて各項目を設定します。

参照

- 各ダイアログボックスの項目についての詳細は、バルーンヘルプを参照してください。また、バルーンヘルプの使用方法については、「4.4 オンラインヘルプを活用する」を参照してください。
- ［一般設定］や［画質調整］ダイアログボックスでは、画像の種類や目的に合わせて、画像や色を調整できます。カラー印刷については、同梱されている CD-ROM 内の『カラー印刷してみよう』を参考にしてください。

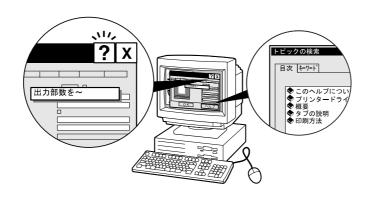
5 設定ができたら、［ プリント ］をクリックします。

これで印刷データがプリンターに送信されます。

参照

印刷を中止したいときは、「4.5 印刷を中止する」を参照してください。

4.4 オンラインヘルプを活用する

本プリンターのプリンタードライバーでは、オンラインヘルプを提供しています。アプリケーションから印刷を指示するときに、プリンタードライバーの項目について知りたい、印刷方法を確認したい、トラブルについて知りたいと思ったら、オンラインヘルプを参照してください。

4.4.1 Windows のオンラインヘルプを参照する

オンラインヘルプでは、こんなことを説明しています

次に、Windows のプリンタードライバーで提供しているオンラインヘルプの目次を示します。

このヘルプについて

ヘルプの使い方
ヘルプの表記について

プリンタードライバーについて

最新版プリンタードライバーの入手方法
商標・略称について
プリンタードライバーについての補足
プリンタードライバーのバージョンを確認する方法

概要

本機の特長
プリンタードライバーの概要

こんなときには

画像繰り返しの機能を使って印刷する
複数ページを 1 枚にまとめて印刷する (N アップ)
拡大連写の機能を使って印刷する
小冊子作成の機能を使って印刷する
原稿と異なるサイズの用紙に印刷する
定形外サイズの用紙に印刷する
印刷データの転送時間を短縮する
[設定できない項目の解消] ダイアログボックスが表示されたら
バナーシートを付けて印刷する

消耗品の交換

トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、トナー回収カートリッジの交換について

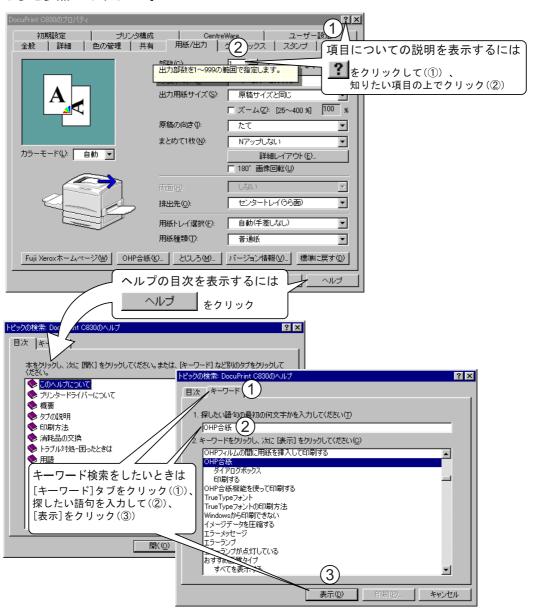
トラブル対処 - 困ったときは

印刷できない
印字品質が悪い
紙づまり
ネットワーク関連のトラブル
エラーメッセージが表示されたときには
問題が解決しなかったときには

用語

オンラインヘルプを参照するには

[プロパティ] ダイアログボックスを表示し、説明を表示させたい項目が含まれているタブを選択します。
ここでは、Windows 98 の [用紙 / 出力] タブの例で説明します。

参照
[プロパティ] ダイアログボックスの表示方法については、「4.3 コンピューターから印刷する」を参照してください。

4.4.2　Macintosh のバルーンヘルプを参照する

**Macintosh® のプリンタードライバーでは、バルーンヘルプを参照できます。
バルーンヘルプでは、各項目の機能が確認できます。
バルーンヘルプを参照するには、機能を知りたい項目が含まれているダイアログボックスを表示します。
ここでは、[一般設定] ダイアログボックスの例で説明します。**

参照

ダイアログボックスの表示方法については、「4.3 コンピューターから印刷する」を参照してください。

操作手順

1 **メニューバーの [ヘルプ] メニューから、[バルーン表示] をクリックします。**

2 **知りたい項目の上にカーソルを置きます。項目についての説明が表示されます。**

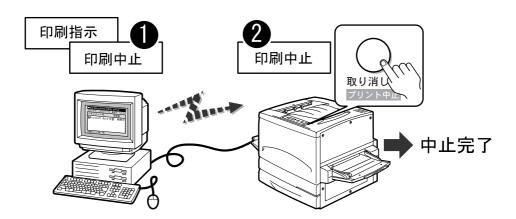
補足

ヘルプが必要なくなったときは、メニューバーの [ヘルプ] メニューから、[バルーンを隠す] をクリックしてください。

4.5 印刷を中止する

印刷を中止する方法は、Windows と Macintosh とで異なります。

4.5.1 Windows の場合

Windows で印刷を中止する場合、まずコンピューター側で印刷を取り消し、次にプリンターの操作パネルで印刷を中止します。

コンピューター側で取り消す

操作手順

1 **[スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。**

[プリンタ] ウィンドウが表示されます。

補足

Windows XP では、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] をクリックします。

2 **本プリンターのプリンターアイコンをダブルクリックします。**

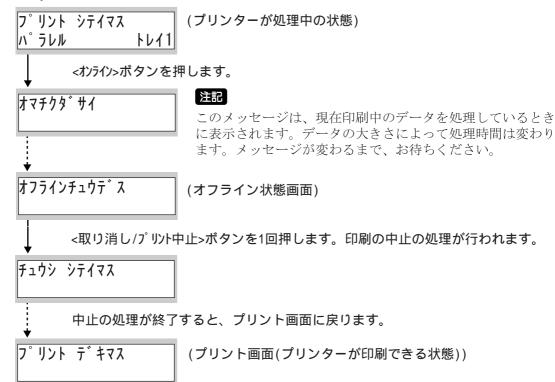
プリンターウィンドウが表示されます。

3 **中止したいドキュメントをクリックし、キーボードの <DELETE> キーを押します。**

続けて、「操作パネルで印刷を中止する」に進みます。

操作パネルで印刷を中止する

コンピューター側で印刷指示を取り消したあと、この操作をするとプリンターで処理中のデータの印刷を中止できます。ただし、印刷中のページは印刷されます。
印刷を中止するには、操作パネルの次のボタンを使用します。

参照
操作パネルの操作方法についての詳細は、「6.2 メニュー画面の基本操作」を参照してください。

4.5.2 Macintosh の場合

Macintosh とプリンターを EtherTalk 環境で使用している場合と、USB ケーブルで接続している場合とに分けて説明します。

EtherTalk 環境で使用している場合

Macintosh 側の XPL2 プリントモニターで印刷中止を指示すれば、すぐに印刷を中止できます。XPL2 プリントモニターは、プリンタードライバーをインストールすると、デスクトップ上にインストールされます。

XPL2 プリントモニターは、[セレクタ] ウィンドウで、[バックグラウンドプリント] を [入] に設定していると、アプリケーションから印刷を指示したとき、自動的に起動されます。
XPL2 プリントモニターで印刷を取り消す手順は、次のとおりです。

操作手順

1 アプリケーションを XPL2 プリントモニターに切り替えます。

2 中止したいドキュメントを選択し、 をクリックします。

USB ケーブルで接続している場合

Macintosh とプリンターを USB ケーブルで接続している場合の印刷の中止方法は、次のとおりです。

操作手順

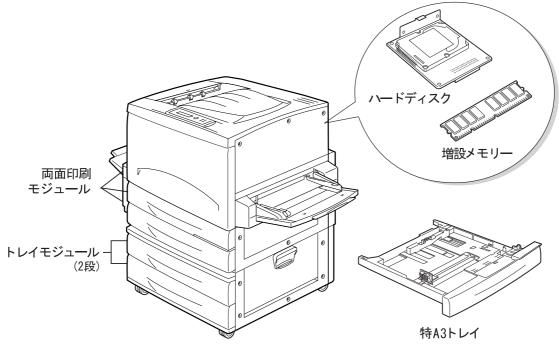
1 プリンターの操作パネルで印刷中止を指示します。

操作パネルで印刷を中止する方法については、「4.5.1 Windows の場合」の「操作パネルで印刷を中止する」を参照してください。

2 Macintosh 側で、上記「EtherTalk 環境で使用している場合」の 1，2 の手順で印刷中止を指示します。

4.6 オプション品の構成を変更する

プリンターを設置したあとで次のオプションを追加した場合は、プリンタードライバーでプリンターの構成を変更する必要があります。

- **ハードディスク**
- **両面印刷モジュール**
- **増設メモリー**
- **トレイモジュール (2 段)**
- **トレイモジュール (1 段)**
- **特 A3 トレイ**

参照

各オプションをプリンター本体に取り付ける手順については、オプションに付属の説明書、または「1.7 オプション品を取り付ける」を参照してください。ここでは、プリンター本体への取り付けは完了していることを前提に説明します。

4.6.1　Windows の場合

手順は次のとおりです。ここでは、Windows 98 の例で説明します。

操作手順

1　[スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。

[プリンタ] ウィンドウが表示されます。

補足

Windows XP では、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] をクリックします。

2　本プリンターのプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。

[プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

3　[プリンタ構成] タブをクリックします。

4　追加したオプションを選択して、[OK] をクリックします。

設定例：トレイモジュール (2 段) を取り付けた場合

プリンターの基本操作

4

4.6.2　Macintosh の場合

手順は次のとおりです。

操作手順

1 **アップルメニューから [セレクタ] を選択します。**

[セレクタ] ウィンドウが表示されます。

2 **[セレクタ] ウィンドウ左上のボックスから、使用するプリンターのアイコンをクリックします。**

＜ USB ケーブルで接続している場合＞

①[DPC830(USB)] アイコンをクリックし、手順 3 に進みます。

プリンターの基本操作
4

＜ EtherTalk 環境で使用している場合＞

①[DPC830] アイコンをクリックします。

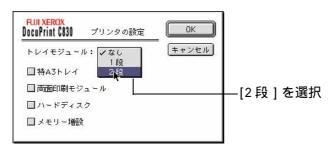
②ゾーンを設定しているときは、[AppleTalk ゾーン] でプリンターのゾーンをクリックします。

補足

ゾーンを設定していないネットワーク環境では、[AppleTalk ゾーン] は表示されません。

3 [プリンタの選択] から、設定するプリンターを選択し、[設定] をクリックします。

4 [プリンタの設定] ダイアログボックスで、追加したオプションを選択し、[OK] をクリックします。

設定例：トレイモジュール (2 段) を取り付けた場合

5 [セレクタ] ウィンドウを閉じます。

4.7 OHP フィルムやはがき、封筒、専用光沢紙に印刷する

はがきや封筒に印刷する場合、セットの仕方を間違えると印刷する面や印字方向が逆になってしまいます。
また、特殊紙に印刷するには、アプリケーションソフトから印刷を指示するとき、プリンタードライバーで用紙の種類や画質を設定する必要があります。

補足

Windows から、特殊紙にたびたび印刷する場合は、プリンタードライバーの [ユーザー設定] タブで設定を登録しておくことをお勧めします。一度登録をすれば、印刷するたびに面倒な設定をする必要がありません。[ユーザー設定] タブについては、プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

4.7.1 OHP フィルムに印刷する

OHP フィルムに印刷するときは、手差しトレイにセットします。
本プリンターでは、弊社の OHP フィルム (XEROX FILM < 枠なし >) を使用して、カラーで OHP フィルムに印刷できます。

注記

FUJI XEROX フルカラー OHP フィルムなど、カラー用 OHP フィルムは使用できません。
適切でない OHP フィルムを使用すると、プリンターの故障の原因になります。

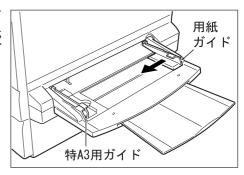
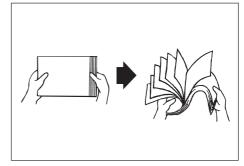
フルカラー用 OHP フィルムは、使えません。

注記

排出された OHP フィルムが排出トレイに多数重なると、静電気が発生し、紙づまりになることがあります。排出されるたびに、取り除いてください。

OHP フィルムに印刷する手順は、次のとおりです。

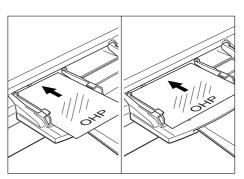
操作手順

1 **特 A3 用ガイドを起こしてから、用紙ガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。**

2 **OHP フィルムを、少量ずつよくさばきます。**

3 **OHP フィルムを、差し込み口に軽くあたるまで入れます。**

注記

FUJI XEROX フルカラー用 OHP フィルムなど、カラー用 OHP フィルムは、紙づまりやフューザー (定着部) の故障の原因になります。使用しないでください。

4 **OHP フィルムが正しくセットできたら、アプリケーションソフトから印刷を指示します。**

このとき、プリンタードライバーで次の「プリンタードライバーの設定 (OHP フィルムに印刷する場合)」に示す項目を設定してください。

プリンタードライバーの設定 (OHP フィルムに印刷する場合)

■Windows での設定

タブ	項目	値
用紙 / 出力	出力用紙サイズ	[A4]、または [原稿サイズと同じ](原稿サイズが [A4] の場合)
	排出先	[サイドトレイ (おもて面 / 正順)]、または [サイドトレイ (おもて面 / 逆順)]
	用紙トレイ選択	[手差し]
	手差しトレイの用紙セット方向	[たて置き]、または [よこ置き]
	用紙種類	[OHP フィルム]
グラフィックス	おすすめ画質タイプ	[OHP 向き]

■Macintosh での設定

ダイアログボックス	項目	値
用紙設定	出力サイズ	[A4]、または出力サイズを変更しない (用紙サイズが [A4] の場合)
	用紙種類	[OHP フィルム]
一般設定	おすすめ画質タイプ	[OHP 向き]
プリンタ設定	用紙トレイ選択	[手差し]
	用紙セット方向	[たて置き]、または [よこ置き]
	排出先	[サイドトレイ (おもて面 / 正順)]、または [サイドトレイ (おもて面 / 逆順)]

補足

OHP フィルムに印刷する場合は、OHP フィルムと OHP フィルムの間に合紙を差し込んで印刷することもできます。合紙を差し込む設定、およびプリンタードライバーの各項目の機能については、オンラインヘルプを参照してください。
また、オンラインヘルプの使用方法については、「4.4 オンラインヘルプを活用する」を参照してください。

4.7.2　はがきに印刷する

はがきに印刷するときは、手差しトレイにセットします。

注記

- すでにおもて面に印刷されているはがきのうら面に印刷するとき、少しでも、はがきが反っていると紙づまりの原因になることがあります。手で平らな状態に戻してから、はがきをセットしてください。
- かもめーるなど多色刷りのはがきには印刷しないでください。

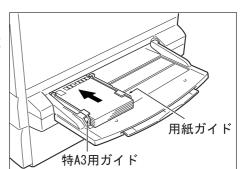
たとえば、はがきにあて名を印刷する場合の手順は、次のとおりです。

例： ○○区○○町 ○○○○ ●●●● 様 **と印刷する場合**

1　**特 A3 用ガイドを起こしてから、用紙ガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。**

2　**印刷する面（郵便番号枠がある面）を上に、郵便番号枠が奥側になるようにセットします。**

3　**はがきが正しくセットできたら、アプリケーションソフトから印刷を指示します。**

このとき、次の「プリンタードライバーの設定(はがきに印刷する場合)」に示す項目を設定してください。

プリンタードライバーの設定 (はがきに印刷する場合)

■Windows での設定

タブ	項目	値
用紙 / 出力	出力用紙サイズ	[はがき]、または [原稿サイズと同じ] (原稿サイズが [はがき] の場合)
	排出先	[サイドトレイ (おもて面 / 正順)]、または [サイドトレイ (おもて面 / 逆順)]
	用紙トレイ選択	[手差し]
	手差しトレイの用紙セット方向	[よこ置き]
	用紙種類	[はがき]

■Macintosh での設定

ダイアログボックス	項目	値
用紙設定	出力サイズ	[はがき]、または出力サイズを変更しない (用紙サイズが [はがき] の場合)
	用紙種類	[はがき]
プリンタ設定	用紙トレイ選択	[手差し]
	用紙セット方向	[よこ置き]
	排出先	[サイドトレイ (おもて面 / 正順)]、または [サイドトレイ (おもて面 / 逆順)]

注記

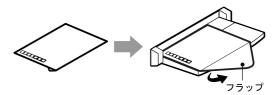
A5 やはがきなどの用紙の場合、バナーシートを付ける設定をして印刷すると、用紙が小さいため、バナータイトルやファイル名などの一部が欠けることがあります。

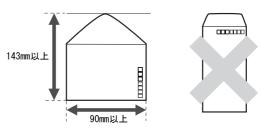
補足

プリンタードライバーの各項目の機能については、オンラインヘルプを参照してください。また、オンラインヘルプの使用方法については、「4.4 オンラインヘルプを活用する」を参照してください。

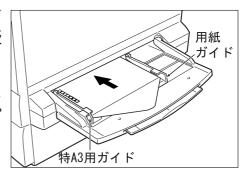
4.7.3　封筒に印刷する

封筒に印刷するときは、手差しトレイにセットします。
封筒は、次のサイズのものが使用できます。必ずフラップを開き、フラップ部分が後端になるようにセットします。

- **洋形 2 号 (162 × 114㎜)**
- **洋形 3 号 (148 × 98㎜)**
- **洋形 4 号 (235 × 105㎜)**
- **洋長形 3 号 (235 × 120㎜)**

注記

- 封筒は、のりづけ部分にテープが付いていないものを使用してください。あらかじめのりづけされている封筒は、のりづけ部分の状態によっては印刷できないことがあります。
- 封筒は横長のもの（図のように、幅が 90㎜以上でフラップを含む長さが 143㎜以上のもの）を使用してください。縦長のものは使用できません。
- 封筒の種類によっては、紙にシワがよったり印字品質が悪くなる場合もあります。
- 封筒の厚みが厚い場合や、表面がすべりやすいと、指定した位置に正しく印刷されないことがあります。薄めの封筒や表面の平滑性が低い封筒を使用してください。

たとえば、封筒にあて名を印刷する場合の手順は、次のとおりです。

1 **特 A3 用ガイドを起こしてから、用紙ガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。**

2 **印刷する面（郵便番号枠がある面）を上にして、フラップを開き、フラップ部分が後端になるようにセットします。**

3 封筒が正しくセットできたら、アプリケーションソフトから印刷を指示します。

このとき、プリンタードライバーで次の「プリンタードライバーの設定 (封筒に印刷する場合)」に示す項目を設定してください。

プリンタードライバーの設定 (封筒に印刷する場合)

■Windows での設定

タブ	項目	値
用紙 / 出力	出力用紙サイズ	[洋形 x 号]、[洋長形 3 号] または [原稿サイズと同じ](原稿サイズが [洋形 x 号] または [洋長形 3 号] の場合)
	原稿の向き	[よこ]
	180 ° 画像回転	オン
	排出先	[サイドトレイ (おもて面 / 正順)]、または [サイドトレイ (おもて面 / 逆順)]
	用紙トレイ選択	[手差し]
	手差しトレイの用紙セット方向	[たて置き]
	用紙種類	[封筒]

■Macintosh での設定

タブ	項目	値
用紙設定	出力サイズ	[洋形 x 号]、[洋長形 3 号] または出力サイズを変更しない (原稿サイズが [洋形 x 号] または [洋長形 3 号] の場合)
	原稿の向き	よこ
	180 ° 画像回転	オン
	用紙種類	[封筒]
プリンタ設定	用紙トレイ選択	[手差し]
	用紙セット方向	[たて置き]
	排出先	[サイドトレイ (おもて面 / 正順)]、または [サイドトレイ (おもて面 / 逆順)]

補足

プリンタードライバーの各項目の機能については、オンラインヘルプを参照してください。また、オンラインヘルプの使用方法については、「4.4 オンラインヘルプを活用する」を参照してください。

4.7.4 専用光沢紙に印刷する

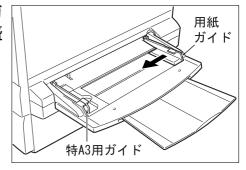
専用光沢紙に印刷するときは、手差しトレイに 1 枚ずつセットします。
本プリンターでは、次の用紙が使用できます。

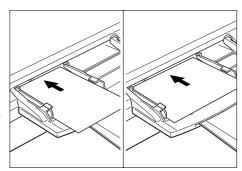
- **ミラーコートプラチナ (157g/㎡)**
- **NK 特両面アート**

注記
上記以外の用紙を使用すると、プリンターの故障の原因になります。

専用光沢紙に印刷する手順は、次のとおりです。

操作手順

1 特 A3 用ガイドを起こしてから、用紙ガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。

2 専用光沢紙を、印刷する面を上にして差し込み口に軽くあたるまで入れます。

注記
専用光沢紙は、1 枚ずつセットしてください。多数枚をセットして使用すると、用紙が湿気を含んで複数枚が重なって機械に入り、故障の原因になります。

3 専用光沢紙が正しくセットできたら、アプリケーションソフトから印刷を指示します。

このとき、プリンタードライバーで次の「プリンタードライバーの設定 (専用光沢紙に印刷する場合)」に示す項目を設定してください。

プリンタードライバーの設定（専用光沢紙に印刷する場合）

■Windows での設定

タブ	項目	値
用紙 / 出力	出力用紙サイズ	[A4]、[A3]、[12 × 18"] または [原稿サイズと同じ] （ 使用する用紙のサイズを設定してください ）
	排出先	[サイドトレイ (おもて面 / 正順)]、または [サイドトレイ (おもて面 / 逆順)]
	用紙トレイ選択	[手差し]
	手差しトレイの用紙セット方向	[たて置き]、または [よこ置き]
	用紙種類	[専用光沢紙]
グラフィックス	おすすめ画質タイプ	[専用光沢紙]

■Macintosh での設定

タブ	項目	値
用紙設定	出力サイズ	[A4]、[A3]、[12 × 18"] または出力サイズを変更しない （ 使用する用紙のサイズを設定してください ）
	用紙種類	[専用光沢紙]
一般設定	おすすめ画質タイプ	[専用光沢紙]
プリンタ設定	用紙トレイ選択	[手差し]
	用紙セット方向	[たて置き]、または [よこ置き]
	排出先	[サイドトレイ (おもて面 / 正順)]、または [サイドトレイ (おもて面 / 逆順)]

補足

プリンタードライバーの各項目の機能については、オンラインヘルプを参照してください。また、オンラインヘルプの使用方法については、「4.4 オンラインヘルプを活用する」を参照してください。

4.8 不定形サイズの用紙に印刷する

本プリンターでは、手差しトレイを使って、不定形サイズの用紙に印刷できます。
本プリンターで、使用できる用紙のサイズは、次のとおりです。
• 幅 90 〜 330.2㎜、長さ 144.8 〜 457.2㎜

また、不定形サイズの用紙を使用する場合は、ユーザー定義サイズに、用紙のサイズを設定する必要があります。

4.8.1 ユーザー定義サイズを設定する

Macintosh の場合は、アプリケーションソフトから印刷を指示する手順の中で、ユーザー定義サイズの設定をすることができます。次の「4.8.2 不定形サイズの用紙に印刷する」に進んでください。
Windows の場合は、アプリケーションソフトから印刷を指示する前に、次の手順に従って、ユーザー定義サイズを設定しておく必要があります。ここでは、Windows 98 の例で説明します。

操作手順

1 **[スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。**

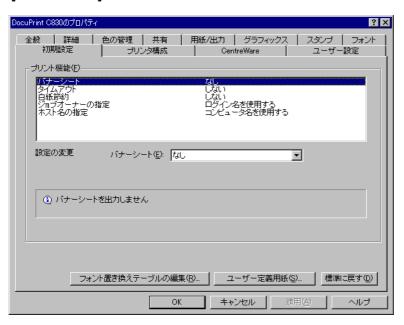
[プリンタ] ウィンドウが表示されます。

補足

Windows XP では、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] をクリックします。

2 **本プリンターのプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。**

[プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

3 [初期設定] タブをクリックします。

4 [ユーザー定義用紙] をクリックします。

[ユーザー定義用紙] ダイアログボックスが表示されます。

5 ユーザー定義 1 ～ 5 のどれかに、使用する用紙のサイズを設定します。

参照

[ユーザー定義用紙] ダイアログボックスでの設定の詳細は、オンラインヘルプを参照してください。また、オンラインヘルプの使用方法については、「4.4 オンラインヘルプを活用する」を参照してください。

6 **設定できたら、[ユーザー定義用紙] ダイアログボックスの [OK] をクリックします。**

7 **[プロパティ] ダイアログボックスの [OK] をクリックします。**

これでユーザー定義の用紙サイズが設定されます。

4.8.2 不定形サイズの用紙に印刷する

不定形サイズに印刷するときは、手差しトレイに用紙をセットします。

操作手順

1 **手差しトレイに、用紙をセットします。**

参照

手差しトレイに用紙をセットする手順については、「5.2.3 手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。

2 **用紙が正しくセットできたら、アプリケーションソフトから印刷を指示します。**

このとき、プリンタードライバーで次の「プリンタードライバーの設定 (不定形サイズの用紙に印刷する場合)」に示す項目を設定してください。

プリンタードライバーの設定(不定形サイズの用紙に印刷する場合)

■Windowsでの設定

タブ	項目	値
用紙/出力	出力用紙サイズ	[ユーザー定義1]～[ユーザー定義5]のどれか ([初期設定]タブの[ユーザー定義設定]ダイアログボックスで、設定した用紙のサイズ)
	用紙トレイ選択	[手差し]

■Macintoshでの設定

タブ	項目	値
用紙設定	用紙サイズ	[ユーザー定義] ([ユーザー定義用紙]ダイアログボックスで、使用する用紙のサイズを設定してください)
ユーザー定義用紙	短辺、長辺	使用する用紙のサイズを設定してください
プリンタ設定	用紙トレイ選択	[手差し]

補足

プリンタードライバーの各項目の機能については、オンラインヘルプを参照してください。また、オンラインヘルプの使用方法については、「4.4 オンラインヘルプを活用する」を参照してください。

4.9 両面印刷をする

本プリンターでは、次のどちらかの方法で両面印刷ができます。

- **普通紙の場合は、用紙トレイからの印刷でも手差しトレイからの印刷でも、アプリケーションソフトから印刷を指示するとき、プリンタードライバーで両面印刷を指定するだけで、自動的に用紙の両面に印刷できます。**
- **はがきや厚紙などの特殊紙、または不定形サイズの用紙の場合は、本プリンターで印刷したときに限り、一度印刷した用紙を手差しトレイにセットすることで、用紙の両面に印刷できます。**

参照

両面印刷ができる用紙については、「5.1.1 使用できる用紙」を参照してください。

補足

Windows から、たびたび両面印刷する場合は、プリンタードライバーの [ユーザー設定] タブで設定を登録しておくことをお勧めします。一度登録をすれば、印刷するたびに面倒な設定をする必要がありません。[ユーザー設定] タブについては、プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

両面印刷の種類

両面印刷には、「長辺とじ」と「短辺とじ」の 2 種類があります。それぞれ、次のように両面印刷されます。

4.9.1 自動で両面印刷をする

普通紙に自動で両面印刷をするときは、用紙トレイまたは手差しトレイに用紙をセットします。

参照

厚紙やはがき、専用光沢紙などの特殊紙や、不定形サイズの普通紙に両面印刷をする手順については、「4.9.2 はがきや封筒など特殊紙の両面に印刷する」を参照してください。

操作手順

1 用紙トレイまたは手差しトレイに、用紙をセットします。

2 用紙が正しくセットできたら、アプリケーションソフトから印刷を指示します。

このとき、プリンタードライバーで次の「プリンタードライバーの設定（普通紙に両面印刷をする場合）」に示す項目を設定してください。

プリンタードライバーの設定 (普通紙に両面印刷をする場合)

■Windows での設定

タブ	項目	値
用紙 / 出力	両面	[長辺とじ]、または [短辺とじ]
	用紙種類	[普通紙]

■Macintosh での設定

タブ	項目	値
用紙設定	用紙種類	[普通紙]
プリンタ設定	両面印刷	[長辺とじ]、または [短辺とじ]

補足

プリンタードライバーの各項目の機能については、オンラインヘルプを参照してください。また、オンラインヘルプの使用方法については、「4.4 オンラインヘルプを活用する」を参照してください。

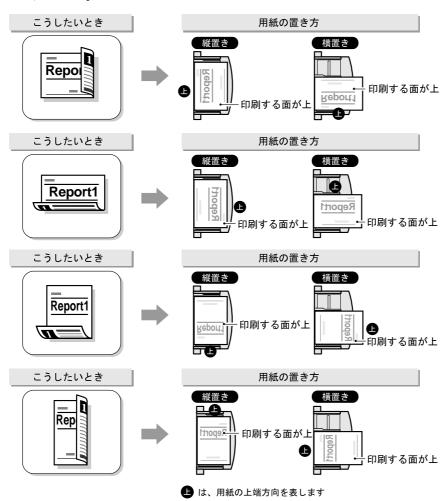
4.9.2 はがきや封筒など特殊紙の両面に印刷する

次の用紙の場合は、本プリンターで印刷した場合に限って、一度印刷した用紙を手差しトレイにセットして、その用紙のうら面に印刷できます。

- **不定形サイズ（幅 90 ～ 330.2㎜、長さ 144.8 ～ 457.2㎜）の普通紙**
- **厚紙**
- **はがき**
- **コート紙**
- **専用光沢紙**

注記

本プリンター以外で印刷した用紙を使用すると、プリンターの故障の原因になります。使用しないでください。

原稿の向きやとじ方向に応じて、手差しトレイに正しい向きに用紙をセットしてください。

また、アプリケーションソフトから印刷を指示するときは、プリンタードライバーで次に示す項目を設定してください。

プリンタードライバーの設定 (特殊紙のうら面に印刷する場合)

■Windows での設定

タブ	項目	値
用紙 / 出力	用紙トレイ選択	[手差し]
	用紙種類	[xxx(うら面)](xxx は、それぞれの紙質)

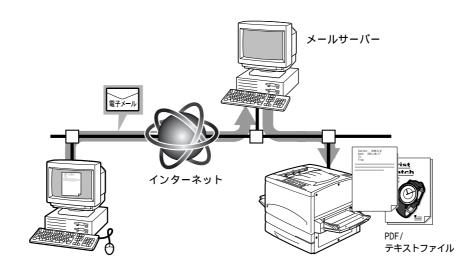
■Macintosh での設定

タブ	項目	値
用紙設定	用紙種類	[xxx(うら面)](xxx は、それぞれの紙質)
プリンタ設定	用紙トレイ選択	[手差し]

補足

特殊紙の場合は、その紙質に応じて、そのほかの項目も設定する必要があります。前節、およびプリンタードライバーのオンラインヘルプを参照して、設定してください。また、オンラインヘルプの使用方法については、「4.4 オンラインヘルプを活用する」を参照してください。

4.10 E メールプリントをする

プリンターがネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの送受信ができる環境が用意されている場合には、コンピューターからプリンターあてにメールを送信できます。
コンピューターから送信されたメールの本文、および添付文書 (PDF またはテキストファイル) が、プリンターから印刷されます。この機能を、「E メールプリント」と呼びます。

4.10.1 E メールプリントをするための環境設定

E メールプリント機能を使用するためには、お使いのネットワーク環境にある各種サーバー (SMTP サーバーや POP3 サーバーなど) にも設定が必要です。
メール環境の設定については、ネットワーク管理者にご相談ください。
また、CentreWare Internet Services を使用して、本機側に次のような設定を行う必要があります。

項目	設定内容
ポート起動	SMTP/POP3 の [E メールプリント] を起動します。
ポートの設定（SMTP/POP3）	本体メールアドレスや、SMTP サーバーアドレス、POP3 サーバーアドレス、POP ユーザー名、POP パスワードなどのメール環境と E メールプリントの設定をします。 印刷するためのパスワードも、ここで設定します。

参照

- ポートの起動は、操作パネルからもできます。操作パネルを使った起動方法は、「2.1.4 プロトコルを設定する」を参照してください。
- CentreWare Internet Services での設定方法については、同梱されている CD-ROM 内の『ネットワークガイド』、または CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

ここでは、これらの環境はすでに設定されていることを前提に説明します。

4.10.2 送信できる添付ファイル

添付文書として送信できるのは、次のファイルだけです。
- **PDF ファイル**
- **テキスト (txt) ファイル**

補足
テキストファイル(メールの本文を含む)を印刷する場合は、操作パネルで、【1 システムセッテイ】の【テキストインサツ】を【スル】に設定してください。【テキストインサツ】の初期値は【シナイ】です。

4.10.3 メールを送信する

E メールプリントをする場合は、コンピューターのメールソフトを使用して、メールのあて先にプリンターの本体メールアドレスを指定します。
そして、メールの件名または本文に、次に示す特定のコマンドを記述し、印刷したい文章を記述、または PDF、txt ファイルを添付します。

参照
メールの送信方法は、使用しているメールソフトによって異なります。各メールソフトの説明書を参照してください。

補足
送信メールの形式は、テキスト形式にしてください。HTML 形式(HTML メール)は対応していません。

メールの本文にコマンドを指定する場合

メール本文に記述できるコマンドは、次のとおりです。
この場合は、メールの件名は何でもかまいません。任意に付けてください。

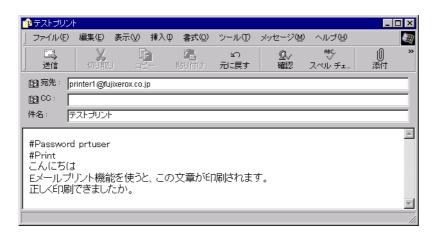
コマンド	パラメータ	説　明
#Password	パスワード	プリント用パスワードが設定されている場合は、必ず先頭にこのコマンドを記述します。パスワードが設定されていない場合は、省略できます。
#Print	-(なし)	#Print コマンドの次行からのテキストを印刷します。 添付文書(PDF、txt ファイル)がある場合は、添付文書を印刷します。

＜記述例＞

コマンドは、次のような規則に従って記述します。
- **コマンドの大文字・小文字は区別しません。**

- **コマンドは、必ず「#」で始め、パスワードが設定されている場合は、メールの本文の先頭は必ず #Password コマンドを記述します。**
- **「#」以外で始まる行は無視されます。**
- **メール本文 1 行に 1 コマンドを記述し、コマンドとパラメータは、スペースまたはタブで区切ります。**
- **メール内に複数の同一コマンドがある場合は、2 度め以降のコマンドは無視されます。**

次に Outlook Express での記述例を示します。ここでは、本体メールアドレスが「printer1@fujixerox.co.jp」、プリント用パスワードに「prtuser」と設定されていると仮定します。

■記述例 1: メール本文のテキストを印刷する場合

■記述例 2: 添付文書を印刷する場合

補足

- #Print コマンド以降にテキストが記述されていない場合は、テキストは印刷されません。
- 添付文書（PDF、txt ファイル）は複数指定できます。
- メールの本文やテキストファイルを印刷する場合は、操作パネルで、【1 システムセッテイ】の【テキストインサツ】を【スル】に設定してください。【テキストインサツ】の初期値は【シナイ】です。

メールの件名にコマンドを指定する場合

メールの件名に記述できるコマンドは、次のとおりです。

コマンド	説　明
#Print パスワード	プリント用パスワードが設定されている場合は、#Print のあとにスペースで区切り、パスワードを指定します。 パスワードが設定されていない場合は、「#Print」とだけ指定します。 記述例： #Print #Print prtuser
#Print[パスワード]	プリント用パスワードが設定されている場合は、#Print のあとに [] で囲んで、パスワードを指定することもできます。 #Print と [の間には、スペースは入れないでください。 記述例：#Print[prtuser]

メールの件名に #Print コマンドを指定した場合は、メールの本文全文、および添付文書（PDF、txt ファイル）が印刷されます。
ただし、メール本文の先頭行にテキストが記述されていない場合 (改行だけ、またはスペースだけの場合も含む) は、本文のテキストは印刷されません。

本機からの確認メール

本機は、#Print コマンドが記述されたメールを受信すると、次のような返信メールを返します。
ユーザーは、この返信メールで、プリント指示が正常に受け付けられたかどうかを確認できます。

補足

件名に #Print コマンドを指定した場合は、パスワードの指定にかかわらず、返信メールの件名は「Re:#Print」になります。

```
Subject : Re: テストプリント
   Date : Fri, 22 Feb 2002 16:11:39 +0900 (JST)
   From : printer1@fujixerox.co.jp
     To : service@fujixerox.co.jp

[E-Mail Printing]
 - Command received.
```

プリンターの基本操作

4

4.10.4 メールによる文書送信時のご注意

セキュリティーに関するご注意

メールは、世界中のコンピューターとつながったインターネットを伝送経路として使用します。そのため、第三者に盗み見られたり、改ざんされたりすることがないよう、セキュリティーに関しての注意が必要です。
したがって、重要情報はセキュリティーが確保されているほかの方法を利用されることをお勧めします。また、不用メールの受信を防止するため、本機のメールアドレスを、不用意に第三者に開示しないことをお勧めします。

受信許可メールアドレスの指定

本機では、特定のアドレスからだけのメールを受信するように設定できます。メールの受信を許可するメールアドレスを 2 件まで登録できます。

参照
受信許可メールアドレスの設定方法については、同梱されている CD-ROM 内の『ネットワークガイド』、または CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

使用できる用紙とセットの仕方

5 章

5.1 使用できる用紙と使用できない用紙

適切でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質低下の原因になることがあります。プリンターの性能を効果的に活用するためには、ここで紹介する用紙を使用されることをお勧めします。

5.1.1 使用できる用紙

普通紙 (一般紙)

一般に市販されている用紙 (一般紙と呼びます) に印刷する場合は、規格に合った用紙を使用してください。ただし、より鮮明に印刷するためには、標準紙の使用をお勧めします。

給紙方法	規格
手差しトレイ	メートル坪量：64 ～ 220g/㎡[2]
トレイ 1 トレイ 2、3（オプション）	メートル坪量：64 ～ 105g/㎡[2]

補足

メートル坪量とは、1㎡[2] の用紙 1 枚の質量をいいます。

普通紙 (標準紙)

本プリンターの標準紙は次のとおりです。

給紙方法	規格
J 紙 (カラー・片面印刷用)	メートル坪量：82g/㎡[2]
JD 紙 (カラー・両面印刷用)	メートル坪量：98g/㎡[2]
P 紙 (白黒用)	メートル坪量：65g/㎡[2]

特殊紙

手差しトレイを使用すれば、次の用紙にも印刷できます。これらの用紙を特殊紙と呼びます。

用紙の種類	商品コード	注記
OHP フィルム (XEROX FILM < 枠なし >)	V516	フルカラー用 (白い枠が付いています) は使用できません。
ラベル用紙 (A4)	V862	全面シールで、カットされていないものは使用できます。
封筒 • 洋形 2 号 (162 × 114㎜) • 洋形 3 号 (148 × 98㎜) • 洋形 4 号 (235 × 105㎜) • 洋長形 3 号 (235 × 120㎜)	-	封筒は、のりづけ部分にテープがついていないものを使用してください。あらかじめのりづけされている封筒は、のりづけ部分の状態によっては印刷できないことがあります。
官製はがき	-	すでにおもて面に印刷されているはがきのうら面に印刷するとき、少しでも、はがきが反っていると紙づまりの原因になることがあります。手で平らな状態に戻してから、はがきをセットしてください。 また、かもめーるなど多色刷りのはがきには印刷しないでください。
厚紙 (メートル坪量 : 106 ～ 220g/m^2 まで)	-	硬い厚紙に印刷すると、イメージがずれることがあります。
コート紙	-	インクジェットプリンター用のコート紙は、使用できません。 また、コート紙と専用光沢紙は、1 枚ずつセットしてください。多数枚をセットして使用すると、用紙が湿気を含んで複数枚が重なって機械に入り、故障の原因になります。
専用光沢紙 • ミラーコートプラチナ 157g/m^2 (A4) (A3) • NK 特両面アート (両面印刷用) (A4) (A3) (12 × 18")	 V588 V589 V607 V608 V844	

補足

- 普通紙、厚紙、はがき、コート紙、専用光沢紙の場合は、本プリンターで印刷した用紙に限って、手差しトレイを使用して一度印刷した用紙のうら面に印刷できます。詳細は、「4.9.2 はがきや封筒など特殊紙の両面に印刷する」を参照してください。
- 厚紙に印刷する場合は、プリンタードライバーで用紙の種類を[厚紙 1(106 ～ 220g/m^2)]または［厚紙 1(106 ～ 220g/m^2)(うら面)］を選択してください。
  トナーの定着が悪くてはがれるような場合、用紙によっては、[厚紙 2(106 ～ 220g/m^2)]または［厚紙 2(106 ～ 220g/m^2)(うら面)］を選択して印刷すると、定着性を改善できることがあります。
- OHP フィルムやはがき、封筒、専用光沢紙に印刷する場合の詳細は、「4.7 OHP フィルムやはがき、封筒、専用光沢紙に印刷する」を参照してください。

給紙方法とセットできる用紙

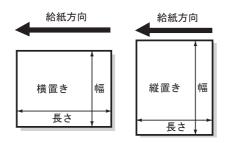
給紙方法と、セットできる用紙の種類、最大収容枚数、用紙サイズは、次のとおりです。

給紙方法	用紙の種類	最大収容枚数	用紙サイズ
手差しトレイ	普通紙 はがき 封筒 ラベル用紙 OHP フィルム (枠なし) 厚紙	150 枚または 厚さ 16㎜	A5 縦 / 横置き B5 縦 / 横置き A4 縦 / 横置き B4 横置き A3 横置き 8.5 × 11"(レター) 縦 / 横置き 8.5 × 14"(リーガル) 横置き 11 × 17" 横置き 12 × 18" 横置き 328 × 453㎜ 横置き はがき 封筒 (洋形2/3/4号、洋長形3号) ユーザー定義サイズ (幅：90 〜 330.2㎜、 長さ：144.8 〜 457.2㎜)
	コート紙 専用光沢紙	1 枚	
トレイ 1 250 枚ユニバーサルトレイ (同梱品 / オプション)	普通紙	250 枚または 厚さ 26㎜	B5 縦置き A4 縦 / 横置き B4 横置き A3 横置き 8.5 × 11"(レター) 縦置き 8.5 × 14"(リーガル) 横置き 11 × 17" 横置き 12 × 18" 横置き
特 A3 トレイ (オプション)	普通紙	250 枚、または 厚さ 26㎜ まで	328 × 453㎜ 横置き
トレイ 2、3 トレイモジュール (オプション)	普通紙	各トレイ 500 枚、 または 厚さ 53㎜ まで	B5 縦置き A4 縦 / 横置き B4 横置き A3 横置き 8.5 × 11"(レター) 縦 / 横置き 8.5 × 14"(リーガル) 横置き 11 × 17" 横置き

注記

用紙の厚さによって、一度にセットできる枚数が異なります。

補足

表中の「横置き」、「縦置き」、「幅」、「長さ」の関係は、下図のとおりです。

両面印刷ができる用紙

本プリンターでは、両面印刷ができます。

補足

画像密度が高い文書をカラーで両面印刷する場合は、JD 紙を使用してください。

■両面印刷モジュールを使用した自動両面印刷

両面印刷モジュール (オプション) を取り付けている場合は、印刷時に [両面] を指定することによって、自動的に用紙の両面に印刷できます。
両面印刷モジュールを使用して両面印刷ができる用紙の種類とサイズは、次のとおりです。

用紙の種類	用紙サイズ
普通紙 (メートル坪量 :64 ～ 105g/㎡)	B5 縦置き A4 縦 / 横置き B4 横置き A3 横置き 8.5 × 11"(レター) 縦 / 横置き 8.5 × 14"(リーガル) 横置き 11 × 17" 横置き 12 × 18" 横置き

■手差しトレイを使用した両面印刷

特殊紙に両面印刷をする場合や、両面印刷モジュールを取り付けていない場合で両面印刷をする場合は、片面を印刷した用紙を手差しトレイにセットすることで、そのうら面に印刷できます。
手差しトレイを使用して両面印刷ができる用紙の種類とサイズは、次のとおりです。

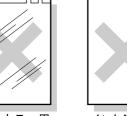
注記

手差しトレイを使用して両面印刷ができるのは、本プリンターで片面を印刷した用紙だけです。

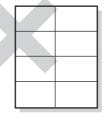
用紙の種類	用紙サイズ
普通紙 厚紙 はがき コート紙 専用光沢紙	A5 縦 / 横置き B5 縦 / 横置き A4 縦 / 横置き B4 横置き A3 横置き 8.5 × 11"(レター) 縦 / 横置き 8.5 × 14"(リーガル) 横置き 11 × 17" 横置き 12 × 18" 横置き 328 × 453㎜ 横置き はがき ユーザー定義サイズ (幅：90 ～ 330.2㎜、長さ：144.8 ～ 457.2㎜)

5.1.2 使用できない用紙

次のような用紙は、紙づまりや故障、および装置破損の原因になります。使用しないでください。

- FUJI XEROX フルカラー OHP フィルムなど、推奨 OHP フィルム以外のもの
- インクジェット専用紙
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 他のプリンターやコピー機で印刷された用紙
- シワや折れ、破れのある用紙
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- 反っている (カールしている) 用紙
- 静電気で密着している用紙
- 貼り合わせた用紙、のりが付いた用紙
- 紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 155℃の熱で変質するインクを使った用紙
- 感熱紙
- カーボン紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 酸性紙を使用した場合は、文字ボケが出ることがあります。そのときは中性紙に替えてください。
- 凹凸や留め金のある封筒

- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- のりづけ部分がのりでベタついている封筒
- 台紙全体がラベルなどで覆われていないものや、カットされているラベル用紙

テープ付き

台紙全体がラベルに覆われていない

カットされている

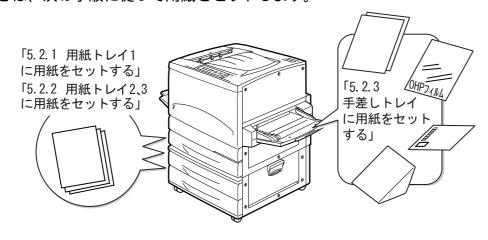
- 布地転写紙
- 水転写紙
- 電飾紙
- デジタルコート紙の艶ありタイプ
- タックフィルム（透明 / 無色）
- 穴あき用紙

5.1.3 用紙の保管方法

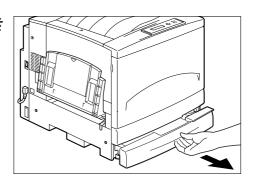
適切な用紙でも、保管状態が悪い場合には変質し、紙づまりや印字品質の低下、故障の原因になります。用紙は、次のように保管してください。

- 温度　10 ～ 30 ℃
- 相対湿度　30 ～ 65%
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙は立てかけずに、平らな場所に保管してください。
- シワ、折れ、カールなどが付かないように保管してください。
- 直射日光の当たらない場所に保管してください。

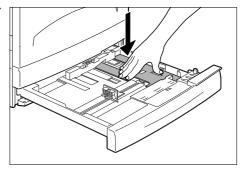
5.2 用紙をセットする

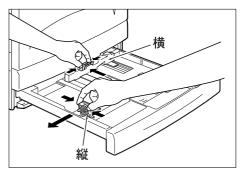
用紙トレイや手差しトレイに、用紙がなくなったときや、印刷したい用紙がセットされていないときは、次の手順に従って用紙をセットします。

参照
それぞれのトレイにセットできる用紙については、「5.1 使用できる用紙と使用できない用紙」を参照してください。

5.2.1 用紙トレイ 1 に用紙をセットする

ここでは、A4 サイズの用紙を縦置きにセットする例で説明します。

操作手順

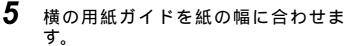
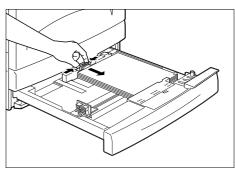
1 **用紙トレイを、止まるまで手前に引き出します。**

2 **用紙トレイの、金属の底板を手で下げて、上に浮き上がらないように固定します。**

3 縦、横の用紙ガイドクリップを指でつまみながら、ガイドを外側にずらします。

縦の用紙ガイドは、左側いっぱいまでずらしてください。

4 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にしてセットします。

右手前側にあるツメの下に用紙をセットしてください。

注記

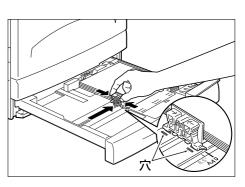
- 折りめやシワが入った用紙、反りが大きい（カールしている）用紙は使用しないでください。
- 最大収容枚数(用紙上限)を超えて、用紙をセットしないでください。
- 用紙はツメの下にセットし、ツメの上には載せないようにしてください。

5 横の用紙ガイドを紙の幅に合わせます。

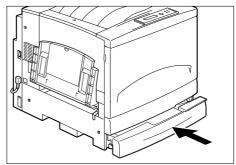
注記

用紙ガイドを用紙に強く押しつけすぎると、紙づまりの原因になります。逆にゆるすぎると、紙のねじれの原因になります。

6 用紙の端をそろえたあと、縦の用紙ガイドの先端（▽）を用紙サイズ目盛りに合わせます。

注記

- 縦の用紙ガイドのストッパーが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- 縦の用紙ガイドが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときはいったん縦の用紙ガイドを左端までずらし、再度目盛りに合わせてください。

7 **用紙トレイを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。**

用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

5.2.2 トレイ 2、3 に用紙をセットする

ここでは、トレイ 2 に A4 サイズの用紙を縦置きにセットする例で説明します。

補足

同様の手順で、トレイ 3 にも用紙をセットできます。

操作手順

1 **用紙トレイを、止まるまで手前に引き出します。**

2 **縦、横の用紙ガイドクリップを指でつまみながら、ガイドを外側にずらします。**

縦の用紙ガイドは、左側いっぱいまでずらしてください。

3 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にしてセットします。

注記

- 折りめやシワが入った用紙、反りが大きい（カールしている）用紙は使用しないでください。
- 最大収容枚数(用紙上限)を超えて、用紙をセットしないでください。
- 図の灰色のツメは、用紙が斜めに送られるのを防ぐためのものです。

4 横の用紙ガイドを紙の幅に合わせ、「カチッ」と固定されるまでずらします。

注記

- 横の用紙ガイドのストッパーが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- 横の用紙ガイドのストッパーが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときはいったん横の用紙ガイドを奥までずらし、再度目盛りに合わせてください。

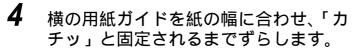
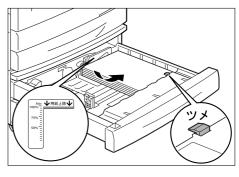
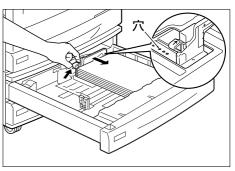
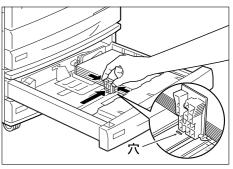
5 用紙の端をそろえたあと、縦の用紙ガイドの先端（▽）を用紙サイズ目盛りに合わせます。

注記

- 縦の用紙ガイドのストッパーが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- 縦の用紙ガイドが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときはいったん縦の用紙ガイドを左端までずらし、再度目盛りに合わせてください。

6 用紙トレイを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

注記

用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

5.2.3　手差しトレイに用紙をセットする

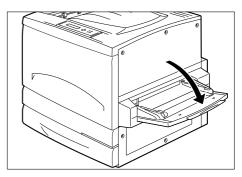
手差しトレイに用紙をセットする手順を説明します。

注記
手差しトレイには、サイズの異なる用紙を同時にセットしないでください。また、手差しトレイに用紙が残っている状態で、新しい用紙を追加しないでください。紙づまりなどの原因になることがあります。

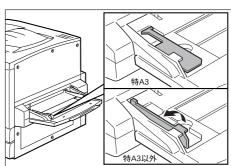
参照
- 手差しトレイにOHPフィルムやはがき、封筒、専用光沢紙をセットする場合は、「4.7 OHPフィルムやはがき、封筒、専用光沢紙に印刷する」を参照してください。
- 手差しトレイに一度印刷した用紙をセットする場合は、「4.9.2 はがきや封筒など特殊紙の両面に印刷する」を参照してください。

操作手順

1　手差しトレイが折りたたまれている場合は、手差しトレイを開けます。

注記
破損の原因になるので、手差しトレイには必要以上の力をかけたり、用紙以外の重いものを載せたりしないでください。

2　328×453mmサイズ以外の用紙をセットする場合は、特A3用ガイドを起こしておきます。

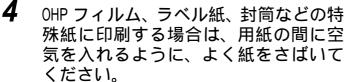
特A3用ガイドは、328×453mmサイズや、幅が12.2インチを超えるユーザー定義サイズの用紙をセットするとき倒します。

注記
幅が12.2インチ以下の用紙に印刷するとき、特A3用ガイドを倒して用紙をセットすると、印字位置がずれて正しく印刷できません。

3　用紙ガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます (①)。

A3 サイズなど大きな用紙をセットするときは、延長トレイを引き出します (②)。

注記

A3 サイズなど大きな用紙をセットするとき、延長トレイを使用しないと、用紙が落下したり、紙送りができなくなったりすることがあります。

4　OHP フィルム、ラベル紙、封筒などの特殊紙に印刷する場合は、用紙の間に空気を入れるように、よく紙をさばいてください。

補足

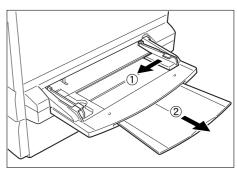
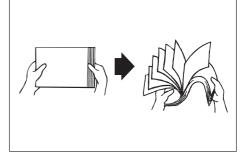
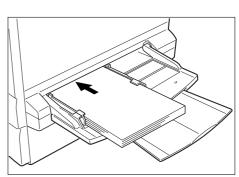
用紙の間に空気を入れることによって、複数枚の紙送り (重送) や紙づまりを防ぐことができます。

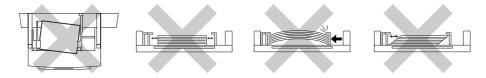
注記

- 普通紙は、さばかずにそのままセットしてください。
- コート紙と専用光沢紙は、1 枚ずつセットしてください。多数枚をセットして使用すると、用紙が湿気を含んで複数枚が重なって機械に入り、故障の原因になります。
- 裁断が悪く、用紙くずが周囲に付いている場合は、用紙くずを取り除いてください。

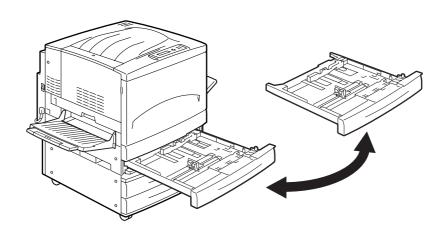
5　用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして、差し込み口に軽く当たるまで入れます。

注記

- 折りめやシワが入った用紙は使用しないでください。
- 最大収容枚数を超えて、用紙をセットしないでください。

正しくない用紙のセット方法

用紙は正しくセットできましたか？
用紙ガイドと用紙の間に隙間があいていたり、ガイドを強く押しすぎて用紙がゆがんだりしていませんか。
また、用紙が斜めになっていませんか。

用紙が正しくセットされていないと、印字位置がずれて正しく印刷できません。確認してください。

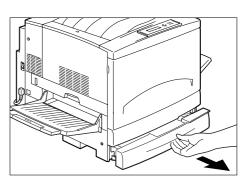
5.3 トレイ 1 をオプションの用紙トレイと入れ替えて使用する

トレイ 1 には、オプションの 250 枚ユニバーサルトレイや特 A3 トレイを取り付けることができます。250 枚ユニバーサルトレイを購入している場合は、標準のトレイ 1 と異なるサイズの用紙をセットしておき、必要に応じて、トレイを入れ替えて使用できます。
ここでは、用紙トレイをプリンターから取り外す手順と、プリンターに取り付ける手順を説明します。

参照
オプションの用紙トレイの種類については、「付録 A オプション品と消耗品の紹介」を参照してください。

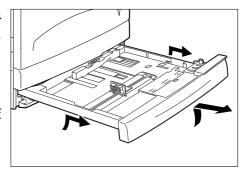
5.3.1 用紙トレイを取り外す

手順は次のとおりです。

操作手順

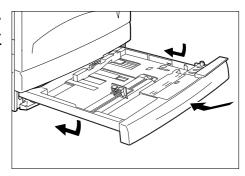
1 **用紙トレイを、手前に止まるまで引き出します。**

2 **用紙トレイを両手で持ち、トレイの手前側を押し上げるようにして引き出します。**

補足

取り外した用紙トレイは、平らな場所に置いてください。

5.3.2 用紙トレイを取り付ける

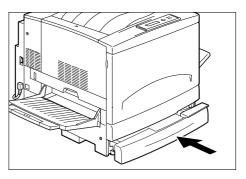
手順は次のとおりです。

操作手順

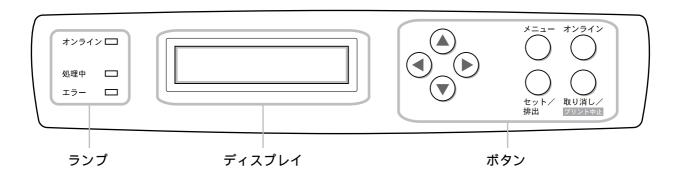
1 **用紙トレイを両手で持ち、プリンター本体の用紙トレイ取り付け口の溝に沿って、差し込みます。**

2 **用紙トレイを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。**

注記

用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

6章

操作パネルについて

6.1 操作パネルの各部の名称

操作パネルは、ランプ、ディスプレイ、ボタンで構成されています。ここでは、操作パネルの各部の名称と働きについて説明します。

6.1.1 ランプ

ランプは、プリンターの状態を点灯 / 点滅 / 消灯で表します。

名称	説明
オンラインランプ	緑色でデータの処理状況を表します。 点灯 印刷が可能なことを表します。 消灯 印刷が不可能なことを表します。
処理中ランプ	緑色で印刷の処理状況を表します。 点灯 印刷処理中でデータを受信していないことを表します。また、排出 / 中止の処理中にも点灯します。 点滅 印刷処理中でデータを受信していることを表します。 消灯 印刷処理を行っていないことを表します。
エラーランプ	赤色でプリンターの異常を表します。 点灯 紙づまりなど、お客様自身で対処可能なエラーが発生していることを表します。 点滅 お客様自身では対処できないエラーが発生していることを表します。お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。 消灯 プリンターが正常に動いていることを表します。

6.1.2　ディスプレイ

プリンターの状態を表す「プリント画面」と、プリンターに関する設定をするための「メニュー画面」があります。

補足

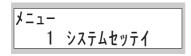
プリンターに取り付けられているオプションや、設定の状態によって、表示される内容は異なります。

プリント画面

印刷しているときやデータを待っているときは、ディスプレイはプリント画面になっています。プリント画面では、次のような内容が表示されます。

名称	説明
プリンター状態	プリンターの状態を表します。 表示例：【オマチクダサイ】、【プリント シテイマス】、【プリント デキマス】
入力ポート	データを受信しているポートを表します。 表示例：【パラレル】、【LPD】、【NetWare】、【AppleTalk】、【SMB】
トレイ	給紙トレイを表します。 表示例：【トレイ 1】、【トレイ 2】、【トレイ 3】、【テザシ】

メニュー画面

プリンターに関する設定をする画面です。
メニュー画面は、プリント画面から < ｵﾝﾗｲﾝ > ボタンを押してオフライン状態にしてから、< ﾒﾆｭｰ > ボタンを押して表示します。メニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。

参照

メニュー画面の操作については、「6.2 メニュー画面の基本操作」を参照してください。

操作パネルについて
6

6.1.3　ボタン

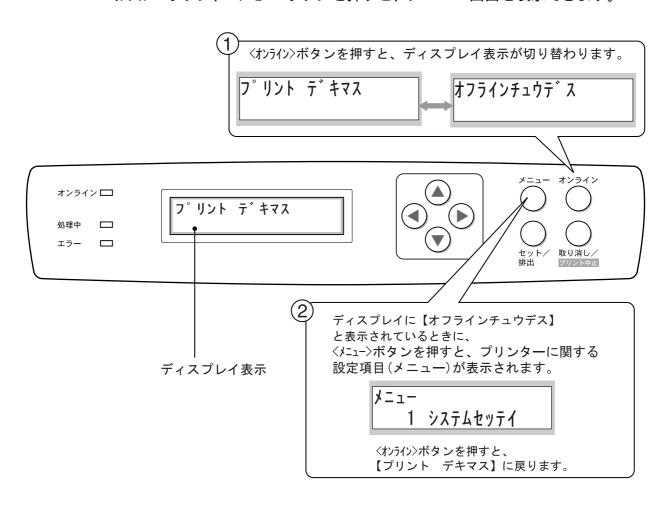
操作パネルには、次の 8 個のボタンがあります。
各ボタンは、プリント画面やメニュー画面で、次のような働きを持っています。

名称	プリント画面	メニュー画面
<▼><▲>ボタン	-	←メニューや項目を順番に表示します。
<◀><▶>ボタン	-	メニューの階層を切り替えたり、候補値のカーソル（_）を左右に移動したりします。 メニューで <▶> ボタンを押すと 1 つ下の階層に移り、<◀>ボタンを押すと1つ上の階層に戻ります。
<ﾒﾆｭｰ>ボタン	オフライン状態でこのボタンを押すと、メニュー画面に移行します。	-
<ｵﾝﾗｲﾝ>ボタン	オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。	メニュー画面を終了し、オンライン状態に切り替えます。
<ｾｯﾄ / 排出>ボタン	残ったデータを強制的に排出します。排出の操作については、「7.9　残ったデータを強制排出する（印刷が途中で止まった場合）」を参照してください。	表示されているメニューや項目を選択します。メニューが表示されている場合は、1 つ下の階層に移動し、候補値が表示されている場合は、値が確定されます。
<取り消し / ﾌﾟﾘﾝﾄ中止>ボタン	<ｵﾝﾗｲﾝ>ボタンを押してオフライン状態にしたあと、このボタンを押すと、処理中のジョブの印刷を中止します。中止の操作については、「4.5 印刷を中止する」を参照してください。	表示されているメニューの階層から、1 つ上の階層に移動します。

6.2 メニュー画面の基本操作

メニュー画面では、節電モードやジョブタイムアウトの時間、ネットワークの設定など、プリンターに関する設定をします。

6.2.1 メニュー画面を表示するには

< ｵﾝﾗｲﾝ > ボタン、< ﾒﾆｭｰ > ボタンを押すと、メニュー画面を表示できます。

6.2.2 メニューの構成

プリンターの操作パネルを使用して設定できるメニュー名と設定内容は、次のとおりです。

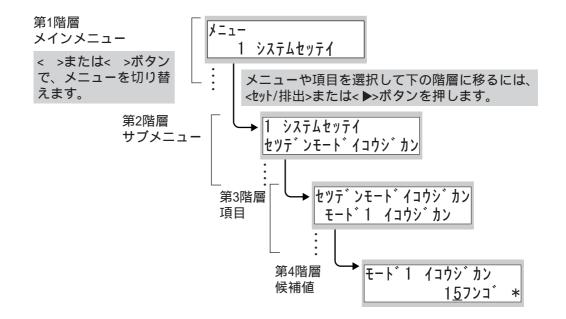
参照

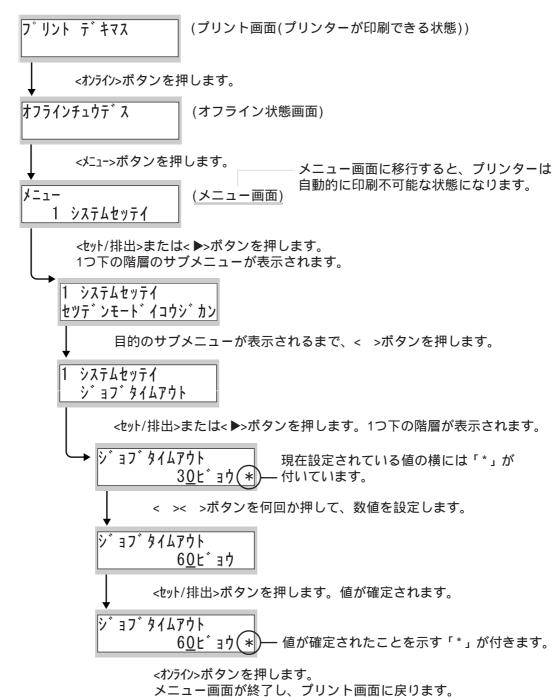
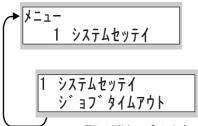
各メニューの詳細については、「6.3 メニュー画面項目一覧」を参照してください。

メニュー	内容
1 システムセッテイ	節電モードやジョブ履歴の設定など、プリンター本体の基本的な動作に関する設定をします。
2 メンテナンスモード	プリンター本体の NV メモリーを初期化したり、用紙の種類別に転写電圧を調整したりします。また、メニュー操作に対するセキュリティの設定や階調補正をします。
3 パラレル	パラレルインターフェイスに関する設定をします。
4 レポート / リスト	プリンター設定リスト、パネル設定リスト、XPL2 フォントリスト、プリント履歴レポートを印刷します。
5 ネットワーク	ネットワークに関する設定をします。
6 PDF Bridge	PDF ダイレクトプリント機能に関する設定をします。

メニューはいくつかの階層から構成されています。それぞれの階層で目的のメニューや項目を選択しながら、プリンターの設定をします。

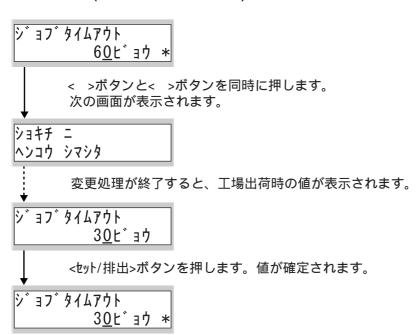
補足

メニューによって、3 階層 (項目がない) の場合もあります。

6.2.3 基本的な操作方法

ここでは、【1 システムセッテイ】メニューの【ジョブタイムアウト】を【60ビョウ】に設定する例で、操作パネルの基本的な操作方法を説明します。

階層を 1 つ上に戻るには

① <取り消し/ﾌﾟﾘﾝﾄ中止>または<◀>ボタンを押します。

注記

<取り消し/ﾌﾟﾘﾝﾄ中止>ボタンは、1つ上の階層に戻るときに使用します。
一度<ｾｯﾄ/排出>ボタンを押して確定した値(「*」が付きます)は、
<取り消し/ﾌﾟﾘﾝﾄ中止>ボタンを押しても元に戻りません。

設定を初期値（工場出荷時の値）に戻すには

6.2.4　設定を間違えたときには

プリンター操作パネルで操作を間違えたときは、次のように処理します。

< セット / 排出 > ボタンを間違えて押してしまい、1 つ前の画面に戻りたいとき

< 取り消し / ﾌﾟﾘﾝﾄ中止 > ボタンを押します。

< ▼ > ボタンを間違えて押してしまい、1 つ前の画面に戻りたいとき

< ▲ > ボタンを押します。

操作を間違えて、元のディスプレイ表示に戻れなくなった場合

< ｵﾝﾗｲﾝ > ボタンを押して、初めから設定し直してください。

< ｾｯﾄ / 排出 > ボタンを押して、間違った値を確定してしまった場合 (設定値の後ろに「 * 」が付きます)

この場合は、< 取り消し / ﾌﾟﾘﾝﾄ中止 > ボタンを押しても元に戻りません。
設定し直してください。

6.3 メニュー画面項目一覧

メニュー画面で設定できる項目や値について、メインメニュー別に説明します。

注記

メニュー画面の項目の中には、印刷時にコンピューターから指定できるものもあります。コンピューターからの設定とプリンターでの設定が異なる場合は、コンピューターからの設定がプリンターでの設定よりも優先します。

補足

初期値とは、工場出荷時の値です。

6.3.1 システム

節電モードやジョブ履歴の設定など、プリンター本体の基本的な動作に関する設定をします。

メニュー項目	説明
節電モード移行時間	**節電モードとは、プリンターを使用していないときの消費電力を節約する機能です。節電モードには、機械の働きを部分的に抑える節電モード 1 と、機械の働きを部分的に休止する節電モード 2 があります。** **節電モードになると、ディスプレイに【プリント デキマス / タイキ】と表示されます。また、通常の状態より、データを受信してから印刷を開始するまでに、時間がかかります。** **ここでは、それぞれの節電モードに移行するまでの時間を設定します。** 補足 • 後述の【セツデンモード】で、各節電モードへの移行が無効に設定されている場合は、そのモードに切り替わりません。 • 次のとき、節電モードが解除されます。 　• 印刷データを受け付けたとき 　•【4 レポート / リスト】でレポートやリストを印刷したとき • **モード 1 イコウジカン（初期値：15 フンゴ）** **1 ～ 120 分までの間で 1 分単位で設定します。印刷処理終了後、ここで設定した時間が過ぎてもプリンターが使用されないと、節電モード 1 に切り替わります。** • **モード 2 イコウジカン（初期値：15 フンゴ）** **5 ～ 120 分までの間で 1 分単位で設定します。節電モード 1 に移行後、ここで設定した時間が過ぎてもプリンターが使用されないと、節電モード 2 に切り替わります。**
節電モード	**各モードごとに、節電モードへの移行を有効にするかどうかを設定します。** **【ムコウ】に設定すると、節電モードに移行しません。** • **モード 1（初期値：ユウコウ）** • **モード 2（初期値：ユウコウ）**

メニュー項目	説明
プリント警告音	**プリンターに異常が発生したときに、警告音を鳴らすかどうかを設定します。** **• シナイ** **プリンターに異常が発生しても警告音を鳴らしません。** **• スル (初期値)** **プリンターに異常が発生したときに警告音を鳴らします。** 補足 音量の調整はできません。
ジョブタイムアウト	**印刷処理が、設定した時間を経過しても終了しない場合、その処理を強制的に終了させることができます。これをジョブタイムアウトといいます。** **ジョブタイムアウトが発生すると、プリンターはその時点までに受信したデータだけを印刷します。** 補足 Windowsから印刷する場合、ジョブタイムアウトの設定がプリンタードライバーでの設定と異なるときは、プリンタードライバーでの設定が優先されます。工場出荷時は、プリンタードライバーでは、[タイムアウト]([初期設定] タブ)は[しない]に設定されています。また、PDF ファイルをダイレクトプリント機能を使用して印刷した場合は、ジョブタイムアウトの処理を行いません。 **• 5 ～ 300 ビョウ (初期値：300 ビョウ)** **ジョブタイムアウトの処理を行う時間を、5 ～ 300 秒の間で、1 秒単位で設定します。** **• オフ** **ジョブタイムアウトの処理を行いません。**
パネル表示言語	**操作パネルに表示される言語を設定します。候補値は次のとおりです。** **• ニホンゴ (初期値)** **• エイゴ**
履歴の自動プリント	**プリント履歴レポートを自動的に印刷するかどうかを設定します。** 注記 印刷処理中は、この項目の設定はできません。 補足 プリント履歴レポートは、【4 レポート / リスト】メニューから印刷することもできます。 **• シナイ (初期値)** **処理した印刷ジョブが 22 件になっても、自動的にはプリント履歴レポートを印刷しません。** **• スル** **処理した印刷ジョブが 22 件になると、自動的にプリント履歴レポートを印刷します。**

メニュー項目	説明
ID プリント	特定の位置に、ユーザー ID を印刷します。 • シナイ (初期値) • ヒダリウエ • ミギウエ • ヒダリシタ • ミギシタ
テキスト印刷	本プリンターがサポートしている PDL 以外のデータを受信したときに、テキストデータとして印刷するかどうかを設定します。 補足 テキストデータは、A4 サイズの用紙に印刷されます。用紙トレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。 • スル テキストデータとして印刷します。 • シナイ（初期値） テキストデータとして印刷しません。

6.3.2 メンテナンスモード

プリンター本体の NV メモリーを初期化したり、用紙の種類別に転写電圧を調整したりします。また、メニュー操作に対するセキュリティを設定します。

メニュー項目	説明
NV メモリー初期化	NV メモリーを初期化します。 NV メモリーとは、電源を切ってもプリンターの設定内容を保持できる不揮発性のメモリーのことです。 注記 印刷処理中は、この項目の実行はできません。 • ハイ NV メモリーを初期化します。NV メモリーを初期化すると、操作パネルで設定した各メニュー項目が初期値に戻ります。 注記 このメニューで設定した値を有効にするには、プリンターの再起動が必要です。設定後、必ずプリンターの電源を切り、入れ直してください。 • イイエ NV メモリーを初期化しないで、メニューに戻ります。

メニュー項目	説明
転写電圧調整	次の項目ごとに、転写電圧を調整します。 候補値は、-2、-1、0、1、2、3、4、5、6、7 の 10 段階あります。 • フツウシ　(初期値：0) • OHP フィルム (初期値：0) • アツガミ　(初期値：0) • ラベルシ　(初期値：0) • コートシ　(初期値：0) • フウトウ　(初期値：0) • ハガキ　(初期値：0)
セキュリティ	メニュー項目の設定が誤って変更されることを防ぐために、メニュー項目の設定操作に対し、パスワードを設定できます。 • パネルセッテイホゴ (初期値：シナイ) パスワードを設定する場合は、【スル】に設定します。 • パスワードヘンコウ パスワードは 4 桁の数字で設定します。 初期値は、0000 です。 補足 設定したパスワードを忘れてしまった場合は、【2 メンテナンスモード】の【NV メモリー ショキカ】で【ハイ】を選択し、< ▲ > と < ▼ > と < ｾｯﾄ / 排出 > ボタンを同時に押してください。パスワードが初期化されます。
階調補正	印刷画質の色階調がずれた場合に、階調補正チャートを印刷して、階調を補正できます。 補足 階調補正をするには、オプションの階調補正用色見本が必要です。 参照 階調補正の手順については、「9.9 階調を補正する」を参照してください。

6.3.3 パラレル

パラレルインターフェイスに関する設定をします。

メモリー項目	説明
ECP	パラレルインターフェイスの通信モードである、ECP モードについて設定します。 • ユウコウ (初期値) ECP による印刷データを受け付けます。 • ムコウ ECP による印刷データを受け付けません。

6.3.4 レポート / リスト

各種リストやレポートを印刷します。

補足
各種リストやレポートは A4 サイズの用紙に印刷されます。用紙トレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。

メニュー項目	説明
プリンター設定リスト	**プリンターのハードウェア構成、および各種設定の内容を印刷します。** 参照 プリンター設定リストの印刷例は、「1.9.3 プリンター設定リストを印刷する」を参照してください。
パネル設定リスト	**操作パネルの各メニューで設定されている内容を印刷します。**
XPL2 フォントリスト	**XPL2 データで、印字できるフォントの情報を印刷します。**
プリント履歴レポート	**処理した印刷ジョブに関する情報 (最大 22 件) を印刷します。プリント履歴レポートでは、正しく印刷できたかどうかを確認できます。** 参照 プリント履歴レポートの印刷例は、「9.4.2 プリント履歴レポートを印刷する」を参照してください。

6.3.5 ネットワーク

ネットワークに関する設定をします。メニュー中の一部の項目は、オプションのネットワーク拡張カードを取り付けている場合だけ表示されます。

注記

- 印刷中にメニュー画面に移行した場合は、このメニューの設定はできません。
- このメニューで設定した値を有効にするには、プリンターの再起動が必要です。設定後、必ずプリンターの電源を切り、入れ直してください。

メニュー項目	説明
Ethernet 設定	Ethernet の通信速度やモードを設定します。 • ジドウ (初期値) 10Base ハーフ、10Base フル、100Base ハーフ、100Base フルを自動的に切り替えます。 • 10Base ハーフ • 10Base フル • 100Base ハーフ • 100Base フル

<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>TCP/IP</td><td>TCP/IP プロトコルを使用するために必要な情報を設定します。このメニューには、次の項目があります。
• IP アドレスセットアップ
IP アドレスの取得方法を設定します。候補値は次のとおりです。
•【DHCP】(初期値)
ネットワーク上の DHCP サーバーから、IP アドレスを取得します。
•【パネル】
操作パネルで IP アドレスを設定します。
• IP アドレス
プリンターの IP アドレスを設定します。
【aaa.bbb.ccc.ddd】
aaa、bbb、ccc、ddd とも、0 ～ 255 の間で設定します。
ただし、次の設定はできません。
224 ～ 255.xxx.xxx.xxx
127.xxx.xxx.xxx
注記
•【IP アドレスセットアップ】で【DHCP】が設定されている場合は、ここでの設定は無効です。操作パネルからの設定を有効にするには、【IP アドレスセットアップ】を【パネル】に設定してください。
• IP アドレスは、ネットワークシステム全体で管理されています。誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。割り当てる IP アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
• サブネットマスク
サブネットマスクを設定します。
【aaa.bbb.ccc.ddd】
aaa、bbb、ccc、ddd とも、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値を使用して設定します。
• ゲートウェイアドレス
ゲートウェイアドレスを設定します。
【aaa.bbb.ccc.ddd】
aaa、bbb、ccc、ddd とも、0 ～ 255 の間で設定します。
ただし、次の設定はできません。
224 ～ 255.xxx.xxx.xxx
127.xxx.xxx.xxx</td></tr>
</table>

メニュー項目	説明
IPX フレームタイプ	**IPX/SPX(NetWare) 環境で使用する場合の、フレームタイプを設定します。** 注記 このメニューは、オプションのネットワーク拡張カードを取り付けている場合だけ、表示されます。 • **ジドウ (初期値)** **フレームタイプを自動設定します。** • **802.3** **IEEE802.3 仕様のフレームタイプを使用します。** • **802.2** **IEEE802.3/802.2 仕様のフレームタイプを使用します。** • **SNAP** **IEEE802.3/802.2/SNAP 仕様のフレームタイプを使用します。** • **Ethernet- II** **Ethernet- II 仕様のフレームタイプを使用します。**
プロトコル	**次の項目について、プロトコルを使用する場合は【キドウ】に、使用しない場合は【テイシ】に設定します。** 補足 項目名の横に「*」が付いているものは、オプションのネットワーク拡張カードを取り付けている場合だけ、表示されます。 • **LPD (初期値：キドウ)** **TCP/IP 環境で、LPD を使用して印刷する場合は【キドウ】に、印刷しない場合は【テイシ】に設定します。** • **Port9100 (初期値：キドウ)** **TCP/IP 環境で、Port9100(Raw Data Socket) を使用して印刷する場合は【キドウ】に、印刷しない場合は【テイシ】に設定します。Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows 2000 で有効です。** • **IPP (初期値：キドウ)** **TCP/IP 環境で、IPP(Internet Printing Protocol) を使用して印刷する場合は【キドウ】に、印刷しない場合は【テイシ】に設定します。Windows Me、Windows 2000 で有効です。** • **SMB TCP/IP (初期値：キドウ)*** **トランスポートプロトコルにTCP/IPを使用した、SMB(Windowsネットワーク) 環境で印刷する場合は【キドウ】に、印刷しない場合は【テイシ】に設定します。** • **SMB NetBEUI (初期値：キドウ)*** **トランスポートプロトコルに NetBEUI を使用した、SMB(Windows ネットワーク) 環境で印刷する場合は【キドウ】に、印刷しない場合は【テイシ】に設定します。** • **NetWare (初期値：キドウ)*** **NetWare 環境で印刷する場合は【キドウ】に、印刷しない場合は【テイシ】に設定します。**

メニュー項目	説明
（前ページから）	• EtherTalk (初期値：キドウ)* AppleTalk(EtherTalk) 環境で印刷する場合は【キドウ】に、印刷しない場合は【テイシ】に設定します。 • FTP（初期値：テイシ） TCP/IP 環境で、FTP（File Transfer Protocol）を使用して印刷する場合は【キドウ】に、使用しない場合は【テイシ】に設定します。 • SNMP UDP/IP (初期値：キドウ) TCP/IP 環境で、SNMP エージェント機能を使用する場合は【キドウ】に、使用しない場合は【テイシ】に設定します。 • SNMP IPX (初期値：キドウ)* NetWare 環境で、SNMP エージェント機能を使用する場合は【キドウ】に、使用しない場合は【テイシ】に設定します。 • Status Messenger（初期値：テイシ） TCP/IP 環境で、SMTP/POP3 サーバーを経由した、メールによるプリンターの管理機能を使用する場合は【キドウ】に、使用しない場合は【テイシ】に設定します。 • E メールプリント（初期値：テイシ） TCP/IP 環境で、SMTP/POP3 サーバーを経由した、メールによる印刷をする場合は【キドウ】に、印刷しない場合は【テイシ】に設定します。 • InternetServices (初期値：キドウ) CentreWare Internet Services を使用する場合は【キドウ】に、使用しない場合は【テイシ】に設定します。
受信制限	受信制限について設定します。 【フィルタ X アドレス】(X は 1 ～ 5) に受信制限を設定する IP アドレスを、【フィルタ X マスク】(X は 1 ～ 5) にサブネットマスクを、0 ～ 255 の数値で入力します。また、【フィルタ X モード】(X は 1 ～ 5) には、設定したアドレスに対する制限を、【シナイ】(初期値)、【キョヒ】、【キョカ】から選択します。 最大 5 件が設定でき、フィルタ 1 の設定が最も優先されます。複数の制限を設定する場合は、範囲の狭いアドレスに対する制限から順に設定していきます。 参照 • 受信制限は、CentreWare Internet Services やネットワークユーティリティでも設定できます。設定例については、同梱されている CD-ROM 内の『ネットワークガイド』を参照してください。 • CentreWare Internet Services については、「9.5 コンピューター上でプリンターの状態を確認する」を参照してください。 • フィルタ 1 • フィルタ 2 • フィルタ 3 • フィルタ 4 • フィルタ 5

メニュー項目	説明
NV メモリー初期化	**ネットワークカード上の NV メモリーを初期化します。** **NV メモリーとは、電源を切っても設定内容を保持できる不揮発性のメモリーのことです。** 注記 印刷処理中は、この項目の実行はできません。 • **ハイ** **NV メモリーを初期化します。NV メモリーを初期化すると、【5 ネットワーク】メニューで設定した内容が初期値に戻ります。** 注記 このメニューで設定した値を有効にするには、プリンターの再起動が必要です。設定後、必ずプリンターの電源を切り、入れ直してください。 • **イイエ** **NV メモリーを初期化しないで、メニューに戻ります。**

6.3.6 PDF Bridge

PDF ダイレクトプリント機能に関する設定をします。PDF ダイレクトプリント機能とは、PDF ファイルをプリンタードライバーを介さないで、直接プリンターに送信して印刷する機能です。
弊社ユーティリティの「Contents Bridge」を使用しないで、PDF ファイルを印刷する場合は、ここでの設定が有効になります。または、「Contents Bridge」ユーティリティの [用紙種類] で [プリンタ設定] を選択すると、ここでの設定が有効となります。

メニュー項目	説明
両面	両面印刷について設定します。 • シナイ (初期値) 両面印刷を行いません。 • チョウヘントジ 用紙の長い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷を行います。 • タンペントジ 用紙の短い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷を行います。
部数	印刷する部数を 1 ～ 999 部の間で設定します。(初期値：1)
ソート	複数部数を、1 部ごとにソート (1,2,3...1,2,3...) して印刷するかどうかを設定します。 • オフ (初期値) • オン
パスワード	PDF ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを指定しておきます。パスワードは、最大 32 ケタの ASCII 文字で設定します。 印刷する PDF ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合だけ、印刷できます。 なお、パスワードの入力画面は、次のような階層になっています。入力する文字に応じて、階層を移動しながら設定してください。 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 《0》 ⇔ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 《A》 ⇔ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 《a》 ⇔ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 《 》 ⇔ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｹｯﾃｲ ㋝ ▲▼で数値を選択、㋝で確定 / ▲▼で英大文字を選択、㋝で確定 / ▲▼で英小文字を選択、㋝で確定 / ▲▼で記号を選択、㋝で確定 **■設定手順の流れ** ① パスワードの先頭文字に対応する階層に〈◀〉〈▶〉ボタンで移動します。 ② 〈▼〉〈▲〉ボタンで入力する文字を表示し、〈ｾｯﾄ/排出〉ボタンを押します。 選択した文字が下段に表示され、1文字確定されます。 1つ前の画面に戻るには、〈取り消し/ﾌﾟﾘﾝﾄ中止〉ボタンを押します。 ③ 手順①、②を繰り返し、すべてのパスワードを入力します。 ④ 〈▶〉ボタンで「ケッテイ」画面まで移動し、〈ｾｯﾄ/排出〉ボタンを押します。 入力したパスワードが「****************」と表示され、確定されます。

メニュー項目	説明
レイアウト	印刷するときのレイアウトを設定します。 • ジドウバイリツ (初期値) 印刷する用紙サイズに対して、もっとも拡大率が大きくなるように、自動的に倍率が設定されて印刷されます。PDF ファイルの原稿サイズに応じて、A3/A4/Letter サイズのいずれかを自動的に判別し、印刷されます。ただし、A3 サイズ /Letter サイズと判別される場合でも、該当サイズの用紙がセットされていなければ、A4 サイズに印刷されます。 • 100%(トウバイ) 印刷する用紙サイズにかかわらず、等倍で印刷されます。 • カタログ 印刷する PDF ファイルのページ構成に応じて、印刷結果がカタログのように、A4 または A3 サイズの用紙にページ割り付けされて両面印刷されます。ただし、ページ構成によっては、カタログ印刷ができない場合があります。その場合は、【ジドウバイリツ】で印刷されます。 【カタログ】を選択すると、【リョウメン】の設定は無効です。 • 2 アップ 1 枚の用紙に、2 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。2 アップを選択した場合、用紙サイズは、A4 固定になります。 • 4 アップ 1 枚の用紙に、4 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。4 アップを選択した場合、用紙サイズは、A4 固定になります。
用紙サイズ	出力する用紙サイズを設定します。 • A4(初期値) A4 サイズの用紙に印刷されます。 • ジドウ 印刷する PDF ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。
用紙種類	印刷する用紙の種類を設定します。 • フツウシ (初期値) • OHP フィルム • アツガミ • コートシ 補足 「Contents Bridge」ユーティリティの [用紙種類] で [プリンタ設定] を選択すると、ここでの設定が有効となります。
印刷モード	印刷モードを設定します。 • コウソク 速度を優先して印刷します。 • ヒョウジュン（初期値） 標準的な速度、画質で印刷します。 • コウガシツ 印刷速度は遅くなりますが、画質を優先して、よりきれいに印刷します。

メニュー項目	説明
カラーモード	白黒で印刷するか、カラーで印刷するかを指定します。 • カラー（ジドウ）（初期値） 原稿のページごとに自動的に判断し、白黒以外の色が使われている場合はカラーで、白黒だけが使われている場合は、白黒で印刷します。 • シロクロ 白黒で印刷します。

7章

困ったときには

7.1 どのような症状で困っていますか

プリンターの使用中にトラブルが発生し、どのように対処したらよいかわからないときには、まず次の症状の中に該当するものがないかどうかを探してください。
該当する項目があったら、対処方法を参照して処置してください。故障かな？と思ったトラブルも、自分で解決できる場合があります。

トラブル一覧

困ったときには

7

正しく用紙が送られない

その他

ネットワーク関連のトラブル

その他のトラブル

<該当する症状がない、または対処方法に従って処置しても解決できない場合は>

プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。

⚠警告

機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災や感電のおそれがあります。

⚠注意

機械の保守および故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

7.2 電源が入らない

症状	チェック項目	対処方法
電源が入らない	プリンターの電源が切れていませんか。	電源スイッチの [I] 側を押して電源を入れてください。 参照 「1.9.2 電源を入れる」
	電源コードが抜けている、またはゆるんでいませんか。	プリンターの電源を切り、電源コードを差し込み直してください。そのあとで、プリンターの電源を入れてください。
	正しい電圧（100V）のコンセントに接続していますか。	プリンターは、定格電圧 100V(ボルト) で、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で接続してください。 コンピューターの背面にあるコンセントには、接続できません。
たびたび電源が切れる	プリンターが故障している可能性があります。	プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。
	電源コードが抜けている、またはゆるんでいませんか。	プリンターの電源を切り、電源コードを差し込み直してください。そのあとで、プリンターの電源を入れてください。

7.3 印刷できない

7.3.1 ランプが点灯、点滅している、または消えている

症状	チェック項目	対処方法
エラーランプが点灯している	操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか。	操作パネルに表示されているエラーメッセージの内容を確認して、エラーの対処をしてください。 参照 「7.7 操作パネルにエラーメッセージが表示されたときには」
エラーランプが点滅している	お客様自身では対処できないエラーが発生しています。	表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留めたうえで、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。
オンラインランプが消えている	プリンターがオフライン状態になっていませんか。	操作パネルの<ｵﾝﾗｲﾝ>ボタンを押してオンライン状態に切り替えてください。 参照 「6.1.3 ボタン」
印刷を指示したのに、処理中ランプが点滅、点灯しない	パラレルケーブルや USB ケーブル、イーサネットケーブルが抜けている、またはゆるんでいませんか。	プリンターの電源を切り、パラレルケーブルや USB ケーブル、イーサネットケーブルを差し込み直してください。 参照 「1.8 ケーブルを接続する」
	ネットワーク拡張カード (オプション) が抜けている、またはゆるんでいませんか。	プリンターの電源を切り、ネットワーク拡張カードをプリンター本体に正しく取り付け直してください。 参照 「1.7.1 ネットワーク拡張カードを取り付ける」

症状	チェック項目	対処方法
(前ページから) 印刷を指示したのに、処理中ランプが点滅、点灯しない	パラレルケーブルや USB ケーブル、イーサネットケーブルは、コンピューターやプリンターの仕様に合っていますか。	本プリンターでは、接続するコンピューターに合わせたパラレルケーブルを用意しています。こちらを使用してください。 また、本プリンターでサポートしているイーサネットインターフェイスは、10BASE-T と 100BASE-TX です。ネットワークの接続形態に合ったツイストペアケーブルを使用してください。なお、100BASE-TX の場合は、カテゴリー 5 のケーブルが必要です。 参照 •「付録 A　オプション品と消耗品の紹介」 •「1.8 ケーブルを接続する」
	コンピューター側の環境は、正しく設定されていますか。	コンピューター側で次の設定を確認し、違っている場合は、設定し直してください。 • 使用しているコンピューターの OS に合った本プリンター用のプリンタードライバーを正しくインストールしていること • プリンタードライバーで印刷先のポートを正しく設定していること 参照 「第 3 章　プリンタードライバーのインストール」
	プリンターに適正な IP アドレスが設定されていますか (TCP/IP 環境使用時)。	ネットワーク管理者に確認し、正しい IP アドレスを設定してください。現在設定されている IP アドレスは、プリンター設定リストで確認できます。 参照 •「1.9.3　プリンター設定リストを印刷する」 •「2.1.3 IP アドレスを設定する」

症状	チェック項目	対処方法
(前ページから) 印刷を指示したのに、処理中ランプが点滅、点灯しない	プリンター側のネットワーク環境は正しく設定されていますか (ネットワーク使用時)。	プリンター設定リストを印刷し、ネットワーク環境が正しく設定されているかどうかを確認してください。 設定が違っている場合は、正しく設定してください。 参照 •「1.9.3 プリンター設定リストを印刷する」 •「2.1 使用環境を設定する」 •『ネットワークガイド』
	ネットワーク上に異常が発生した可能性があります (ネットワーク使用時)。	プリンターの電源が入っていることを確認してから、再度コンピューターから印刷を指示してください。 それでも、同様の症状が発生する場合は、ネットワーク管理者に相談してください。
	プリンターの電源が切れていませんか。	電源スイッチの [I] 側を押して電源を入れてください。 参照 「1.9.2 電源を入れる」
処理中ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	プリンター内にデータが残っている可能性があります。	印刷を中止するか、残っているデータを強制排出してください。 参照 •「4.5 印刷を中止する」 •「7.9 残ったデータを強制排出する(印刷が途中で止まった場合)」

7.3.2 Windows から印刷できない

症状	チェック項目	対処方法
印刷できない	プリンターウィンドウでプリンターの状態表示が「一時停止」になっていませんか。	印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷を停止した場合、プリンターの状態が「一時停止」になることがあります。「一時停止」になっているときは、次の手順で解除してください。 ①[スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。(Windows XP では、[スタート] メニューから、[プリンタと FAX] をクリックします。) ②本プリンターのプリンターアイコンをダブルクリックします。 ③プリンターウィンドウの [ファイル] メニューをクリックします。 ④[一時停止] の左にチェックが付いている場合は、[一時停止] をクリックします。
	プリンターの電源が切れていませんか。	電源スイッチの [I] 側を押して電源を入れてください。 参照 「1.9.2 電源を入れる」
	パラレルケーブルや USB ケーブル、イーサネットケーブルが抜けている、またはゆるんでいませんか。	プリンターの電源を切り、パラレルケーブルや USB ケーブル、イーサネットケーブルを差し込み直してください。 参照 「1.8 ケーブルを接続する」
	ネットワーク拡張カード (オプション) が抜けている、またはゆるんでいませんか。	プリンターの電源を切り、ネットワーク拡張カードをプリンター本体に正しく取り付け直してください。 参照 「1.7.1 ネットワーク拡張カードを取り付ける」
	-	使用しているハブの種類によっては、コンピューターからプリンターへの転送速度が著しく遅くなる場合があります。しばらくお待ちください。

困ったときには
7

症状	チェック項目	対処方法
TCP/IP プロトコル使用時に印刷できない	IP アドレスは正しく設定されていますか (TCP/IP プロトコル使用時)。	IP アドレスが変更されている可能性もあります。ネットワーク管理者に確認し、正しく設定してください。 現在プリンターに設定されている IP アドレスは、プリンター設定リストで確認できます。 参照 •「1.9.3　プリンター設定リストを印刷する」 •「2.1.3 IP アドレスを設定する」
	受信制限が設定されていませんか。	受信制限が設定されていないかどうかを、ネットワーク管理者に確認してください。
TCP/IP Direct Print Utilityを使用していて印刷できない	プリンターアイコンの [プロパティ] ダイアログボックスで、[詳細] タブのスプール設定が [プリンタに直接印刷データを送る] になっていませんか (Windows® 95 で使用時)。	[詳細] タブの [スプールの設定] をクリックし、表示されるダイアログボックスで [印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う] を選択してください。
	プリンターウィンドウでプリンターの状態表示が「印刷不可能」になっていませんか。	TCP/IP Direct Print Utility を使用していて印刷できない場合は、『ネットワークガイド』を参照して、対処してください。 参照 『ネットワークガイド　TCP/IP 環境でのトラブル』
SMB 環境で印刷できない (ネットワーク拡張カード取り付け時)	コンピューターに、「サーバ上にファイルを格納する領域がありません」のメッセージが表示されていませんか。	複数のコンピューターから同時に印刷要求があった、またはほかのプロトコルで印刷中に印刷を指示した場合、このようなメッセージが表示されることがあります。 印刷前に、印刷先のプリンターウィンドウを表示し、印刷中のデータがないことを確認してから、印刷を指示してください。

症状	チェック項目	対処方法
（前ページから） SMB環境で印刷できない（ネットワーク拡張カード取り付け時）	コンピューターに、「書き込みエラー」が表示されていませんか。	Windows ネットワークに同時に接続できる数の制限を超えている場合に、このようなメッセージが表示されることがあります。 印刷前に、印刷先のプリンターウィンドウを表示し、印刷中のデータがないことを確認してから、印刷を指示してください。
NetWare環境で印刷できない（ネットワーク拡張カード取り付け時）	ハブなどのネットワーク構成機器がフレームタイプの自動設定に適合していますか。	プリンターが接続されているネットワーク構成機器のポートのデータリンクランプが点灯しているかどうかを確認してください。 点灯していない場合は、操作パネルを使用して、フレームタイプをNetWareファイルサーバーの設定と同じ値にしてください。 参照 「6.3 メニュー画面項目一覧」
	NetWareファイルサーバーやプリントサーバー（リモートプリンターモードで使用時）は、起動していますか。	NetWare ファイルサーバーやプリントサーバー（リモートプリンターモードで使用時）を起動してください。
	NetWareファイルサーバー上で、NetWare環境が正しく設定されていますか。	ネットワークユーティリティを使用して、環境が正しく設定されているかどうかを確認してください。 参照 •『ネットワークガイド　Fuji Xerox ネットワークユーティリティでの設定』 •『ネットワークガイド　NetWare環境でのトラブル』
コンピューター側にエラーメッセージが表示されている	プリンターに何らかのエラーが発生している可能性があります。	メッセージの内容を確認して、エラーの対処をしてください。

7.3.3 Macintosh から印刷できない （ネットワーク拡張カード取り付け時）

症状	チェック項目	対処方法
[セレクタ] ウィンドウに使用するプリンターが表示されない	プリンターの電源が切れていませんか。	電源スイッチの [I] 側を押して電源を入れてください。 参照 「1.9.2 電源を入れる」
	USB ケーブルやイーサネットケーブルが抜けている、またはゆるんでいませんか。	プリンターの電源を切り、USB ケーブルや、イーサネットケーブルを差し込み直してください。 参照 「1.8 ケーブルを接続する」
	ネットワーク拡張カード (オプション品) が抜けている、またはゆるんでいませんか。	プリンターの電源を切り、ネットワーク拡張カードをプリンター本体に正しく取り付け直してください。 参照 「1.7.1 ネットワーク拡張カードを取り付ける」
	QuickDraw GX を使用していませんか。	本プリンターは、QuickDraw GX に対応していません。QuickDraw GX は使用しないでください。
	ゾーン名やプリンター名は、正しく設定していますか。	プリンター名やゾーン名が変更されている可能性もあります。ネットワーク管理者に確認し、正しく設定してください。 現在プリンターに設定されている情報は、プリンター設定リストで確認できます。 参照 「1.9.3 プリンター設定リストを印刷する」
コンピューター側にエラーメッセージが表示されている	EtherTalk 環境で接続している場合、OSのバージョンはMac OS 8.1～9.2.2ですか。 USB ケーブルで接続している場合、OS のバージョンは Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 ですか。	正しいバージョンがインストールされているコンピューターから印刷してください。
	プリンターが故障している可能性があります。	メッセージの内容を確認して、エラーの対処をしてください。

7.4 印字品質が悪い

7.4.1 白紙、または全体が黒く出力される

症状	チェック項目	対処方法
何も印刷されない	**一度に複数枚の用紙が搬送されていませんか。**	**用紙をいったん取り出し、よくさばいてください。そのあと、用紙をセットしてください。**
	ドラムカートリッジが、劣化または損傷していませんか。	**新しいドラムカートリッジに交換してください。** 参照 「9.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
	トナーカートリッジは、正しくセットされていますか。	**トナーカートリッジを正しくセットしてください。** 参照 「9.1.2 トナーカートリッジを交換する」
	高圧電源の故障の可能性があります。	**お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。**
用紙全体が黒く印刷される	**ドラムカートリッジが、劣化または損傷していませんか。**	**新しいドラムカートリッジに交換してください。** 参照 「9.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
	高圧電源の故障の可能性があります。	**お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。**

7.4.2 印字が薄い、汚れ、白抜け、シワ、にじみ

症状	チェック項目	対処方法
印刷が薄い(かすれる) Printer	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 参照 「5.1 使用できる用紙と使用できない用紙」
	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 参照 「5.2 用紙をセットする」
	ドラムカートリッジが、劣化または損傷していませんか。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照 「9.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
	トナーカートリッジの交換時期ではないですか。	新しいトナーカートリッジに交換してください。 参照 「9.1.2 トナーカートリッジを交換する」
	プリンタードライバーでトナーセーブ機能を設定していませんか。	プリンタードライバーの[グラフィックス]タブ(Windowsの場合)や[一般設定]ダイアログボックス(Macintoshの場合)を確認して、トナーセーブの設定を変更してください。 参照 『オンラインヘルプ』
汚れの点が印刷される Printer	適切な用紙を使用していますか。一度印刷した用紙や、インクジェット専用紙を使用していませんか。	使用できる用紙をセットしてください。 参照 「5.1 使用できる用紙と使用できない用紙」
	ドラムカートリッジが、劣化または損傷していませんか。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照 「9.2.2 ドラムカートリッジを交換する」

症状	チェック項目	対処方法
黒線が印刷される Printer	**ドラムカートリッジが、劣化または損傷していませんか。**	**新しいドラムカートリッジに交換してください。** 参照 「9.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
等間隔に汚れが起きる Printer	**用紙の搬送路に汚れが付着している可能性があります。**	**汚れを取るために数枚印刷してください。**
	ドラムカートリッジが、劣化または損傷していませんか。	**新しいドラムカートリッジに交換してください。** 参照 「9.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
黒のハーフトーンの中や外にヒゲのようなものが印刷される	**開封したまま長時間放置した用紙を使用していませんか(特に湿度が低い場合)。**	**新しい用紙と交換してください。** 参照 「5.2 用紙をセットする」
黒く塗りつぶされた部分の周りに影のようなものが印刷される	**開封したまま長時間放置した用紙を使用していませんか(特に湿度が低い場合)。**	**新しい用紙と交換してください。** 参照 「5.2 用紙をセットする」

症状	チェック項目	対処方法
黒く塗りつぶされた部分に白点が現れる	**適切な用紙を使用していますか。 折りめやシワが入った用紙を使用していませんか。**	**使用できる用紙をセットしてください。** 参照 「5.1 使用できる用紙と使用できない用紙」
	ドラムカートリッジが、劣化または損傷していませんか。	**新しいドラムカートリッジに交換してください。** 参照 「9.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
部分的に白抜けする	**用紙が湿気を含んでいませんか。**	**新しい用紙と交換してください。** 参照 「5.2 用紙をセットする」
	適切な用紙を使用していますか。	**使用できる用紙をセットしてください。** 参照 「5.1 使用できる用紙と使用できない用紙」
縦長に白抜けする	**ドラムカートリッジは、正しくセットされていますか。**	**ドラムカートリッジを正しくセットしてください。** 参照 「9.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
	ドラムカートリッジが、劣化または損傷していませんか。	**新しいドラムカートリッジに交換してください。** 参照 「9.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
用紙にシワがつく	**用紙が湿気を含んでいませんか。**	**新しい用紙と交換してください。** 参照 「5.2 用紙をセットする」
	適切な用紙を使用していますか。 反っている用紙を使用していませんか。	**使用できる用紙をセットしてください。** 参照 「5.1 使用できる用紙と使用できない用紙」
	用紙トレイが外れていませんか。	**用紙トレイを、プリンターの奥までしっかり押し込んでください。**

症状	チェック項目	対処方法
（前ページから） 用紙にシワがつく	プリンターの内部に用紙の破片や異物が入っていませんか。	プリンターの電源を切り、プリンター内部の異物を取り除いてください。 プリンターを分解しないと取り除けない場合は、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。
	スペーサー（D）を取り外し忘れていませんか。	スペーサー（D）を取り外してください。 参照 「1.1 各部のテープとスペーサーを取り外す」
文字がにじむ	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 参照 「5.2 用紙をセットする」
	用紙トレイの用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか。	使用できる用紙をセットしてください。 参照 「5.1 使用できる用紙と使用できない用紙」
斜めに印刷される 思った位置に印刷されない	適切な用紙を使用していますか。	用紙トレイの縦の用紙ガイドと横の用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 「5.2 用紙をセットする」
	手差しトレイの用紙ガイドは、使用する用紙サイズの目盛りに合っていますか。	手差しトレイの用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 「5.2.3 手差しトレイに用紙をセットする」
	手差しトレイに特 A3 サイズ以外をセットしている場合、特 A3 用ガイドを起こしていますか。	特 A3 サイズ以外の用紙を手差しトレイにセットするときは、特 A3 用ガイドを起こしてください。 参照 「5.2.3 手差しトレイに用紙をセットする」

7.4.3 きれいに印刷されない

症状	チェック項目	対処方法
OHP フィルムにきれいに印刷されない	適切な OHP フィルムを使用していますか。	本プリンターで使用できる OHP フィルムは、次のとおりです。 • OHP フィルム (XEROX FILM <枠なし> 商品コード :V516 フルカラー用の OHP フィルムは使用できません。
	手差しトレイに正しくセットしていますか。	OHP フィルムを、手差しトレイに正しくセットしてください。 参照 「4.7.1 OHP フィルムに印刷する」
	プリンタードライバーで、用紙の種類を [OHP フィルム] に設定していますか。	プリンタードライバーの [用紙 / 出力] タブ (Windows の場合) や [用紙設定] ダイアログボックス (Macintosh の場合) で、用紙の種類を [OHP フィルム] に設定してください。 参照 「4.7.1 OHP フィルムに印刷する」
はがきにきれいに印刷されない	適切なはがきを使用していますか。	使用できるはがきをセットしてください。 参照 「5.1 使用できる用紙と使用できない用紙」
	手差しトレイにセットするときに、特 A3 用ガイドを起こしていますか。	はがきを手差しトレイにセットするときは、特 A3 用ガイドを起こしてください。 参照 「4.7.2 はがきに印刷する」
	官製はがきの場合、プリンタードライバーで、用紙の種類を [はがき] に設定していますか。	プリンタードライバーの [用紙 / 出力] タブ (Windows の場合) や [用紙設定] ダイアログボックス (Macintosh の場合) で、用紙の種類を [はがき] に設定してください。 参照 「4.7.2 はがきに印刷する」

症状	チェック項目	対処方法
封筒にきれいに印刷されない	適切なサイズの封筒を使用していますか。	本プリンターで使用できる封筒のサイズは、洋形 2、3、4 号と洋長形 3 号です。使用できる封筒をセットしてください。 参照 「5.1 使用できる用紙と使用できない用紙」
	手差しトレイにセットするときに、特 A3 用ガイドを起こしていますか。	封筒を手差しトレイにセットするときは、特 A3 用ガイドを起こしてください。 参照 「4.7.3 封筒に印刷する」
	プリンタードライバーで、用紙の種類を [封筒] に設定していますか。	プリンタードライバーの [用紙 / 出力] タブ (Windows の場合) や [用紙設定] ダイアログボックス (Macintosh の場合) で、用紙の種類を [封筒] に設定してください。 参照 「4.7.3 封筒に印刷する」
きれいに印刷されない	プリンタードライバーで、トナーセーブ機能や、解像度を低く設定していませんか。	プリンタードライバーの [グラフィックス] タブ (Windows の場合) や [一般設定] ダイアログボックス (Macintosh の場合) で、設定を変更してください。 参照 『オンラインヘルプ』

7.5 用紙が正しく送られない

症状	チェック項目	対処方法
用紙が送られない 紙づまりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる	用紙を正しくセットしていますか。 特殊紙は、手差しトレイに正しくセットしていますか。	用紙を正しくセットしてください。 また、OHP フィルムやラベル紙、封筒などをセットする場合は、用紙の間に空気を入れるように、よく紙をさばいてください。 参照 「5.2 用紙をセットする」
	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 参照 「5.2 用紙をセットする」
	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 参照 「5.1 使用できる用紙と使用できない用紙」
	用紙トレイ内の梱包材やシールを取り外し忘れていませんか。 特にスペーサー（E）を取り外し忘れていませんか。	プリンターの電源を切り、プリンター内部を確認してください。 参照 「1.1 各部のテープとスペーサーを取り外す」
	用紙トレイが外れていませんか。	用紙トレイをプリンターの奥までしっかり押し込んでください。
	用紙が詰まっていませんか。	詰まった用紙を取り除いてください。 ローラーなどに付着した接着テープや、のりが原因になっていることもあります。プリンター内部をよく点検し、完全に取り除いてください。 参照 「第 8 章　用紙が詰まったときには」
	プリンターは、水平な場所に設置していますか。	プリンターを安定した平面の上に移動してください。 参照 「9.8.3 プリンターの設置場所についての注意」

症状	チェック項目	対処方法
(前ページから) 用紙が送られない 紙づまりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる	プリンタードライバーで、給紙方法を正しく設定していますか。	プリンタードライバーで、給紙方法の設定を確認してください。また、トレイモジュール(オプション)を取り付けている場合は、プリンターの構成を変更しないと、トレイ2や3から給紙されません。設定を変更してください。 参照 『オンラインヘルプ』
	用紙トレイの用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか。	用紙トレイの縦の用紙ガイドと横の用紙ガイドを、正しい位置にセットしてください。 参照 「5.2 用紙をセットする」
	手差しトレイに特A3サイズ以外をセットしている場合、特A3用ガイドを起こしていますか。	特A3サイズ以外の用紙を手差しトレイにセットするときは、特A3用ガイドを起こしてください。 参照 「5.2.3 手差しトレイに用紙をセットする」
	プリンタードライバーで、用紙の種類や用紙サイズを正しく設定していますか。	プリンタードライバーで、用紙の種類や用紙サイズの設定を確認してください。たとえば、OHPフィルムではないのに、用紙の種類をOHPフィルムに設定していると、操作パネルにエラーメッセージが表示され、用紙が正しく送られません。また、用紙サイズの設定が実際の用紙よりも小さい場合、紙づまりが起こることがあります。

7.6 その他

7.6.1 ネットワーク関連のトラブル

症状	チェック項目	対処方法
IP アドレスが、プリンターの電源を入れるたびに変わってしまう	プリンターの IP アドレスを DHCP サーバーから取得するように設定されていませんか。	固定の IP アドレスを割り当てる場合は、操作パネルを使用して【5 ネットワーク】の【IP アドレスセットアップ】を【パネル】に設定し、割り当てる IP アドレスを【IP アドレス】で入力してください。 参照 • 「6.3 メニュー画面項目一覧」 • 「2.1.3 IP アドレスを設定する」
CentreWare Internet Services に接続できない	プリンターの電源が切れていませんか。	電源スイッチの［Ｉ］側を押して電源を入れてください。 参照 「1.9.2 電源を入れる」
	イーサネットケーブルが抜けている、またはゆるんでいませんか。	プリンターの電源を切り、イーサネットケーブルを差し込み直してください。 参照 「1.8.2 イーサネットケーブルを接続する」
	ネットワーク拡張カード (オプション) が抜けている、またはゆるんでいませんか。	プリンターの電源を切り、ネットワーク拡張カードをプリンター本体に正しく取り付け直してください。 参照 「1.7.1 ネットワーク拡張カードを取り付ける」
	インターネットアドレスは、正しく入力されていますか。	インターネットアドレスをもう一度確認してください。それでも接続できない場合は、IP アドレスを使用して接続してください。

症状	チェック項目	対処方法
（前ページから） CentreWare Internet Services に接続できない	IP アドレスは正しく入力されていますか。	IP アドレスが変更されている可能性もあります。ネットワーク管理者に確認し、正しく設定してください。 現在プリンターに設定されている IP アドレスは、プリンター設定リストで確認できます。 参照 •「1.9.3　プリンター設定リストを印刷する」 •「2.1.3 IP アドレスを設定する」
	プロキシサーバーを使用していますか。	プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。 WWW ブラウザーの設定で、プロキシサーバーを使用しないように設定するか、接続したいアドレスをプロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。 参照 『ネットワークガイド　WWW ブラウザーの設定』
	ポート番号を正しく指定していますか。	工場出荷時のポート番号は、[80] です。正しいポート番号を指定してください。
CentreWare Internet Services が正しく動作しない	−	CentreWare Internet Servicesが正しく動作しない場合は、『ネットワークガイド』を参照して対処してください。 参照 『ネットワークガイド　CentreWare Internet Services 使用時のトラブル』
CentreWare Internet Services で［更新］ボタンを選択すると、「ページが見つかりません」というメッセージが表示される	各項目の値は正しいですか。	画面上のテキストボックスに無効な値を入力した状態で、［更新］ボタンを選択しています。 正しい値を入力してください。

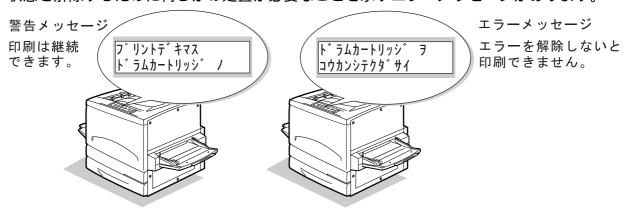
症状	チェック項目	対処方法
電子メールで状態を確認できない /E メールプリントができない	SMTP/POP3 の Status Messenger または E メールプリントは、起動していますか。	操作パネル、またはCentreWare Internet Services を使って、【Status Messenger】または【E メールプリント】プロトコルを起動してください。
	POP/SMTP サーバーの IP アドレスが、正しく入力されていますか。	CentreWare Internet Servicesで正しい値を入力してください。 参照 『ネットワークガイド メールを使用する』
	POP ユーザー名およびパスワードが正しく入力されていますか。	CentreWare Internet Servicesで正しい値を入力してください。 参照 『ネットワークガイド メールを使用する』
	APOP 設定は正しいですか。	POP サーバーが APOP に対応しているかどうか、ネットワーク管理者に確認し、CentreWare Internet Servicesで正しく設定してください。
	受信許可メールアドレスを設定していませんか。	自分のメールアドレスが受信許可メールアドレスに含まれているかどうかを確認してください。 参照 『ネットワークガイド メールを使用する』
	メールに記述したコマンドは正しいですか。	正しいコマンドを入力してください。
	#Password コマンドを先頭に記述していますか。	パスワードが設定されている場合は、#Password コマンドは、メールの本文の先頭に記述する必要があります。 ただし、E メールプリントの場合は、メールの件名に #Print コマンドに続けてパスワードを記述できます。
	読み取り / フルアクセス / プリント用パスワードは正しいですか。	正しいパスワードを入力してください。
	POP/SMTP サーバーは正常に作動していますか。	ネットワーク管理者に確認してください。
E メールプリントで本文、添付のテキストファイルが印刷されない	操作パネルの【1 システムセッテイ】の【テキストインサツ】で【スル】に設定していますか。	操作パネルで正しく設定してください。 参照 「4.10 E メールプリントをする」

症状	チェック項目	対処方法
E メールプリントで添付のPDFファイルが印刷されない	添付ファイルのContent-Typeがtext/xxx、Message/xxx 以外になっていますか。	お使いのメールソフトで、使用する PDF ファイルのタイプを text/xxx、Message/xxx 以外（application/pdf）に指定してください。Content-Type は、送信したメールのソースを表示すると、表示されます。 詳細は、お使いのメールソフトの説明書を参照してください。
電子メールでエラーが通知されない	SMTP/POP3 の Status Messenger は、起動していますか。	操作パネル、またはCentreWare Internet Services を使って、【Status Messenger】プロトコルを起動してください。
	POP/SMTP サーバーの IP アドレスが、正しく入力されていますか。	CentreWare Internet Servicesで正しい値を入力してください。 参照 『ネットワークガイド メールを使用する』
	POP アカウントおよびパスワードが正しく入力されていますか。	CentreWare Internet Servicesで正しい値を入力してください。 参照 『ネットワークガイド メールを使用する』
	APOP 設定は正しいですか。	POP サーバーが APOP に対応しているかどうか、ネットワーク管理者に確認し、CentreWare Internet Servicesで正しく設定してください。
	送信する通知項目が正しく設定されていますか。	CentreWare Internet Services で、メールで通知したい項目をチェックしてください。 参照 『ネットワークガイド メールを使用する』
	送信先メールアドレスが正しく入力されていますか。	CentreWare Internet Services で、正しい送信先を指定してください。 参照 『ネットワークガイド メールを使用する』
	POP/SMTP サーバーは正常に作動していますか。	ネットワーク管理者に確認してください。

7.6.2　その他のトラブル

症状	チェック項目	対処方法
カラーで印刷されない	プリンタードライバーで、カラーモードを［白黒］に設定していませんか。	プリンタードライバーの［グラフィックス］タブ（Windows の場合）や［一般設定］ダイアログボックス（Macintosh の場合）で、設定を変更してください。 参照 『オンラインヘルプ』
指定した用紙トレイから給紙されない	使用しているアプリケーション側の設定が、プリンタードライバーの設定よりも優先された可能性があります。	アプリケーション側の給紙トレイの設定を、プリンタードライバーの設定と合わせてください。
印刷速度が遅い	白黒印刷なのに遅いという場合は、プリンタードライバーで、カラーモードを［カラー］に設定していませんか。	プリンタードライバーの［グラフィックス］タブ（Windows の場合）や［一般設定］ダイアログボックス（Macintosh の場合）で、設定を変更してください。 参照 『オンラインヘルプ』
	節電モード移行時間が短くありませんか。	節電モード状態中に印刷を指示すると、印刷を開始するまでの時間がかかります。操作パネルを使用して、節電モードに移行する時間を長く設定してください。 参照 「6.3 メニュー画面項目一覧」
異常な音がする	プリンターは、水平な場所に設置していますか。	プリンターを安定した平面の上に移動してください。 参照 「9.8.3 プリンターの設置場所についての注意」
	用紙トレイが外れていませんか。	用紙トレイをプリンターの奥までしっかり押し込んでください。
	プリンターの内部に用紙の破片や異物が入っていませんか。	プリンターの電源を切り、プリンター内部の異物を取り除いてください。プリンターを分解しないと取り除けない場合は、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。
節電モード2に移行しない	操作パネルで節電モード2への移行を【ムコウ】に設定していませんか。	操作パネルを使用して、節電モード2への移行を【ユウコウ】に設定してください。

7.7 操作パネルにエラーメッセージが表示されたときには

操作パネルのディスプレイに表示されるエラーメッセージの意味と、メッセージが表示されたときの対処方法を説明します。
エラーメッセージには、印刷はできるが注意が必要なことを示す警告メッセージと、エラー状態を解除するために何らかの処置が必要なことを示すエラーメッセージがあります。

エラーメッセージが表示された場合は、次の中から該当するメッセージを探し、適切な処置をしてください。
次のメッセージは、五十音順になっています。

補足

- エラーメッセージの文字数が、ディスプレイの表示桁範囲を超えた場合は、画面が 3 秒間隔で切り替わって表示されます。
- 表中の図は、トレイモジュール (2 段) と両面印刷モジュールを取り付けている場合です。

メッセージ	意味と対処方法
- ﾃﾞﾝｹﾞﾝｦ ｵﾌ - ｵﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	プリンターが正常に作動できません。 【対処】 プリンターの電源を切り、入れ直してください。それでも同様のメッセージが表示される場合は、表示内容を書き留めたうえで電源を切り、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。
LZW ﾊ ﾀｲｵｳｼﾃｲﾏｾﾝ [ｾｯﾄ] ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	PDF ファイルに LZW 圧縮を使用したオブジェクトが含まれています。コンテンツブリッジ拡張キット（オプション）が装着されていない場合は、印刷できません。 【対処】 <ｾｯﾄ / 排出> ボタンを押して、印刷を取り消してください。
PDF ｲﾝｻﾂｷﾝｼﾃﾞｽ [ｾｯﾄ] ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	印刷が許可されていない PDF ファイルは、印刷できません。 【対処】 <ｾｯﾄ / 排出> ボタンを押して、印刷を取り消してください。
PDF ｴﾗｰﾃﾞｽ [ｾｯﾄ] ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	PDF ファイルをダイレクトプリント機能を使用して印刷しているときに、エラーが発生しました。 【対処】 <ｾｯﾄ / 排出> ボタンを押して、印刷を取り消してください。
PDF ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞｴﾗｰﾃﾞｽ [ｾｯﾄ] ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	PDF ファイルのパスワードとプリンターに設定されているパスワードが一致しません。 【対処】 <ｾｯﾄ / 排出> ボタンを押して、印刷を取り消します。操作パネルで正しいパスワードを設定し直してから、印刷し直してください。 参照 「6.3.6 PDF Bridge」

「***」は、英数字を表します。

メッセージ	意味と対処方法
ｲｴﾛｰﾄﾅｰ (Y) ｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**トナーカートリッジ（イエロー）の交換時期です。** **【対処】　トナーカートリッジ（イエロー）を交換してください。** 参照 「9.1.2 トナーカートリッジを交換する」
ｲｴﾛｰﾄﾅｰ (Y) ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**トナーカートリッジ（イエロー）がセットされていない、または正しくセットされていません。** **【対処】　トナーカートリッジ（イエロー）をプリンターの奥に突き当たるまでしっかり差し込んでください。** 参照 「9.1.2 トナーカートリッジを交換する」
ｶﾊﾞｰ A ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	**カバー A が開いています。** **【対処】　カバー A を正しく閉じてください。**
ｶﾊﾞｰ D ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	**カバー D が開いています。** **【対処】　カバー D を正しく閉じてください。**
ｶﾊﾞｰ E ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	**トレイモジュール右のカバー E が開いています。** **【対処】　トレイモジュール右のカバー E を正しく閉じてください。**

メッセージ	意味と対処方法
ｶﾊﾞｰFｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	**カバー F が開いています。** **【対処】　カバー F を正しく閉じてください。** カバー F
ｶﾊﾞｰFﾄDｦ ｱｹﾃ ﾖｳｼｦﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	**両面印刷時に、プリンター内で用紙が詰まりました。** **【対処】　カバー F とカバー D を開けて、それぞれ用紙が詰まっていないかどうかを確認してください。** 参照 「8.1 用紙が詰まったときには」
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ｶﾊﾞｰAｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	**プリンター内の左側面付近で用紙が詰まりました。** **【対処】　カバー A を開けて、詰まっている用紙を取り除いてください。** 参照 「8.1.4 カバー A での紙づまり」
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ｶﾊﾞｰD、 ｶﾊﾞｰE、ﾕﾆｯﾄCｦ ｱｹﾙ	**トレイ 2、またはトレイ 3 から給紙しているときに、プリンター内で用紙が詰まりました。** **【対処】　ユニット C とカバー D、トレイモジュール右のカバー E を開けて、詰まっている用紙を取り除いてください。** **また、用紙トレイで用紙が詰まっていないかどうかも確認してください。** 参照 「8.1 用紙が詰まったときには」
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ｶﾊﾞｰDﾄ ｶﾊﾞｰEｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	**トレイ 2、またはトレイ 3 から給紙しているときに、プリンター内の右側面付近で用紙が詰まりました。** **【対処】　カバー D およびトレイモジュール右のカバー E を開けて、詰まっている用紙を取り除いてください。** **また、用紙トレイで用紙が詰まっていないかどうかも確認してください。** 参照 「8.1 用紙が詰まったときには」
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ﾕﾆｯﾄBﾄ ｶﾊﾞｰFｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	**両面印刷時に、プリンター内で用紙が詰まりました。** **【対処】　ユニット B とカバー F を開けて、詰まっている用紙を取り除いてください。** 参照 「8.1.5 カバー F での紙づまり」

メッセージ	意味と対処方法
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ﾕﾆｯﾄ B ｦ ﾋｷﾀﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**プリンター内の左側面付近で用紙が詰まりました。** **【対処】　ユニット B を引き出し、詰まっている用紙を取り除いてください。** 参照 「8.1.3 ユニット B での紙づまり」
ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ ﾕﾆｯﾄ C ｦ ﾋｷﾀﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**トレイ 1、または手差しトレイから給紙しているときに、プリンター内のユニット C 付近で用紙が詰まりました。** **【対処】　ユニット C を引き出し、詰まっている用紙を取り除いてください。また、手差しトレイや用紙トレイで用紙が詰まっていないかどうかも確認してください。** 参照 「8.1 用紙が詰まったときには」
ｺﾉ ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞﾊ ﾂｶｴﾏｾﾝ ID ｴﾗｰ	**ドラムカートリッジが不良です。** **【対処】　ドラムカートリッジを交換してください。** 参照 「9.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
ｺﾉ ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞﾊ ﾂｶｴﾏｾﾝ ﾗｲﾄｴﾗｰ	**ドラムカートリッジが不良です。** **【対処】　ドラムカートリッジを交換してください。** 参照 「9.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
ｼｱﾝﾄﾅｰ (C) ｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**トナーカートリッジ（シアン）の交換時期です。** **【対処】　トナーカートリッジ（シアン）を交換してください。** 参照 「9.1.2 トナーカートリッジを交換する」
ｼｱﾝﾄﾅｰ (C) ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**トナーカートリッジ（シアン）がセットされていない、または正しくセットされていません。** **【対処】　トナーカートリッジ（シアン）をプリンターの奥に突き当たるまでしっかり差し込んでください。** 参照 「9.1.2 トナーカートリッジを交換する」
ｽﾍﾞﾃﾉ ﾄﾚｲﾆ ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	**トレイ 1 からトレイ N までのすべてのトレイに、用紙がありません。** **【対処】　各トレイに用紙を補給してください。** 参照 「5.2 用紙をセットする」
ｾﾝﾀｰﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	**センタートレイの容量が、いっぱいになりました。** **【対処】　センタートレイ上の用紙を取り除いてください。**

メッセージ	意味と対処方法
ﾃﾞｨｽｸﾌﾙﾃﾞｽ [ｾｯﾄ] ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	電子ソート処理中に、ハードディスクの容量がいっぱいになって書き込めなくなりました。 【対処】 <ｾｯﾄ / 排出>ボタンを押してください。 なお、印刷ジョブは取り消されます。次のような方法で印刷し直してみてください。 • ページ数を分割し、少なく設定して印刷する • プリンタードライバーで、ハードディスクの設定をオフにして印刷する 参照 「4.6 オプション品の構成を変更する」
ﾃｻﾞｼﾄﾚｲﾆ xxxx ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	手差しトレイに xxxx の用紙がセットされていないか、コンピューター側で指定した用紙と異なるサイズの用紙がセットされています。 【対処】 手差しトレイに xxxx の用紙をセットしてください。また、コンピューター側の指定を間違えた場合は、印刷を中止します。コンピューター側で正しく指定してから、印刷し直してください。 参照 「5.2.3 手差しトレイに用紙をセットする」 「4.5 印刷を中止する」
ﾃｻﾞｼﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｦ ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	手差しトレイに用紙が正しくセットされていないか、コンピューター側で指定した用紙と異なるサイズの用紙がセットされています。 【対処】 手差しトレイの用紙を正しくセットしてください。また、コンピューター側の指定を間違えた場合は、印刷を中止します。 コンピューター側で次の項目を確認し、正しく指定してから、印刷し直してください。 • 給紙トレイの設定は正しいですか。 • 出力サイズの設定は正しいですか。 参照 「5.2.3 手差しトレイに用紙をセットする」 「4.5 印刷を中止する」
ﾄﾅｰｶｲｼｭｳｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	トナー回収カートリッジの交換時期です。 【対処】 トナー回収カートリッジを交換してください。 参照 「9.3.2 トナー回収カートリッジを交換する」
ﾄﾅｰｶｲｼｭｳｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	トナー回収カートリッジがセットされていない、または正しくセットされていません。 【対処】 トナー回収カートリッジを、プリンターの奥までしっかり押し込んでください。 参照 「9.3.2 トナー回収カートリッジを交換する」

「xxxx」は、用紙サイズ、または用紙サイズと向きを表します。

メッセージ	意味と対処方法
ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**ドラムカートリッジの交換時期です。** **【対処】　ドラムカートリッジを交換してください。** 参照 「9.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**ドラムカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていません。** **【対処】　ドラムカートリッジを、プリンターの奥までしっかり押し込んでください。** 参照 「9.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
ﾄﾚｲ 1 ﾆ ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	**トレイ 1 に用紙がありません。** **【対処】　トレイ 1 に用紙を補給してください。** 参照 「5.2.1 用紙トレイ 1 に用紙をセットする」
ﾄﾚｲ N ﾆ xxxx ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**トレイ N に xxxx の用紙がセットされていないか、コンピューター側で指定した用紙と異なるサイズの用紙が、セットされています。** **【対処】　トレイ N に xxxx の用紙をセットしてください。また、コンピューター側の指定を間違えた場合は、印刷を中止します。** **コンピューター側で次の項目を確認し、正しく指定してから、印刷し直してください。** **• 給紙トレイの設定は正しいですか** **• 出力サイズの設定は正しいですか** 参照 「5.2.1 用紙トレイ 1 に用紙をセットする」 「4.5 印刷を中止する」
ﾄﾚｲ N ﾉ ﾖｳｼｦ ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**トレイ N に用紙が正しくセットされていないか、コンピューター側で指定した用紙と異なるサイズの用紙がセットされています。** **【対処】　トレイ N を引き出し、用紙が正しくセットされているかどうかを確認してください。また、コンピューター側の指定を間違えた場合は、印刷を中止します。** **コンピューター側で次の項目を確認し、正しく指定してから、印刷し直してください。** **• 給紙トレイの設定は正しいですか。** **• 出力サイズの設定は正しいですか。** 参照 「5.2 用紙をセットする」 「4.5 印刷を中止する」
ﾄﾚｲ N ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**トレイ N が正しくセットされていません。** **【対処】　トレイ N を、プリンターの奥までしっかり押し込んでください。**

「N」は数字を表します。
「xxxx」は、用紙サイズ、または用紙サイズと向きを表します。

メッセージ	意味と対処方法
ﾄﾚｲﾆ xxxx ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	コンピューター側で指定した xxxx の用紙が、どのトレイにもありません。 【対処】 トレイに xxxx の用紙をセットしてください。また、コンピューター側でサイズの指定を間違えた場合は、印刷を中止します。コンピューター側で、正しく指定してから、印刷し直してください。 参照 「5.2.1 用紙トレイ 1 に用紙をセットする」 「4.5 印刷を中止する」
ﾄﾚｲｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	すべてのトレイが正しくセットされていません。 【対処】 すべてのトレイを、プリンターの奥までしっかり押し込んでください。
ﾌﾞﾗｯｸﾄﾅｰ (K) ｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	トナーカートリッジ（ブラック）の交換時期です。 【対処】 トナーカートリッジ（ブラック）を交換してください。 参照 「9.1.2 トナーカートリッジを交換する」
ﾌﾞﾗｯｸﾄﾅｰ (K) ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	トナーカートリッジ（ブラック）がセットされていない、または正しくセットされていません。 【対処】 トナーカートリッジ（ブラック）をプリンターの奥に突き当たるまでしっかり差し込んでください。 参照 「9.1.2 トナーカートリッジを交換する」
ﾌﾟﾘﾝﾄｼｼﾞﾊ ﾑｺｳﾃﾞｽ [ｾｯﾄ] ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	プリンタードライバーでのプリンター構成の設定が、実際のプリンターと合っていない場合、このメッセージが表示されることがあります (たとえば、両面印刷モジュールが装着されていないのに、プリンタードライバーではありに設定し、両面印刷を実行した場合など)。 【対処】 <ｾｯﾄ / 排出> ボタンを押して、印刷を取り消します。プリンタードライバーでプリンター構成の設定が実際のプリンターと合っているかを確認してください。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ ○○○○○○○○○○ﾉ ｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ	警告メッセージです。○○○○○のトナーカートリッジが残り少なくなりました。 交換時期になったら対処できるように、○○○○○の新しいトナーカートリッジを準備してください。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ J	警告メッセージです。エラーが発生しています。 表示内容をお買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。なお、印刷は継続できます。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ ﾄﾅｰｶｲｼｭｳｶｰﾄﾘｯｼﾞﾉ ｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ	警告メッセージです。トナー回収カートリッジの交換時期が近くなりました。 交換時期になったら対処できるように、新しいトナー回収カートリッジを準備してください。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞﾉ ｺｳｶﾝｼﾞｷﾃﾞｽ	警告メッセージです。ドラムカートリッジの交換時期が近くなりました。 交換時期になったら対処できるように、新しいドラムカートリッジを用意してください。

「xxxx」は、用紙サイズ、または用紙サイズと向きを表します。

メッセージ	意味と対処方法
ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	**フロントカバーが開いています。** **【対処】　フロントカバーを正しく閉じてください。** フロントカバー
ﾏｾﾞﾝﾀﾄﾅｰ(M)ｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**トナーカートリッジ（マゼンタ）の交換時期です。** **【対処】　トナーカートリッジ（マゼンタ）を交換してください。** 参照 「9.1.2 トナーカートリッジを交換する」
ﾏｾﾞﾝﾀﾄﾅｰ(M)ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**トナーカートリッジ（マゼンタ）がセットされていない、または正しくセットされていません。** **【対処】　トナーカートリッジ（マゼンタ）をプリンターの奥に突き当たるまでしっかり差し込んでください。** 参照 「9.1.2 トナーカートリッジを交換する」
ﾒﾓﾘｰﾌﾞｿｸﾃﾞｽ [ｾｯﾄ] ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**プリンターが正常に作動するために必要なメモリーが不足しています。** **【対処】　<ｾｯﾄ / 排出> ボタンを押して、印刷を取り消します。増設メモリーを追加してから、印刷し直してください。** 参照 「付録 A　オプション品と消耗品の紹介」 **増設メモリーが追加できない場合、次のように設定すると印刷できる場合があります。ただし、解像度は低下します。** **• プリンタードライバーの[グラフィックス]タブ(Windows の場合) や [一般設定] ダイアログボックス (Macintosh の場合) で、[おすすめ画質タイプ] を [速度優先] に設定する** 参照 『オンラインヘルプ』
ﾕﾆｯﾄ B ｦﾋｷﾀﾞｼﾃ OHP ｦ ﾄﾘﾉｿﾞｸ ﾜｸﾂｷ OHP ﾌｶ	**プリンター内で OHP フィルムが詰まりました。** **【対処】　ユニット B を引き出し、詰まっている OHP フィルムを取り除いてください。また、使用できる OHP フィルムかどうかを確認してください。** 参照 「8.1.3 ユニット B での紙づまり」 「4.7.1 OHP フィルムに印刷する」

メッセージ	意味と対処方法
ﾕﾆｯﾄ B ｦ ﾓﾄﾉｲﾁﾆ ﾓﾄﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**ユニット B が開いています。** **【対処】 ユニット B を、プリンターの奥までしっかり押し込んでください。** ユニット B
ﾕﾆｯﾄ C ｦﾋｷﾀﾞｼﾃ OHP ｦ ﾄﾘﾉｿﾞｸ ﾜｸﾂｷ OHP ﾌｶ	**プリンター内で用紙が詰まりました。** **【対処】 ユニット C を引き出し、詰まっている OHP フィルムや用紙を取り除いてください。OHP フィルムの場合は、使用できる OHP フィルムかどうかを確認してください。また、プリンタードライバーで用紙の種類が正しく設定されていない場合にも、このメッセージが表示されます。プリンタードライバーの設定を確認してください。** 参照 「8.1.2 ユニット C での紙づまり」 「4.7.1 OHP フィルムに印刷する」
ﾕﾆｯﾄ C ｦ ﾓﾄﾉｲﾁﾆ ﾓﾄﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**ユニット C が開いています。** **【対処】 ユニット C を、プリンターの奥までしっかり押し込んでください。** ユニット C
ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	**両面ユニットが開いています。** **【対処】 両面ユニットを、プリンターの奥までしっかり押し込んでください。** 両面ユニット

7.8 操作パネルのエラーランプが点灯、または点滅したときは

操作パネルのエラーランプは、赤色でプリンターの異常を表します。プリンターの使用時にエラーランプが点灯、または点滅した場合は、次を参考にして、適切な処置をしてください。

7.8.1 エラーランプが点灯している場合

エラーランプが点灯している場合は、紙づまりなど、お客様自身で対処可能なエラーが発生しています。ディスプレイに表示されるエラーメッセージに従って、適切な処置をしてください。

参照

エラーメッセージの意味と対処方法は、「7.7 操作パネルにエラーメッセージが表示されたときには」を参照してください。

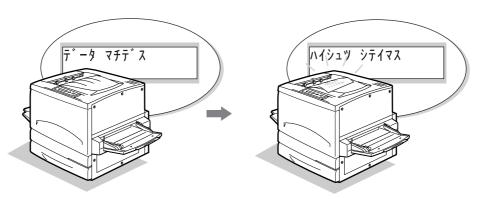
7.8.2 エラーランプが点滅している場合

エラーランプが点滅している場合は、お客様自身では対処できないエラーが発生しています。表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留めたうえで、プリンターの電源を切り、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。

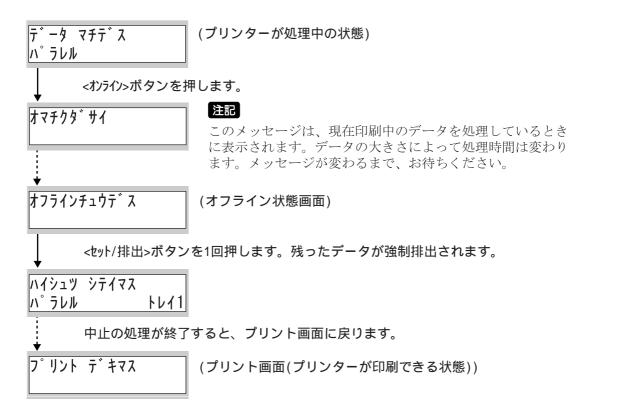
7.9 残ったデータを強制排出する（印刷が途中で止まった場合）

データの最後がページの途中で終了してしまうと、ジョブタイムアウトが発生する時間まで次のデータ待ちとなり、操作パネルのディスプレイには【データ　マチデス】のメッセージが表示されます。
強制排出は、このようなときにジョブタイムアウトの時間を待たないで、プリンター内のデータを強制的に印刷します。
ここでは、残ったデータを強制排出する方法を説明します。

注記
データの種類によっては、データがキャンセルされ強制排出されません。

参照
ジョブタイムアウトが発生する時間は、工場出荷時は30秒に設定されています。この時間は、操作パネルで5〜300秒の間で設定できます。ジョブタイムアウトの詳細については、「6.3 メニュー画面項目一覧」を参照してください。

手順は次のとおりです。ここでは操作パネルの次のボタンを使用します。

参照

操作パネルの操作方法についての詳細は、「6.2 メニュー画面の基本操作」を参照してください。

用紙が詰まったときには

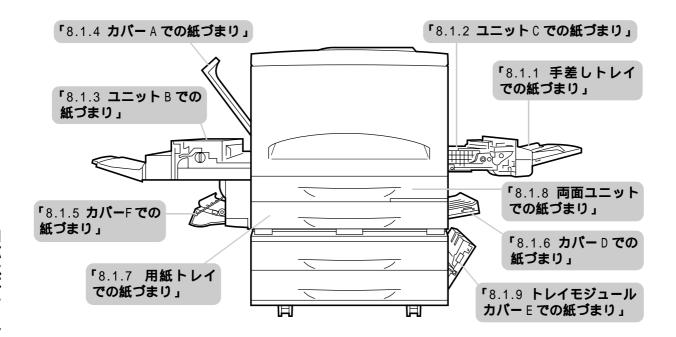
8.1 用紙が詰まったときには

印刷中に用紙が詰まると、プリンターは操作パネルのディスプレイにエラーメッセージを表示して、停止します。
用紙が詰まったときは、以下の対処方法を参照して、すぐに用紙を取り除いてください。

注記

用紙が詰まった状態でプリンターを使用し続けると、故障の原因になります。すぐに用紙を取り除いてください。

補足

下の図は、オプションのトレイモジュール (2 段) と両面印刷モジュールを取り付けた場合を表しています。

⚠注意

- **つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。**
  なお、紙片や用紙がヒーター部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクに連絡してください。
- **「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。**

注記

- 万一、発煙をともなう紙づまりが発生したときは、カバーを開けずに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。
- 用紙を取り除くときは、用紙が破れないようにゆっくり引き抜いてください。

補足

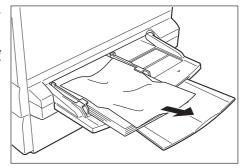
紙づまりには、プリンターの設置や用紙による原因が考えられます。用紙は、「5.1 使用できる用紙と使用できない用紙」を参照して、適切なものを使用してください。

8.1.1　手差しトレイでの紙づまり

次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

処置手順

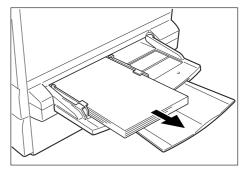
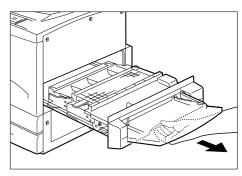
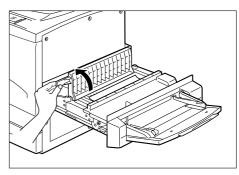
1 **手差しトレイから詰まっている用紙を取り除きます。**

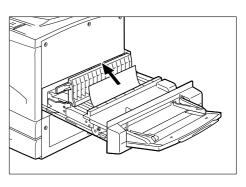
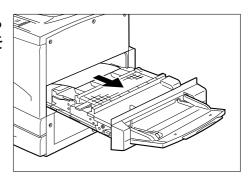
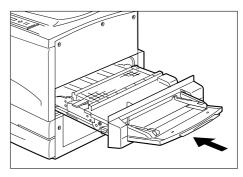
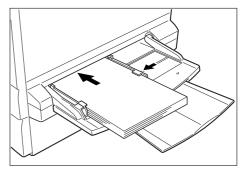
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

2 **内部に用紙が残っている可能性があるので、次ページの「8.1.2 ユニットCでの紙づまり」の操作を行ってください。**

8.1.2　ユニットＣでの紙づまり

次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

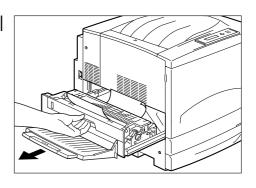
処置手順

1 **手差しトレイに用紙をセットしている場合は、用紙を取り除きます。**

2 **ユニット C を、止まるまでゆっくり引き出します。**

3 **取っ手を持ち上げて、カバーを開けます。**

4 **詰まっている用紙を引き出します。**

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

5 カバーの中に用紙がない場合は、さらに奥をのぞいて、詰まっている用紙を取り除いてください。

6 カバーを閉じ、ユニットCをプリンターの奥までしっかり押し込みます。

7 手差しトレイに用紙をセットしていた場合は、用紙をセットし直します。

8.1.3　ユニット B での紙づまり

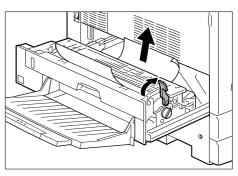
次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

処置手順

1 **ユニット B を、止まるまでゆっくり引き出します。**

2 **用紙が見えている場合は、ニップレバー (緑色のレバー) を起こし、詰まっている用紙を引き出します。**

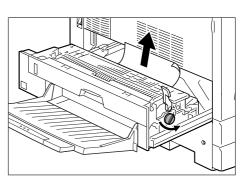
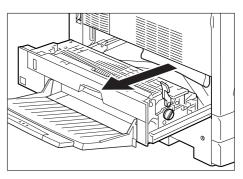
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

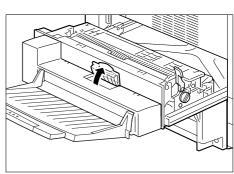
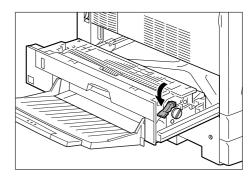
注記

フューザー (定着部) は高温になっています。直接触れると、やけどの原因になるおそれがあります。十分に注意してください。

3 **用紙が見えていない場合は、緑色のノブを矢印の方向に回し、用紙を矢印の方向に引き出します。**

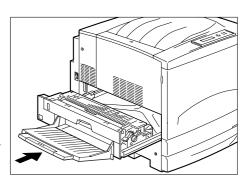
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

注記

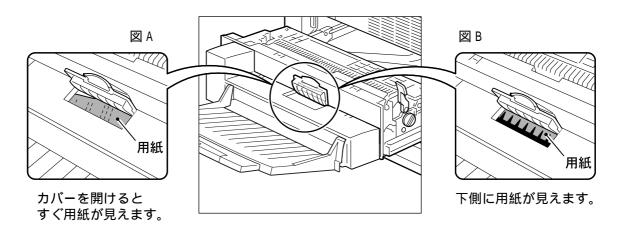
フューザー (定着部) は高温になっています。直接触れると、やけどの原因になるおそれがあります。十分に注意してください。

4 **さらに機械内部をのぞいて、詰まっている用紙を取り除いてください。**

5 **両面印刷モジュールを取り付けている場合は、図の透明なカバーを開けて、用紙が残っていないかどうかを確認してください。**

用紙が見つかった場合は、以降の操作は行わず、次ページの「カバーの中に用紙が見つかったときは」に進んでください。

6 **ニップレバーを元に戻します。**

7 **ユニットBを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。**

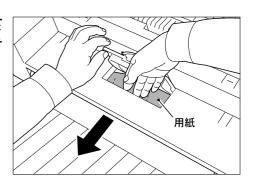
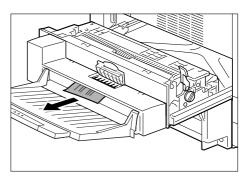
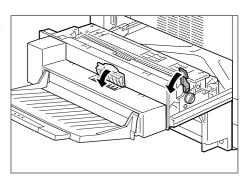
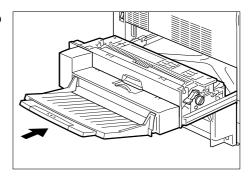
8 **用紙が見つからない場合は、「8.1.4 カバーA での紙づまり」の操作を行ってください。**

また、両面印刷モジュールを取り付けている場合は、カバーF内に用紙が詰まっている可能性もあります。「8.1.5 カバーFでの紙づまり」の操作も行ってください。

カバーの中に用紙が見つかったときは

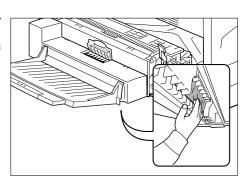
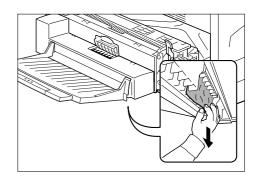
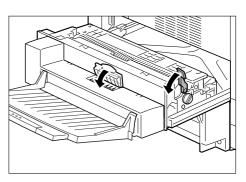
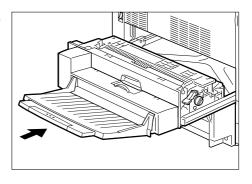
用紙が詰まっている場所に応じて、次の操作を行ってください。

- 図 A の状態で用紙がある場合→ 「はがきなどの小さい用紙を取り除く」
- 図 B の状態で用紙がある場合→ 「ユニット B の下側の用紙を取り除く」

■はがきなどの小さい用紙を取り除く

処置手順

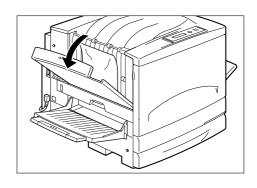
1 カバーを閉じないように軽く手で押さえながら、指で用紙を排出方向に掻き出します。

2 用紙を矢印の方向に引き出します。

3 **カバーとニップレバーを元に戻します。**

4 **ユニットBを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。**

■ユニット B の下側の用紙を取り除く

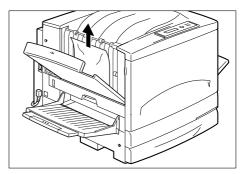
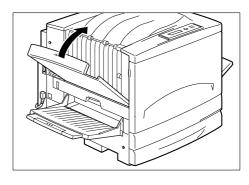
処置手順

1 カバーを開けたまま、ユニット B の下側に手を入れ、図の部分に用紙がないかどうかを確認します。

2 用紙を下へ引っ張り、取り除きます。

3 カバーとニップレバーを元に戻します。

4 ユニット B を、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

8.1.4　カバー A での紙づまり

次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

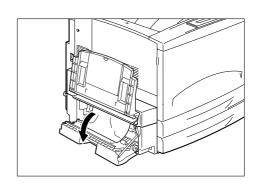
処置手順

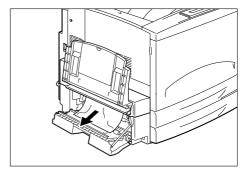
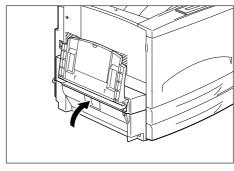
1　**カバー A を開けます。**

2　**詰まった用紙を取り除きます。**

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

3　**カバー A を閉じます。**

8.1.5　カバーFでの紙づまり

次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

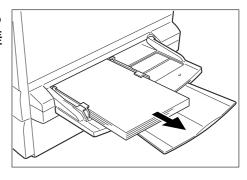
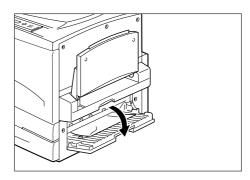
処置手順

1　**カバーFを開けます。**

2　**詰まった用紙を取り除きます。**

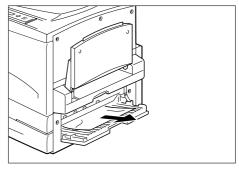
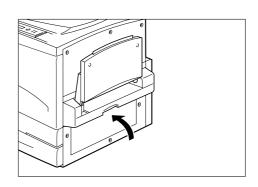
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

3　**カバーFを閉じます。**

8.1.6　カバーDでの紙づまり

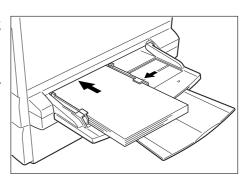
次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

処置手順

1　手差しトレイに用紙をセットしている場合は、用紙を取り除いてから、手差しトレイを折りたたみます。

2　カバーDを開けます。

3　詰まっている用紙を引き出します。

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

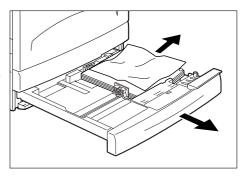
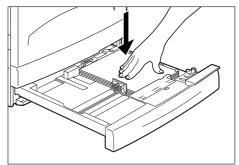
4 カバーDを閉じます。

5 手差しトレイに用紙をセットしていた場合は、用紙をセットし直します。

6 用紙が見つからない場合は、用紙トレイの中に詰まっている場合があります。次のページの「8.1.7 用紙トレイでの紙づまり」の操作を行ってください。

8.1.7 用紙トレイでの紙づまり

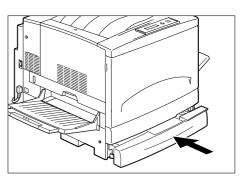
次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

処置手順

1 **用紙トレイを、止まるまでゆっくり引き出し、詰まっている用紙やシワになっている用紙を取り除きます。**

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

2 **用紙トレイの、金属の底板を手で下げて、上に浮き上がらないように固定します。**

3 **用紙トレイを、奥に突き当たるまでゆっくり押し込みます。**

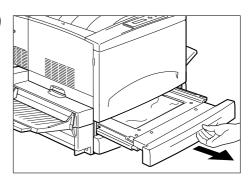
注記

用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

8.1.8　両面ユニットでの紙づまり

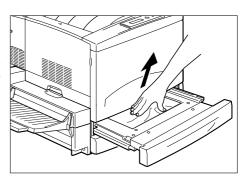
カバーF とカバーD で用紙が詰まっていない場合は、両面ユニットの中を確認します。次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

注記
両面ユニットを引き出す場合は、事前に必ずカバーFとカバーDを開け、用紙が詰まっていないことを確認してください。

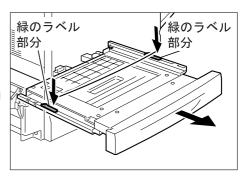
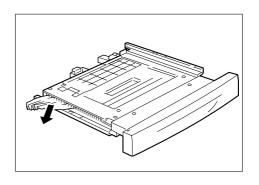
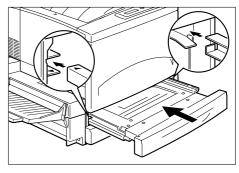
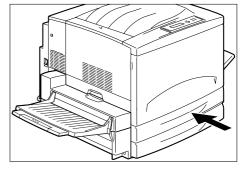
処置手順

1　両面ユニットを、止まるまでゆっくり引き出します。

2　詰まっている用紙やシワになっている用紙を、つまんで引き抜きます。

両面ユニットの端に詰まった用紙があり、引き抜けない場合や用紙が破れた場合には、次に進んでください。

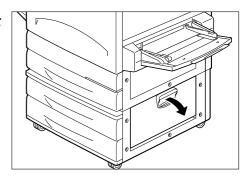
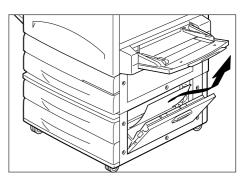
用紙を取り除けた場合は、手順6に進んでください。

3　用紙が破れた場合は、両面ユニットの左右にある、緑のラベル部分を押しながら、両面ユニットを引き抜きます。

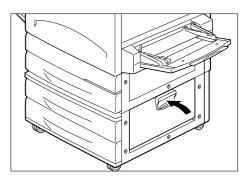
緑のラベル部分が押しにくいときは、両面ユニットを5mmくらい奥に戻してから、緑のラベル部分を押し直してください。

注記
両面ユニットを、落とさないように注意してください。

4 **詰まっている用紙を取り除きます。**

5 **両面ユニットを両手で持ち、左右のガイドをプリンター本体のレールに合わせて、差し込みます。**

6 **両面ユニットを、奥に突き当たるまでゆっくり押し込みます。**

8.1.9 トレイモジュールカバー E での紙づまり

次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。ここでは、トレイモジュール (2 段) の例で説明します。

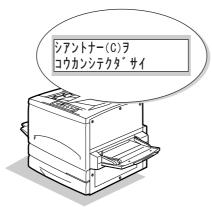
処置手順

1 **トレイモジュール右側面のカバー E を開けます。**

2 **詰まった用紙を取り除きます。**

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

3 **カバー E を閉じます。**

章

消耗品の交換と日常の取り扱い

9.1 トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジには、ブラック、イエロー、シアン、マゼンタの 4 種類があります。トナーが残り少なくなると、プリンターの操作パネルのディスプレイに【xxxx トナー (X) ヲ　コウカンシテクダサイ】(xxxx は、交換が必要なトナーカートリッジの色) のメッセージが表示されます。交換を促すメッセージが表示されたら、新しいトナーカートリッジと交換してください。

注記

トナーカートリッジの交換を促すメッセージが表示されたら、早めに新しいカートリッジを用意し、交換してください。画像密度が高い文書を印刷するなど、使用条件によっては、このメッセージが表示されたあと、数枚から数十枚出力したところで機械が停止します。

参照

トナーカートリッジは消耗品です。消耗品については、「付録 A　オプション品と消耗品の紹介」を参照してください。
また、消耗品の交換時期については、「付録 E　消耗品の寿命」を参照してください。

9.1.1 トナーカートリッジの取り扱い上の注意

⚠警告
使用済みのトナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

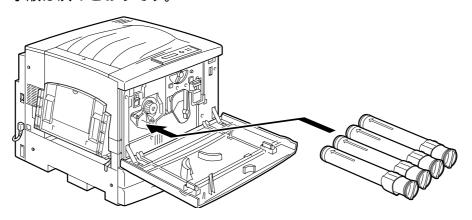
取り扱い上の注意

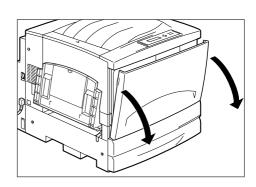
- 一度プリンターから取り外したトナーカートリッジは、再使用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因になります。
- 取り外したトナーカートリッジを振ったり、たたいたりしないでください。残ったトナーがこぼれることがあります。
- 寒いところから暖かいところに移動した場合は、1 時間以上室温に慣らしてから使用してください（結露がなければ使用可能です）。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときには、すぐに洗い流してください。
- 弊社が推奨していないトナーカートリッジを使用した場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。このプリンターには、弊社が推奨するトナーカートリッジを使用してください。

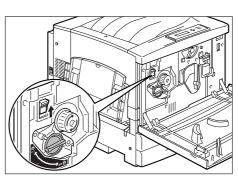
保管上の注意

- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
- 温度範囲 0 〜 35 ℃、湿度範囲 15 〜 80%RH（ただし、結露のないこと）
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

9.1.2　トナーカートリッジを交換する

手順は次のとおりです。

操作手順

1　**フロントカバーを開けます。**

2　**交換したい色のトナーカートリッジが取り出し口にある場合は、手順 5 に進んでください。**

交換したい色のトナーカートリッジが取り出し口にない場合は、回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで押し上げ、手を離します。

注記

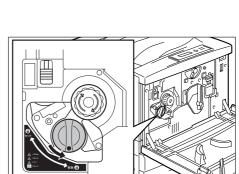
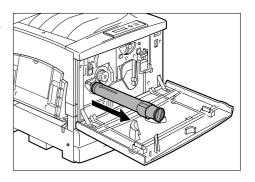
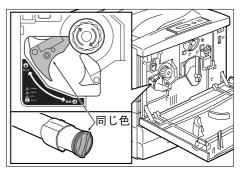
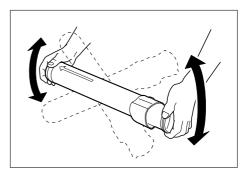
回転防止スイッチを押し上げたら、手を離してください。回転防止スイッチは、次の手順でノブを回すと自動的に下がるしくみになっています。

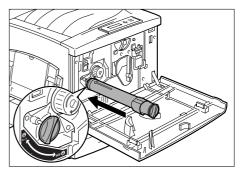
3 **ノブを、図の矢印の方向に止まるまで回して、トナーカートリッジを移動させます。**

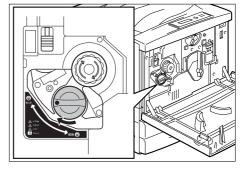
補足

ノブを回すと、「カチッ」と音がして回転防止スイッチが下がります。

4 **取り出したい色のトナーカートリッジが取り出し口にくるまで、手順2～3の操作を繰り返します。**

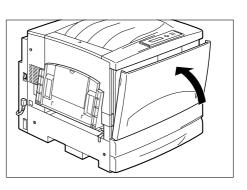
5 **取り出したい色のトナーカートリッジが取り出し口にきたら、トナーカートリッジを図の矢印の方向に回し、カートリッジ側の「●」印をプリンター側の「解除」( ) に合わせます。**

6 **トナーカートリッジを手前に引いて、取り出します。**

7 **同色の新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出します。**

8 **図のように 7 ～ 8 回振り、中のトナーを均一にします。**

9 **トナーカートリッジの先端の矢印を上にして、奥に突き当たるまでしっかり差し込みます。**

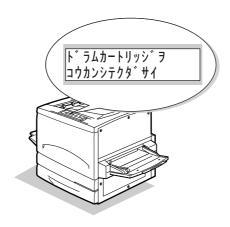
注記
トナーカートリッジをしっかり差し込まないで操作すると、故障の原因になります。

10 **トナーカートリッジを図の矢印の方向に止まるまで回し、トナーカートリッジ側の「●」印をプリンター側の「セット」(🔒) に合わせます。**

注記
トナーカートリッジを最後までしっかり回さないと、トナーがこぼれることがあります。

11 **フロントカバーを閉じます。**

12 **交換後、不要になったトナーカートリッジは、空になった梱包箱に入れます。**

トナーカートリッジに同梱されているシートの内容に従って、弊社あてに返送してください。

⚠警告
使用済みのトナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。
粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

9.2 ドラムカートリッジの交換

ドラムカートリッジは、ドラム (感光体)、ドラムクリーナー、トナー回収カートリッジで構成されています。
ドラムカートリッジが劣化すると、プリンターの操作パネルのディスプレイに【ドラムカートリッジヲ　コウカンシテクダサイ】のメッセージが表示されます。交換を促すメッセージが表示されたら、新しいドラムカートリッジと交換してください。

補足

トナー回収カートリッジは、単体でも取り替えることができます。トナー回収カートリッジ単体を交換する手順は、「9.3.2 トナー回収カートリッジを交換する」を参照してください。

参照

ドラムカートリッジやトナー回収カートリッジは消耗品です。消耗品については、「付録 A　オプション品と消耗品の紹介」を参照してください。
また、消耗品の交換時期については、「付録E　消耗品の寿命」を参照してください。

9.2.1　ドラムカートリッジの取り扱い上の注意

⚠警告
使用済みのドラムカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

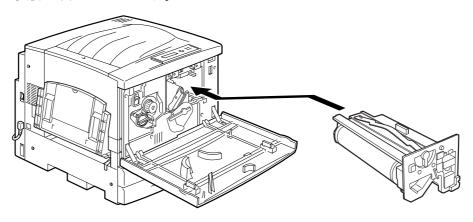
取り扱い上の注意

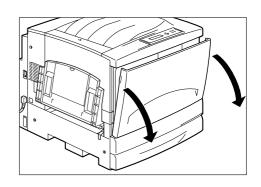
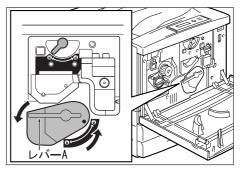
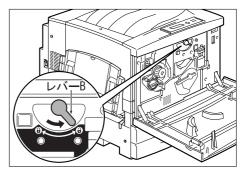
- ドラムの表面(青色の部分)は手で触らないでください。ドラムの表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。ドラムの表面に傷や手の脂、汚れなどがつくと、印刷写りが悪くなります。
- ドラムカートリッジを直射日光に当てないでください。また、室内蛍光灯にもなるべく当てないようにしてください。印字が汚れたり、写らない箇所が発生します。
- ドラム面に傷が付かないように、ドラムカートリッジの交換作業は平らな机の上で行ってください。
- トナー回収カートリッジに回収したトナーは、再利用しないでください。
- トナーがいっぱいになって取り出したトナー回収カートリッジは、再度ドラムカートリッジ内に戻して使用しないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因になります。
- 使用中のドラムカートリッジやトナー回収カートリッジを一時的に取り出して、傾けたり振ったりしないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因になります。
- 弊社が推奨していないドラムカートリッジを使用した場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。このプリンターには、弊社が推奨するドラムカートリッジを使用してください。
- 印刷画質を維持するために、ドラムカートリッジは水平にした状態で取り扱ってください。

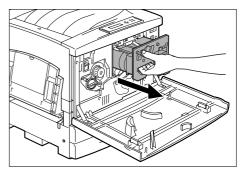
保管上の注意

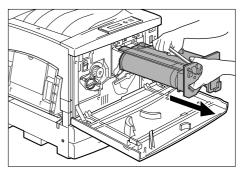
- 使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
- 温度範囲 0 ～ 35 ℃、湿度範囲 15 ～ 80%RH(ただし、結露のないこと)
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。
- 水平にした状態で保管してください。

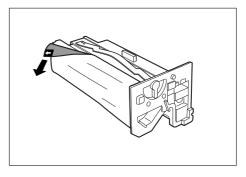
9.2.2 ドラムカートリッジを交換する

手順は次のとおりです。

操作手順

1 フロントカバーを開けます。

2 オレンジ色のレバー A を図の矢印の方向に回し、「●」印を解除位置（🔓）に合わせます。

3 **オレンジ色のレバー B を図の矢印の方向に回し、解除位置(🔓)に合わせます。**

4 **引き出し用の溝に手を入れ、ドラムカートリッジを手前にゆっくりと引き出します。**

注記
ドラムカートリッジを引き出すとき、指が挟まれないように注意してください。

5 **上部の取っ手を持ち、さらにドラムカートリッジを手前に引いて、プリンターから取り出します。**

注記
ドラムカートリッジを落とさないように、必ず上部の取っ手を持ってください。

6 **新しいドラムカートリッジを梱包箱から取り出し、カートリッジを覆っている保護シートを緑色の矢印部分を引っ張ってはがします。**

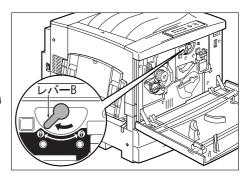
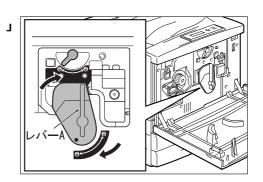
注記
- ドラムの表面(青色)は手で触らないでください。ドラムの表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。ドラムの表面に傷や手の脂、汚れなどがつくと、印刷写りが悪くなります。
- 保護シートは、ドラムカートリッジを水平にした状態で、はがしてください。

7 ドラムカートリッジの取っ手を持ち、左右のガイドをプリンター本体のレールに載せて、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

注記

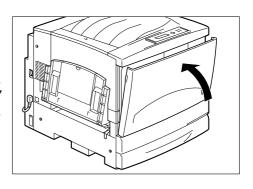
- ドラムカートリッジのガイドがきちんとレールに載っていない状態で挿入すると、カートリッジの破損の原因になります。
- ドラムの表面 (青色) がほかの部品に接触しないように注意してください。

8 レバーB を図の矢印の方向に回し、セット位置 (🔒) に合わせます。

注記

ドラムカートリッジが奥まで押し込まれていないと、レバーは回りません。

9 レバーA を図の矢印の方向に回し、「●」印をセット位置 (🔒) に合わせます。

10 フロントカバーを閉じます。

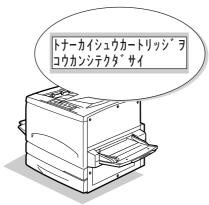
注記

レバーA、B が正しいセット位置に合っていないと、フロントカバーを閉じることができません。フロントカバーを閉じることができない場合は、レバーA、Bがセット位置に合っているかどうかを確認してください。

11 **交換後、不要になったドラムカートリッジは、空になったアルミ袋と梱包箱に入れます。**

ドラムカートリッジに同梱されているシートの内容に従って、弊社あてに返送してください。

⚠警告
使用済みのドラムカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

9.3 トナー回収カートリッジの交換

トナー回収カートリッジは、ドラムカートリッジに付属しているため、ドラムカートリッジ交換時には必ず新品と交換されますが、単体でも交換できます。
ドラムカートリッジの交換時期が来る前に、トナー回収カートリッジがトナーでいっぱいになると、プリンターの操作パネルのディスプレイに【トナーカイシュウカートリッジヲコウカンシテクダサイ】のメッセージが表示されます。
交換を促すメッセージが表示されたら、新しいトナー回収カートリッジと交換してください。

9.3.1 トナー回収カートリッジの取り扱い上の注意

> ⚠警告
> **使用済みのトナー回収カートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**

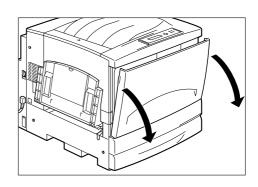
取り扱い上の注意

- トナー回収カートリッジに回収したトナーは、再利用しないでください。
- トナーがいっぱいになって取り出したトナー回収カートリッジは、再度ドラムカートリッジ内に戻して使用しないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因になります。
- 使用中のドラムカートリッジやトナー回収カートリッジを一時的に取り出して、傾けたり振ったりしないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因になります。

9.3.2 トナー回収カートリッジを交換する

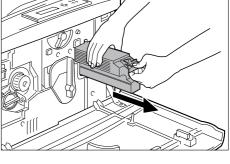
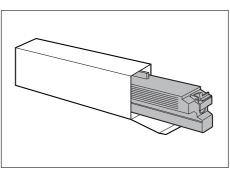
手順は次のとおりです。

操作手順

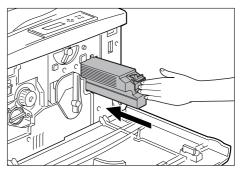
1 **フロントカバーを開けます。**

2 **トナー回収カートリッジの取っ手をつまみながらゆっくりと手前に引き、プリンター本体から取り出します。**

注記

- 取っ手のつまみをしっかり押し下げてから抜いてください。
- ゆっくりと取り出さないと、トナーがこぼれます。

3 **新しいトナー回収カートリッジを梱包箱から取り出します。**

4 トナー回収カートリッジを、「カチッ」と音がするまでプリンターの奥にしっかり押し込みます。

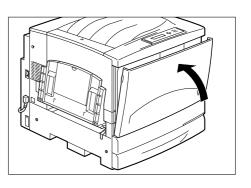
注記

取っ手のつまみを押さえずに、押し込んでください。

5 フロントカバーを閉じます。

6 交換後、不要になったトナー回収カートリッジは、空になった梱包箱に入れます。

トナー回収カートリッジに同梱されているシートの内容に従って、弊社あてに返送してください。

警告

使用済みのトナー回収カートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

9.4 レポート / リストを印刷する

操作パネルを使用して、次のレポートやリストを出力できます。

- **プリンター設定リスト**

  本プリンターに取り付けられているオプションの情報や、ネットワークの設定について確認できます。

  参照

  「9.4.1 プリンターの構成やネットワーク設定を確認する」

- **パネル設定リスト**

  操作パネルで設定した値を確認できます。

- **XPL2 フォントリスト**

  本プリンターが搭載しているフォントを確認できます。

- **プリント履歴レポート**

  最新の 22 件までの印刷ジョブについて、正しく印刷されたかどうかを確認できます。

  参照

  「9.4.2 プリント履歴レポートを印刷する」

9.4.1 プリンターの構成やネットワーク設定を確認する

操作パネルを使用してプリンター設定リストを印刷すると、プリンターにどのようなオプションが取り付けられているか、また、どのようにネットワークの設定がされているかを確認できます。

DocuPrint C830
プリンター設定リスト

全体

プリント総ページ数	9枚
ドラムカウンター	217count
搭載メモリー	128Mbyte
搭載プリンター言語	XPL2:200202211103
搭載フォント数	XPL2用
	和文 2書体
	欧文13書体
F/Wバージョン	200202221655
Bootバージョン	200110171500
IOTバージョン	1.10.33
DACSバージョン	200110221443
PDFバージョン	200202211107

ネットワーク

F/Wバージョン	5.02
Ethernet Address	08:00:37:02:f8:ce
Ethernet設定	10Base-T Half(AUTO)
TCP/IP設定	パネル
IPアドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.254
IPX/SPX設定	
IPXフレームタイプ	unknown(AUTO)
ネットワークアドレス	0006715c:08003702f8ce
搭載プロトコル	LPD,Port9100,IPP
	SMB,NetWare®
	EtherTalk®
	FTP,SNMP
	SMTP/POP3
	Internet Services
受信制限	なし

オプション

拡張ネットワークカード	あり
用紙トレイ	トレイ1、2、3、手差し
オプショントレイ	2段
両面印刷モジュール	あり
ハードディスク	あり
Contents Bridge拡張キット	あり

パラレル

ECP	有効

LPD

ポート状態	起動

Port9100

ポート状態	起動

IPP

ポート状態	起動

SMB

ポート状態	起動
TCP/IP	起動
NetBEUI	起動
ホスト名	FX02F8CE
ワークグループ名	WORKGROUP

NetWare®

ポート状態	起動
動作モード	DS-PServerモード
装置名	FX02F8CE
ツリー	
コンテキスト	

EtherTalk®

ポート状態	起動
プリンタ名	FX02F8CE
ゾーン名	DE-2D7(*)
プリンタタイプ	XPL2

FTP

ポート状態	停止

SNMP

ポート状態	起動
UDP/IP	起動
IPX	起動

SMTP/POP3

ポート状態	停止

Internet Services

ポート状態	起動

EtherTalkはApple Computer, Incの登録商標です。
NetWareはノベル株式会社の登録商標です。
XEROX、THE DOCUMENT COMPANYは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

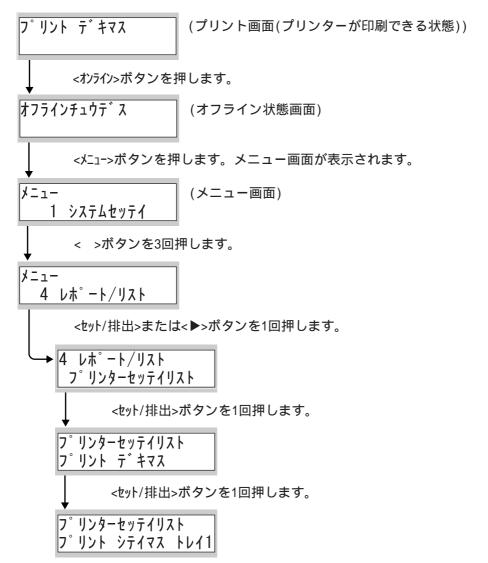
THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

プリンター設定リストを印刷する手順を説明します。ここでは、操作パネルの次のボタンを使用します。

参照

操作パネルの操作方法についての詳細は、「6.2 メニュー画面の基本操作」を参照してください。

注記

プリンター設定リストは、A4 サイズ縦の用紙に印刷されます。用紙トレイに、A4 サイズの用紙を縦置きにセットしてください。

印刷が終了すると、プリント画面に戻ります。

9.4.2 プリント履歴レポートを印刷する

操作パネルを使用して、プリント履歴レポートを印刷できます。プリント履歴レポートでは、最新の 22 件までの印刷ジョブについて、正しく印刷されたかどうかを確認できます。

補足

操作パネルの【1 システムセッテイ】メニューで、【リレキノ ジドウプリント】を【スル】に設定すると、印刷データが 22 件を超えた場合、自動的にプリント履歴レポートが印刷されます (工場出荷時:【シナイ】)。詳細は、「6.3 メニュー画面項目一覧」を参照してください。

DocuPrint C830
プリント履歴レポート
プリント総ページ数 66 ページ

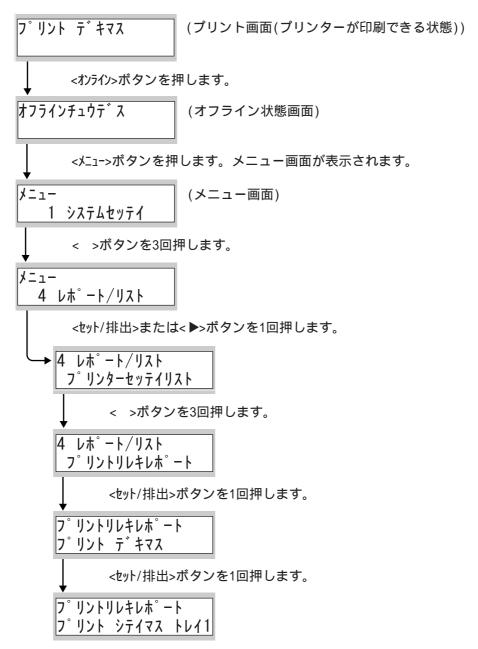
日付	時刻	ポート	ホスト/ユーザ名	ドキュメント名	カラーモード	用紙サイズ	ページ数	枚数	結果
		Report		Printer config	白黒	A4	1	1	正常終了
2001/06/23	16:17	lpd	MDP1/Kuroda	Cal.doc	カラー	B5	1	1	正常終了
2001/06/28	16:45	lpd	MDP1/Kuroda	list112.doc	カラー	B5	1	1	正常終了
2001/06/29	16:17	lpd	MDP1/Kuroda	table10.xls	カラー	A4	2	2	正常終了
		Report		Printer config	白黒	A4	1	1	正常終了
2001/06/30	16:17	Parallel	XPS2/Yokota	houkoku.doc	カラー	A4	1	1	正常終了
2001/07/03	11:17	Parallel	XPS2/Yukota	houkoku.doc	カラー	A4	1	1	正常終了
2001/07/03	16:32	EtherTalk	DE-PDS/kagawa	event06.pdf	カラー	A4	3	3	正常終了
		Report		Log print	白黒	A4	1	1	
2001/07/04	10:14	lpd	MDP1/Kuroda	table12.xls	カラー				

プリント履歴レポートを印刷する手順を説明します。ここでは、操作パネルの次のボタンを使用します。

参照

操作パネルの操作方法についての詳細は、「6.2 メニュー画面の基本操作」を参照してください。

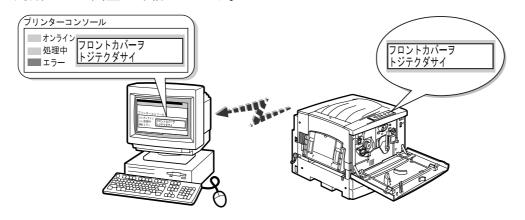
注記

プリント履歴レポートは、A4 サイズの用紙に印刷されます。用紙トレイに、A4 サイズの用紙をセットしてください。

印刷が終了すると、プリント画面に戻ります。

9.5 コンピューター上でプリンターの状態を確認する

本プリンターでは、ネットワーク上のコンピューターからプリンターの状態を確認するためのツールが、いくつか提供されています。
これらのツールを利用すると、使用しているコンピューターの前から離れて、プリンターのところまで、わざわざ見に行かなくても、プリンターが正常に作動しているかどうかがわかります。
ここでは、各ツールについて簡単に紹介します。

9.5.1 WWW ブラウザーで状態や消耗品の残量を確認する

本プリンターを TCP/IP 環境に設置した場合、ネットワーク上のコンピューターの WWW ブラウザーを使用して、プリンターの状態を確認したり、プリンターの各種設定を行ったりすることができます。
この機能を、「CentreWare Internet Services」と呼びます。
CentreWare Internet Services では、プリンターにセットされている消耗品や用紙などの残量も確認できます。

次に、CentreWare Internet Services を使用する手順を説明します。
ここでは、Windows 98 の Microsoft® Internet Explorer 5.5 の例で説明します。

操作手順

1 **コンピューターの電源を入れ、WWW ブラウザーを起動します。**

注記
CentreWare Internet Services が正しく動作するには、WWW ブラウザーが次のように設定されている必要があります。CentreWare Internet Services にうまく接続できない場合は、設定を確認してください。

- [保存しているページの新しいバージョンの確認]で、[ページを表示するごとに確認する]、または [Internet Explorer を起動するごとに確認する] に設定していること

参照

CentreWare Internet Services の詳細については、同梱されている CD-ROM 内の『ネットワークガイド』を参照してください。

2 WWW ブラウザーのアドレス欄に、プリンターの IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力します。

補足

プリンターの IP アドレスがわからない場合は、プリンター設定リストを印刷して確認してください。プリンター設定リストの印刷方法は、「9.4.1 プリンターの構成やネットワーク設定を確認する」を参照してください。

- ネットワークがDNS(Domain Name System)を使用していて、DNSのネームサーバーにプリンターのホスト名が登録されている場合は、ホスト名とドメイン名を組み合わせた「インターネットアドレス」を使用して、プリンターにアクセスできます。
  DNS とは、インターネットでホスト名から IP アドレスを入手するための名前解決サービスです。ネットワークで DNS を使用しているかどうか、また、プリンターのインターネットアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。
- プロキシサーバーを使用していると、IP アドレスを入力しても CentreWare Internet Services の画面が表示されないことがあります。
  その場合は、CD-ROM 内の『ネットワークガイド』を参照して、プロキシサーバーを経由しないで直接接続するように設定してください。

入力例 1： IP アドレスが 192.168.1.100 の場合　「http://192.168.1.100/」

入力例 2： インターネットアドレスが dpc.aaa.bbb.fujixerox.co.jp の場合「http://dpc.aaa.bbb.fujixerox.co.jp/」

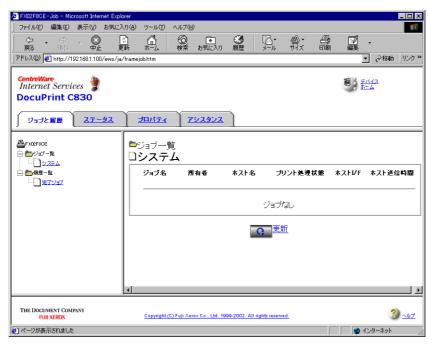
3 <Enter> キーを押します。

CentreWare Internet Services の画面が表示されます。

4 ［ジョブと履歴］をクリックします。

画面の右側に、各プロトコル、または操作パネルで指示した印刷ジョブに関する詳細な状態が表示されます。

補足

左側のツリーで、［完了ジョブ］をクリックすると、処理が終了した印刷の履歴が確認できます。

5 ［ステータス］タブをクリックします。

画面の右側に、プリンター情報が表示されます。

用紙トレイや排出トレイ、カバーの状態、トナーや消耗品の残量、出力カウントの情報が確認できます。

6 ［イベント情報］をクリックします。

画面の右側の表示内容がイベント情報に変わります。

エラーが発生しているかどうかが確認できます。また、プリンターの操作パネルの状態も確認できます。

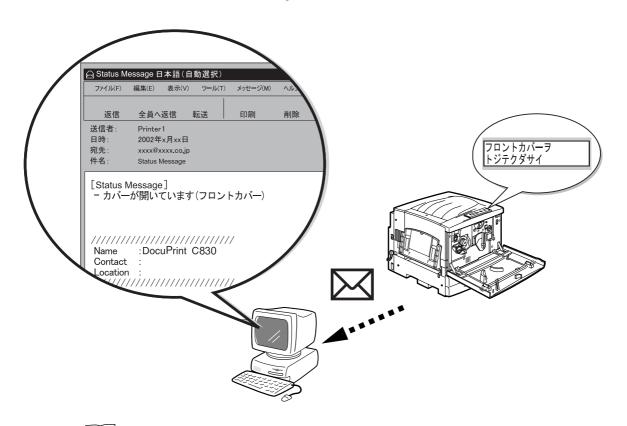
9.5.2 アイコンで状態を確認する

本プリンターでは、ネットワーク上の Windows コンピューターでプリンターの状態を確認するツール「CentreWare Simple Status Notification」が提供されています。このツールでは、コンピューターのデスクトップ上に表示されるアイコンの形状によって、プリンターの状態を確認できます。また、このツールから CentreWare Internet Services を起動することもできます。
詳細については、同梱されている CD-ROM 内の『ネットワークガイド』を参照してください。

9.5.3 電子メールで状態を確認する

本プリンターを TCP/IP 環境に設置した場合、ユーザーと本機の間で電子メールを使ってやりとりし、プリンターを管理することができます。

- **ユーザーからネットワークの設定や本体の状態を問い合わせると、本体からその結果が電子メールで返信されます。**
- **本体でエラーが発生した場合には、ユーザーにそのことを知らせる電子メールが届きます。**

この機能を、「Status Messenger 機能」と呼びます。

参照

Status Messenger 機能を使用するための設定、および使用方法については、同梱されている CD-ROM 内の『ネットワークガイド』を参照してください。

9.6 清掃について

プリンターを良好な状態に保ち、きれいな印刷ができるように、約 1 か月に 1 回、プリンター外部を清掃してください。

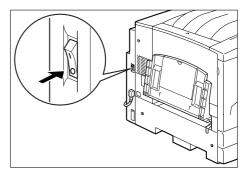
> ⚠注意
> **機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。**

清掃時の注意

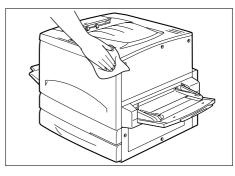
- **洗剤を直接プリンターに向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因になることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。**
- **プリンター内部の部品には、絶対に注油しないでください。このプリンターには注油の必要はありません。**
- **このプリンターは、カバーやユニットを開けて内部を清掃する必要はありません。**

プリンター外部の清掃

操作手順

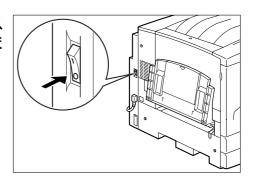
1 **プリンター本体左側面にある電源スイッチの [O] 側を押して電源を切ります。**

2 **外部の汚れは、水でぬらしてよくしぼった柔らかい布でふきます。**

汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて、軽くふいてください。

3 **柔らかい布で水分をふき取ります。**

9.7 長期間使用しないときには

長期間、プリンターを使用しないときには、必ず次の作業を行ってください。

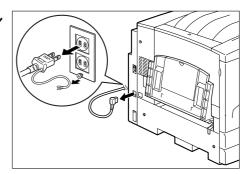
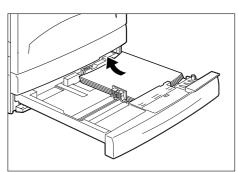
操作手順

1 **プリンター本体左側面にある電源スイッチの［O］側を押して電源を切ります。**

2 **電源コード、およびパラレルケーブルなど、すべての接続コードを外します。**

⚠警告

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

⚠注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

3 **用紙トレイから用紙を取り出し、湿気やホコリのない場所に保管します。**

9.8 プリンターを移動するときには

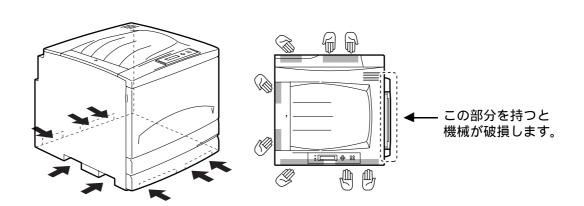
ここでは、プリンターをトラックで長距離運搬するなど、大きな振動を伴う場合の移動手順について説明します。

注記
このプリンターは重量物であるため、プリンターの持ち運びは重量物運搬取り扱い業者に、必ず依頼してください。

9.8.1 やむをえずプリンターを持ち運ぶときの注意

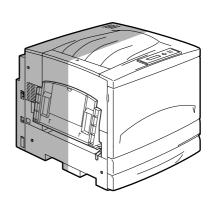
必ず 4 人以上で持ち運んでください

⚠注意

- **プリンターの重さは、消耗品、用紙カセットがセットされている状態で 72kg です。このプリンターは重量物であるため、プリンターの持ち運びは重量物運搬取り扱い業者に、必ず依頼してください。やむをえずプリンターを持ち運ぶ場合は、必ず 4 人以上で持ち運んでください。**
- **やむをえずプリンターを持ち上げるときは、プリンター正面に向かって、前後両側と左側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。このくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるケガの原因となるおそれがあります。**
- **やむをえずプリンターを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。**

水平にして持ち運んでください

プリンターを前後、左右方向に 10°以上傾けないでください。プリンター内部の消耗品がこぼれるなど故障の原因になります。

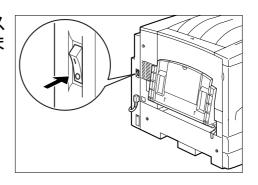
プリンターの重さについて

本プリンターは、フロントカバー側よりも背面側のほうが重くなっています。運搬時には、重さの違いに注意してください。

9.8.2 プリンターを移動する

プリンターを梱包するためには、設置時に取り外したスペーサー B、C、D、E、F が必要です。保管しておいたスペーサーを準備したうえで、次の手順に従ってください。

注記

- 移動のとき、取り外したトナーカートリッジを再度取り付けることはしないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因になります。
- オプションのトレイモジュールや専用キャビネットを取り付けている場合は、プリンター本体から取り外して運搬してください。プリンター本体にしっかり固定されていない場合、落下によるケガの原因になります。移動する場合の取り外し、取り付けは、オプション付属の説明書を参照してください。なお、これらのオプションは、重量物であるため、持ち運びは重量物運搬取り扱い業者に、必ず依頼してください。

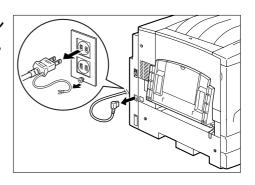
操作手順

1 **プリンター本体左側面にある電源スイッチの [O] 側を押して電源を切ります。**

2 **電源コード、およびパラレルケーブルなど、すべての接続コードを外します。**

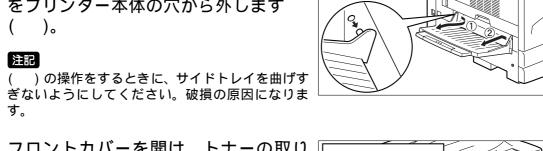
⚠警告

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

⚠注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

3 **サイドトレイを右に押しながら、左側の突起部をプリンター本体の穴から外します (①)。そのあと、右側の突起部をプリンター本体の穴から外します (②)。**

注記

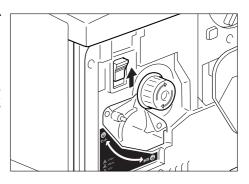
(①) の操作をするときに、サイドトレイを曲げすぎないようにしてください。破損の原因になります。

4 **フロントカバーを開け、トナーの取り出し口にあるトナーカートリッジを図の矢印の方向に回し、カートリッジ側の「●」印をプリンター側の「解除」(🔓) に合わせてから (①)、手前に引いて取り出します (②)。**

注記

トナーカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンター内部が汚れることがあります。

5 **回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで上に押し上げ、手を離します。**

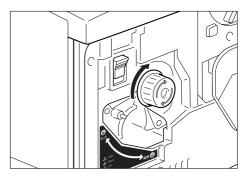
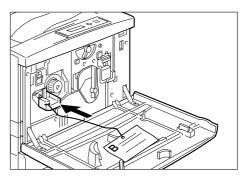
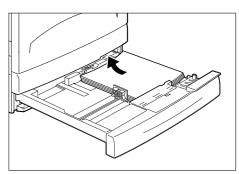
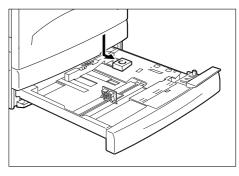
注記

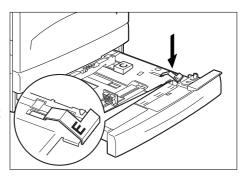
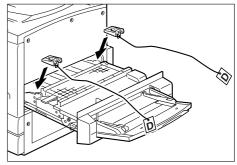
回転防止スイッチを押し上げたら、手を離してください。回転防止スイッチは、次の手順でノブを回すと自動的に下がるしくみになっています。

6 **ノブを矢印の方向に止まるまで回し、次のカートリッジを取り出し口に移動させます。そのあと、トナーカートリッジを取り出します。**

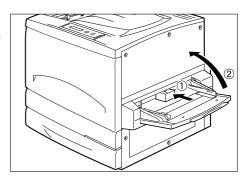
補足

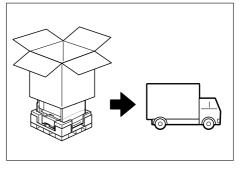
ノブを回すと、「カチッ」と音がして回転防止スイッチが下がります。

7 **手順 5 ～ 6 の操作を繰り返し、トナーカートリッジを 4 本とも取り外します。**

8 **回転防止用スペーサー (B) をトナーの取り出し口に取り付け、フロントカバーを閉じます。**

9 **用紙トレイから用紙を取り出し、湿気やホコリのない場所に保管します。**

10 **図の位置にスペーサー (C) を取り付けます。**

11 **図の位置にスペーサー（E）を取り付けます。そのあと、用紙トレイをプリンターの奥までしっかり押し込みます。**

注記
用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

12 **ユニット C を止まるまでゆっくり引き出し、図の位置にスペーサー（D）を取り付けます。そのあと、ユニット C をプリンターの奥までしっかり押し込みます。**

13 **図の位置にスペーサー（F）を取り付け（①）、手差しトレイを折りたたみます（②）。**

移動のためのお客様の作業は、これで終了です。

14 **プリンターを傷つけないように梱包し、運搬してください。**

注記
このプリンターは重量物であるため、プリンターの持ち運びは、重量物運搬取り扱い業者に、必ず依頼してください。

9.8.3　プリンターの設置場所についての注意

移動先の設置場所は、プリンターを安全かつ快適にご利用いただくために、次の点に注意して決めてください。

次のような場所に設置してください

- **水平で安定した場所**
- **風とおしのよい場所**
- **温度 10 ～ 32 ℃、湿度 15 ～ 85%(結露がないこと)**
  温度が 32 ℃のときは湿度 65% 以下、湿度が 85% のときは温度 28 ℃以下でお使いください。

補足

冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めたり、温度や湿度の低いところから高いところにプリンターを移動したりすると、プリンター内部に水滴が付着し (結露)、印字品質が低下することがあります。結露が生じた場合には、1 時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。

電源コンセントは本機専用にお使いください

1 つの電源コンセントをプリンター専用にしてください。複写機やエアコンなど消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントから電源を取ると、電圧降下によるコンピューターの誤作動、データ消失のおそれがあります。

⚠警告

電源プラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は、100V 、11A となっています。

次のような場所への設置は避けてください

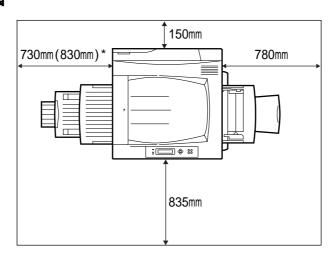
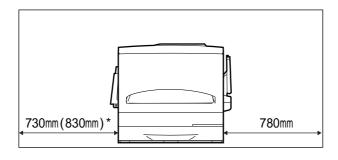
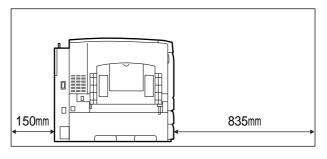
- 直射日光の当たる場所
- 冷暖房器具に近い場所
- 風が直接当たる場所
- 振動のある場所
- ホコリやチリの多い場所
- 火気に近い場所
- 水気のある場所
- 磁力の影響がある場所
- 温度 / 湿度の変化が激しい場所

超音波加湿器をご使用になる場合は

超音波加湿器に水道水や井戸水を使用すると、水中の不純物が大気中に放出され、プリンターの内部に付着して印刷画質低下の原因になります。超音波加湿器をご使用になる場合は、不純物を含まない水を使用してください。

下図の設置スペースを確保してください

> ⚠注意
> **プリンターの側面および背面には通気口があります。プリンターは壁から150㎜以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、プリンターの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンターを正しく使用し、プリンターの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。**

■上面図

■正面図

■側面図

*（ ）内は、オプションの両面印刷モジュールを取り付けた場合です。

9.9 階調を補正する

印刷画質の色階調がずれた場合に、簡易的に階調を補正することができます。
補正は、「階調補正チャート」を印刷して、オプションの「階調補正用色見本」と濃度を比較し濃度設定値を求め、プリンターに設定値を入力して行います。
C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）各色の低濃度（L）/ 中濃度（M）/ 高濃度（H）を調整することができます。
階調補正をしたあと、濃度設定値を初期値（工場出荷時の値）に戻すときは、すべての値を「0」に設定してください。「0」にすると印刷時に階調補正は働きません。

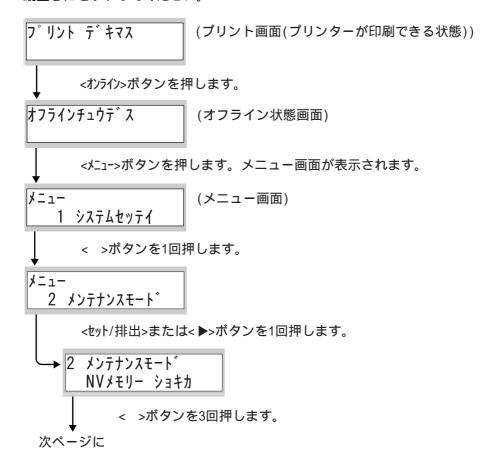
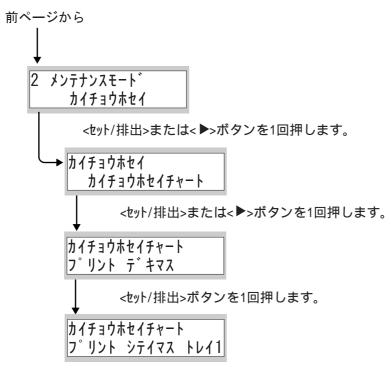
補足

- 階調補正をしても色階調がたびたびずれるような場合は、プリンターサポートデスクにお問い合わせください。
- 濃度設定値を工場出荷時の値（すべて「0」）にしても、設置時の画質に戻るということではありません。お使いの期間が長くなると、プリンターの経時変化、環境変化、印刷枚数などの影響によって、設置時の画質とは異なります。

チャートの印刷

操作パネルを使用して、階調補正チャートを印刷します。

補足

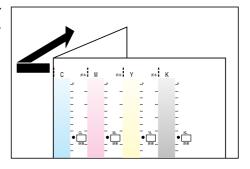
階調補正チャートは、A4 サイズ縦の用紙に印刷されます。用紙トレイに A4 サイズの用紙を縦置きにセットしてください。

設定値の決め方

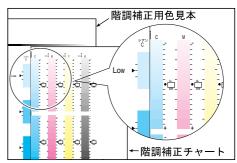
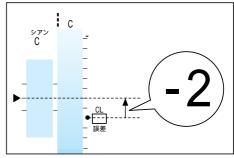
濃度設定値は、印刷した階調補正チャートとオプションの「階調補正用色見本」の濃度を比較して求めます。
階調補正チャートの補正パッチから、色見本の濃度に近いものを探します。設定範囲は、-9 ～ +9 の 19 段階です。
階調補正用色見本に記載されている手順もあわせてごらんください。

補足

工場出荷時の濃度設定値はすべて「0」です。

操作手順

1 **印刷した階調補正チャートを、補正する色の上下のガイド（点線）に沿って山折りにします。**

2 チャートの補正する濃度を、色見本の同じ濃度の場所に合わせます。

右の図は、低濃度（L）を補正する場合です。

3 色見本の「▶」印にチャートの同じ濃度の部分が来るように、チャートを上下にずらします。同じ濃度の部分が決まったら、チャートの「・」印と色見本の「▶」印との誤差を目盛りから読み取ります。

注記

マイナス（-）とプラス（+）の方向に注意して読み取ってください。

補足

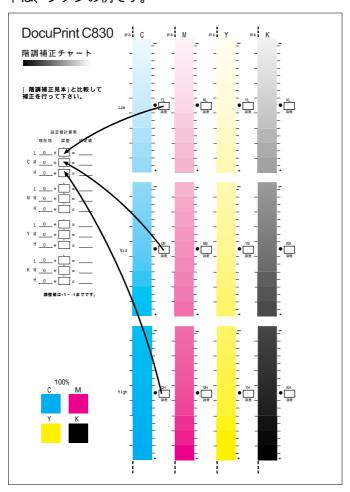
- 階調補正チャートの補正パッチは、2 目盛り単位で濃度を変えています。見本が、パッチの色と色の中間の濃度だった場合は、境界線の目盛り（右の例では -1）を読み取ってください。
- 見本が、もっとも薄いパッチよりも薄い濃度だった場合は -9 を、もっとも濃いパッチよりも濃い濃度だった場合は +9 を設定してください。

4 該当する「誤差」ボックスに、誤差を記入します。

5 同じ色の、ほかの 2 つの濃度も、同様に誤差を読み取ります。

6 同様に CMYK の残りの色に対して手順 1 ～ 5 を繰り返して、誤差を読み取ります。

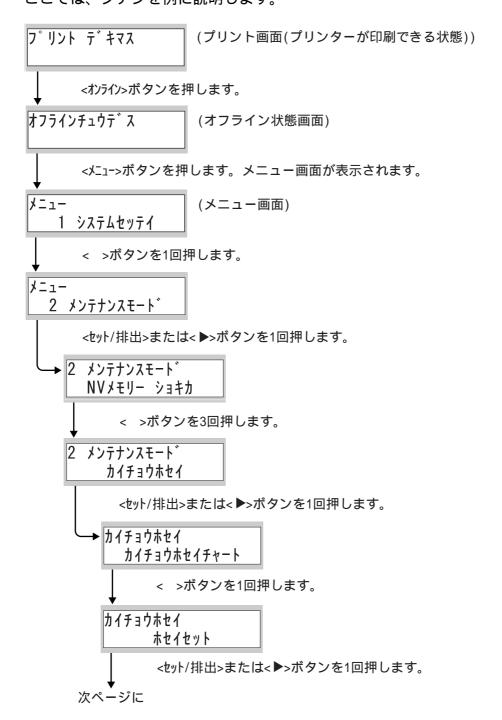
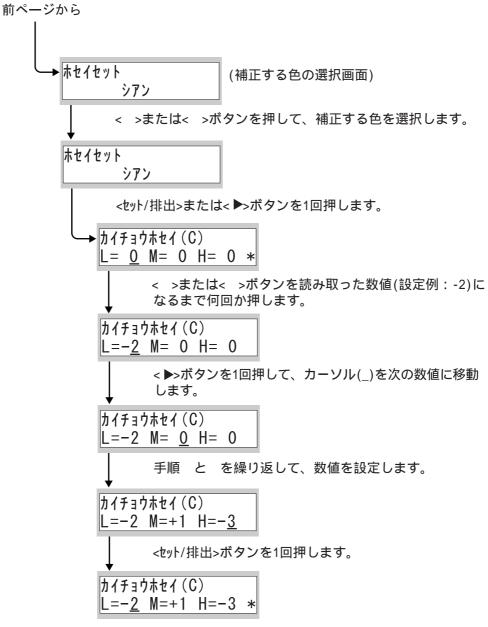
7 すべての色の濃度誤差を記入したら、チャートの左側にある「設定値計算表」の「誤差」の該当する箇所に書き写します。

下は、シアンの例です。

8 計算表の式に従って設定値を求め、「設定値」に記入します。

補足

- 「現在値」は、前回の補正時に入力した値です。
- 設定値として設定できる範囲は、-9 ～ +9 です。計算した結果、-9 よりも小さい場合は -9 に、+9 よりも大きい場合は +9 にしてください。

設定値の入力

階調補正チャートの「設定値」に記入した濃度設定値を、操作パネルを使ってプリンターに入力し、補正します。
ここでは、シアンを例に説明します。

次ページに

補正の結果を確認するには、「チャートの印刷」を参照して、階調補正チャートを印刷します。
チャートで CMYK それぞれの低 / 中 / 高濃度の「・」印の濃度が、該当する色見本の濃度に近いことを確認します。結果に満足できないときは、再度補正を行います。

付　録

A オプション品と消耗品の紹介

本プリンターでは、次のようなオプションと消耗品を用意しています。商品のご注文は、プリンターを購入した販売店にご連絡ください。

A.1 オプション品

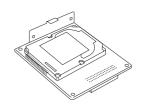
増設メモリー (64/128MB)

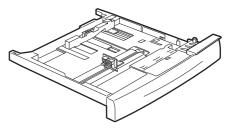
複雑なグラフィックを含むような、データ量の多いカラーデータを印刷する場合は、プリンターに増設メモリーの追加が必要なときがあります。
プリンターに取り付けられる増設メモリーの仕様は次のとおりです。

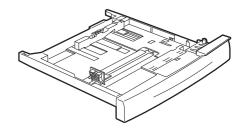
• 168 ピン DIMM SDRAM

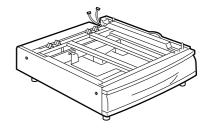
取り付け方については、「1.7.3 増設メモリーを取り付ける」を参照してください。
< 商品コード >
64MB ：E3300016
128MB ：E3300017

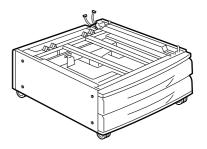
ハードディスク < 商品コード :EL300067>

ハードディスクを取り付けると、複数部数の文書を高速に、1 部ごとにソートをして印刷できます。
取り付け方については、「1.7.2 ハードディスクを取り付ける」を参照してください。

250 枚ユニバーサルトレイ < 商品コード :E3300006>

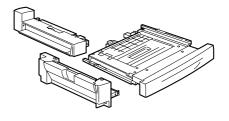
プリンターに標準で付いている 250 枚ユニバーサルトレイと同じものです。用紙トレイだけで、購入できます。
標準の用紙トレイと交換する方法については、「5.3 トレイ 1 をオプションの用紙トレイと入れ替えて使用する」を参照してください。

特 A3 トレイ < 商品コード :E3300007>

プリンターに標準のトレイ1と入れ替えて利用できます。このトレイには、328 × 435㎜の用紙を最大 250 枚までセットできます。
標準の用紙トレイと交換する方法については、「5.3 トレイ 1 をオプションの用紙トレイと入れ替えて使用する」を参照してください。

トレイモジュール (1 段)< 商品コード :Q3300006>

1 段のオプショントレイです。トレイには、用紙 (標準紙の場合) を 500 枚セットできます。プリンター本体に取り付けて、トレイ 2 として利用できます。
取り付け方については、トレイモジュール (1 段) に付属の説明書を参照してください。

トレイモジュール (2 段)< 商品コード :Q3300005>

用紙トレイが2段組みになったオプショントレイです。それぞれのトレイに用紙 (標準紙の場合) を 500 枚ずつ、最大 1,000 枚までセットできます。プリンター本体に取り付けて、トレイ 2、トレイ 3 として利用できます。
取り付け方については、トレイモジュール (2 段) に付属の説明書を参照してください。

両面印刷モジュール < 商品コード :E3300015>

両面印刷モジュールを取り付けると、複数ページの文書を用紙の両面に印刷できます。
取り付け方については、両面印刷モジュールに付属の説明書を参照してください。

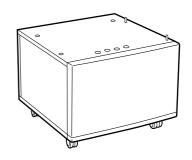
付録

コンテンツブリッジ拡張キット < 商品コード :EL300155>

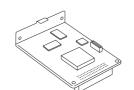
コンテンツブリッジ拡張キットをインターフェイスボードに取り付けることによって、PDF ダイレクトプリント時に、LZW 圧縮を使用したオブジェクトを含む PDF ファイルの出力と、プロポーショナルフォントを使用した出力が可能になります。

専用キャビネット < 商品コード :WQ25>

プリンター本体をキャビネットの上に置いて使用できます。取り付け方については、付属の説明書を参照してください。

注記

オプションのトレイモジュール(1段)/(2段)を取り付けている場合、キャビネットの上に置くことはできません。

ネットワーク拡張カード < 商品コード :EL300065>

本プリンターには TCP/IP に対応したネットワーク機能があります。NetWare や SMB、EtherTalk のネットワーク環境でも印刷できるようにするためには、ネットワーク拡張カードをプリンターに取り付けます。
取り付け方については、「1.7.1 ネットワーク拡張カードを取り付ける」を参照してください。また、プリンターのネットワーク環境の設定方法については、「2.1 使用環境を設定する」または『ネットワークガイド』を参照してください。

パラレルケーブル

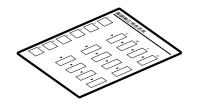
次のパラレルケーブルをオプションとして用意しています。
コンピューターに合ったものを使用してください。

- **パラレルインターフェイスケーブル (PC98 用 36Pin) < 商品コード :VD14>**
- **パラレルインターフェイスケーブル (PC/AT 用) < 商品コード :VD15>**
- **PC98MATE 用接続ケーブル < 商品コード :YH57>**

転倒防止キット

転倒を防止するために、プリンターに取り付けることができます。
< 商品コード >
転倒防止キット 1：E3300010
転倒防止キット 2：E3300011
転倒防止キット 3：E3300012

階調補正用色見本 < 商品コード :E3300018>

階調を補正するときに使用する色見本です。プリンターから印刷した階調補正チャートと、この見本の濃度を比較して濃度設定値を求め、プリンターに設定値を入力して補正します。

A.2　消耗品

トナーカートリッジ

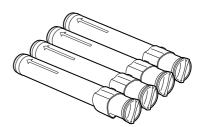
ブラック、イエロー、シアン、マゼンタの 4 種類があります。取り付け方については、「9.1.2 トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

< 商品コード >

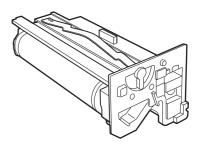
ブラック ：CT200013

イエロー ：CT200016

シアン ：CT200014

マゼンタ ：CT200015

ドラムカートリッジ < 商品コード :CT350101>

ドラムカートリッジは、感光体、ドラムクリーナー、トナー回収カートリッジで構成されています。

取り付け方については、「9.2.2 ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。

トナー回収カートリッジ < 商品コード :E430>

トナー回収カートリッジは、ドラムカートリッジに付属しているので、ドラムカートリッジを交換すれば必ず新品と交換されますが、単体でも交換できます。

取り付け方については、「9.3.2 トナー回収カートリッジを交換する」を参照してください。

操作パネルメニュー一覧

- ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ　ﾌﾟﾘﾝﾄ画面
  - <ｵﾝﾗｲﾝ>ﾎﾞﾀﾝ
- ｵﾌﾗｲﾝﾁｭｳﾃﾞｽ　ｵﾌﾗｲﾝ状態画面
  - <ﾒﾆｭｰ>ﾎﾞﾀﾝ

補足

メニュー画面では、下段に表示される内容を記載します。

ﾒﾆｭｰ画面

- 1 ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲ
  - ｾｯﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞｲｺｳｼﾞｶﾝ
    - ﾓｰﾄﾞ1 ｲｺｳｼﾞｶﾝ
      - 15ﾌﾝｺﾞ ＊
      - 範囲：1～120ﾌﾝｺﾞ
    - ﾓｰﾄﾞ2 ｲｺｳｼﾞｶﾝ
      - 15ﾌﾝｺﾞ ＊
      - 範囲：5～120ﾌﾝｺﾞ
  - ｾｯﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ
    - ﾓｰﾄﾞ1
      - ﾕｳｺｳ＊
      - ﾑｺｳ
    - ﾓｰﾄﾞ2
      - ﾕｳｺｳ＊
      - ﾑｺｳ
  - ﾌﾟﾘﾝﾄ ｹｲｺｸｵﾝ
    - ｽﾙ ＊
    - ｼﾅｲ
  - ｼﾞｮﾌﾞﾀｲﾑｱｳﾄ
    - 300ﾋﾞｮｳ ＊
    - 範囲：ｵﾌ、5～300ﾋﾞｮｳ
  - ﾊﾟﾈﾙﾋｮｳｼﾞｹﾞﾝｺﾞ
    - ﾆﾎﾝｺﾞ ＊
    - ｴｲｺﾞ
  - ﾘﾚｷﾉ ｼﾞﾄﾞｳﾌﾟﾘﾝﾄ
    - ｽﾙ
    - ｼﾅｲ ＊
  - ID ﾌﾟﾘﾝﾄ
    - ｼﾅｲ ＊
    - ﾋﾀﾞﾘｳｴ
    - ﾐｷﾞｳｴ
    - ﾋﾀﾞﾘｼﾀ
    - ﾐｷﾞｼﾀ
  - ﾃｷｽﾄ ｲﾝｻﾂ
    - ｽﾙ
    - ｼﾅｲ ＊
- 2 ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾓｰﾄﾞ
  - NVﾒﾓﾘｰ ｼｮｷｶ
    - ｼｮｷｶ ﾃﾞｷﾏｽ
      - ﾊｲ　ｲｲｴ
  - ﾃﾝｼｬﾃﾞﾝｱﾂﾁｮｳｾｲ
    - ﾌﾂｳｼ
    - OHPﾌｨﾙﾑ
    - ｱﾂｶﾞﾐ
    - ﾗﾍﾞﾙｼ
    - ｺｰﾄｼ
    - ﾌｳﾄｳ
    - ﾊｶﾞｷ
      - 0 ＊
      - 範囲：-2～7
  - ｾｷｭﾘﾃｨ
    - ﾊﾟﾈﾙｾｯﾃｲﾎｺﾞ
      - ｽﾙ
      - ｼﾅｲ ＊
    - ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞﾍﾝｺｳ

次ページに

次ページに

・ 記号について

▲▼◀▶	<▲> <▼> <◀> <▶>ボタンを押します。	<▲> <▼>ボタンは、同階層内でメニューや項目を切り替えます。<▲>ボタンを押すと1つ前、<▼>ボタンを押すと1つあとのメニューや項目が表示されます。 <◀> <▶>ボタンは、メニューの階層を切り替えたり、設定値のカーソル(_)を左右に移動したりします。 メニューで<▶>ボタンを押すと1つ下の階層に移り、<◀>ボタンを押すと1つ上の階層に戻ります。
(セ)	<ｾｯﾄ/排出>ボタンを押します。	１つ下の階層に移ります。または、設定を確定します(設定した値には「*」が付きます)。

・ <取り消し/ﾌﾟﾘﾝﾄ中止>ボタンを押しても、1つ上の階層に戻ることができます。
・ メニュー画面を終了するには、<ｵﾝﾗｲﾝ>ボタンを押します。
・ 「*」および「_」は、工場出荷時の設定値です。

付録

前ページから

TCP/IP
- IPｱﾄﾞﾚｽｾｯﾄｱｯﾌﾟ
  - DHCP *
  - ﾊﾟﾈﾙ
- IPｱﾄﾞﾚｽ
  - 000.000.000.000*
  - 数値選択、カーソル移動
- ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
  - 000.000.000.000*
  - 数値選択、カーソル移動
- ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
  - 000.000.000.000*
  - 数値選択、カーソル移動

IPXﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ
- ｼﾞﾄﾞｳ *
- 802.3
- 802.2
- SNAP
- Ethernet-Ⅱ

補足

は、オプションのネットワーク拡張カードを取り付けた場合だけ、表示されます。

ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
- LPD
- Port9100
- IPP
- SMB TCP/IP
- SMB NetBEUI
- NetWare
- EtherTalk
- FTP
- SNMP UDP/IP
- SNMP IPX
- Status Messenger
- Eﾒｰﾙﾌﾟﾘﾝﾄ
- InternetServices
  - ｷﾄﾞｳ *
  - ﾃｲｼ

FTP、Status Messenger、Eﾒｰﾙﾌﾟﾘﾝﾄは、ﾃｲｼ

ｼﾞｭｼﾝｾｲｹﾞﾝ
- ﾌｨﾙﾀ1 ｱﾄﾞﾚｽ
- ﾌｨﾙﾀ1 ﾏｽｸ
- ﾌｨﾙﾀ1 ﾓｰﾄﾞ
- ﾌｨﾙﾀ2 ｱﾄﾞﾚｽ
- ﾌｨﾙﾀ2 ﾏｽｸ
- ﾌｨﾙﾀ2 ﾓｰﾄﾞ
- ﾌｨﾙﾀ3 ｱﾄﾞﾚｽ
- ﾌｨﾙﾀ3 ﾏｽｸ
- ﾌｨﾙﾀ3 ﾓｰﾄﾞ
- ﾌｨﾙﾀ4 ｱﾄﾞﾚｽ
- ﾌｨﾙﾀ4 ﾏｽｸ
- ﾌｨﾙﾀ4 ﾓｰﾄﾞ
- ﾌｨﾙﾀ5 ｱﾄﾞﾚｽ
- ﾌｨﾙﾀ5 ﾏｽｸ
- ﾌｨﾙﾀ5 ﾓｰﾄﾞ

ｱﾄﾞﾚｽ、ﾏｽｸ選択時
- 000.000.000.000*
- 数値選択、カーソル移動

ﾓｰﾄﾞ選択時
- ｼﾅｲ *
- ｷｮﾋ
- ｷｮｶ

NVﾒﾓﾘｰ ｼｮｷｶ
- ｼｮｷｶ ﾃﾞｷﾏｽ
  - ﾊｲ ｲｲｴ

付録

「5 ﾈｯﾄﾜｰｸ」から

- 6 PDF Bridge
  - ﾘｮｳﾒﾝ
    - ｼﾅｲ ＊
    - ﾁｮｳﾍﾝﾄｼﾞ
    - ﾀﾝﾍﾟﾝﾄｼﾞ
  - ﾌﾞｽｳ
    - 1ﾌﾞ ＊
    - 範囲：1～999ﾌﾞ
  - ｿｰﾄ
    - ｵﾌ ＊
    - ｵﾝ
  - ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
  - ﾚｲｱｳﾄ
    - ｼﾞﾄﾞｳﾊﾞｲﾘﾂ ＊
    - 100%(ﾄｳﾊﾞｲ)
    - ｶﾀﾛｸﾞ
    - 2ｱｯﾌﾟ
    - 4ｱｯﾌﾟ
  - ﾖｳｼｻｲｽﾞ
    - A4 ＊
    - ｼﾞﾄﾞｳ
  - ﾖｳｼｼｭﾙｲ
    - ﾌﾂｳｼ ＊
    - OHPﾌｨﾙﾑ
    - ｱﾂｶﾞﾐ
    - ｺｰﾄｼ
  - ｲﾝｻﾂﾓｰﾄﾞ
    - ｺｳｿｸ
    - ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ＊
    - ｺｳｶﾞｼﾂ
  - ｶﾗｰﾓｰﾄﾞ
    - ｶﾗｰ(ｼﾞﾄﾞｳ) ＊
    - ｼﾛｸﾛ

「1 ｼｽﾃﾑｾｯﾃｲ」に

付録

C 製品情報の入手方法

インターネットのホームページでは、次の情報を提供しています。

- 製品の最新情報
- 最新ソフトウェア（インターネットホームページだけ）
- 推奨アプリケーション
- アプリケーションの制限事項

URL
http://www.fujixerox.co.jp/

注記
通信費用はお客様の負担になります。ご了承ください。

商品紹介やサービス情報などを
紹介する富士ゼロックスのホームページ
(2002 年 8 月 20 日現在）

主な仕様

D.1 プリンターの仕様

項目		仕様
形式		デスクトップタイプ
プリント方式		レーザーゼログラフィ方式
解像度		600dots/25.4㎜ (600dpi)
階調		各色 256 階調 (1,670 万色)
プリント速度	カラー	8 枚 / 分 (*1)
	モノクロ	35 枚 / 分 (*1)
用紙サイズ		A5、B5、A4、B4、A3、8.5 × 11"(レター)、 8.5 × 14"(リーガル)、11 × 17"、12 × 18"、328 × 453㎜
用紙種類	給紙トレイ	普通紙 (64 ～ 105g/㎡)
	手差しトレイ	普通紙 / 厚紙 (64 ～ 220g/㎡)、OHP フィルム (XEROX FILM < 枠なし >)、はがき (*)、封筒 (*)、ラベル用紙、コート紙、専用光沢紙 (*) はがきや封筒については、紙質、サイズによって使用できないものもあります。
給紙容量 (標準紙)	給紙トレイ	標準：(トレイ 1) 250 枚 オプション： 特 A3 トレイ (トレイ 1) 250 枚、 トレイモジュール (2 段)(トレイ 2、3) 500 枚× 2、 トレイモジュール (1 段)(トレイ 2) 500 枚
	手差しトレイ	150 枚
排紙容量	センタートレイ	250 枚 (B5 以上、普通紙、質量 105g/㎡ 以下)
	サイドトレイ	150 枚 (A4 以下)、50 枚 (A4 を超える場合)
メモリー容量		標準：64Mbyte(オプション増設により最大 256Mbyte) オプション：64、128Mbyte 増設メモリー (メモリー用スロットは 2 スロット)
搭載フォント	日本語 (2 書体)	平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5 (文字コード JIS X0208-1990 準拠)
	欧文 (13 書体)	CS Triumvirate Regular、CS Triumvirate Bold、 CS Triumvirate Italic、CS Triumvirate Bold Italic、 CS Courier Medium、CS Courier Bold、CS Courier Oblique、 CS Courier Bold Oblique、CS Times Roman、CS Times Bold、 CS Times Italic、CS Times Bold Italic、CS Symbol
PDL		XPL2

(*1) A4 ヨコ同一原稿連続プリント時。画質調整ならびに、用紙の種類およびプリント条件によって印字速度が低下する場合があります。

プリンタードライバー対応 OS	Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me、 Windows NT® 4.0(ServicePack 4 以上)、Windows® 2000、 Windows® XP、Mac OS 8.1 〜 9.2.2 (USB 接続時は、Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、MacOS 8.6 〜 9.2.2 に対応。ただし、USB 対応機器すべての動作を保証するものではありません。)
インターフェイス	双方向パラレル (IEEE1284 準拠) USB 1.1 Ethernet 100BASE-TX/10BASE-T(TCP/IP)(*) (*) オプションのネットワーク拡張カード増設により、対応プロトコルを追加可能
稼動音	稼動時：6.8B 以下、待機時：5.0B 以下
使用電源	100/120V ± 10%(90 〜 135V)、50/60Hz ± 3Hz
消費電力 (*2)	最大：1,050W 以下 カラー連続プリント時平均　：404W モノクロ連続プリント時平均　：621W 節電時 (モード 2)：20W 以下
機械の大きさ / 質量	大きさ：650(W)(*) × 647(D) × 556(H)mm 質量：69kg (*) 手差しトレイ、サイドトレイを折りたたんだ状態

(*2) 本製品は、電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。

D.2 ネットワークの仕様

共通仕様

対応規格	Ethernet Ver.2.0 IEEE 802.3
ネットワークプロトコル	TCP/IP、SMB(*)、IPX/SPX(NetWare)(*)、AppleTalk(EtherTalk)(*)
インターフェイス	100BASE-TX、10BASE-T

TCP/IP 対応仕様

対応 OS	Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me、Windows NT® 4.0、Windows® 2000、Windows® XP
フレームタイプ	Ethernet_II(Ethernet II)
プリントプロトコル	LPD(LPR)、Port9100(Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP の場合に有効)、IPP(Windows Me、Windows 2000、Windows XP の場合に有効)、SMTP/POP3
マネージメントプロトコル	http、SNMP、SMTP/POP3

SMB 対応仕様 (*)

対応 OS	Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP
プリントプロトコル	SMB(TCP/IP)、SMB(NetBEUI)(*) (*) Windows XP では、サポートされていません。

NetWare 対応仕様 (*)

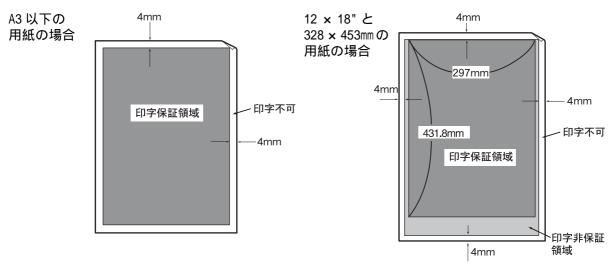
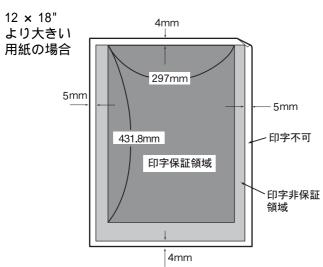
ネットワーク OS	NetWare 3.12J/3.2J/4.1J/4.11J/4.2J/5J
フレームタイプ	Ethernet_II(Ethernet II)、Ethernet_802.3(IEEE 802.3) Ethernet_802.2(IEEE 802.2)、 Ethernet_SNAP(IEEE 802.1 SNAP)
プリントプロトコル	プリントサーバーモード リモートプリンターモード
マネージメントプロトコル	SNMP

EtherTalk 対応仕様 (*)

対応 OS	Mac OS 8.1 〜 9.2.2
フレームタイプ	Ethernet_SNAP(IEEE 802.1 SNAP)
プリンタータイプ	XPL2

(*) オプションのネットワーク拡張カードが必要です。

付録

D.3　印字保証領域について

- 「印字保証領域」とは、本プリンターとして品質保証している印字領域です。
- 「印字不可」とは、印字できない領域です。
- 「印字非保証領域」とは、印字はできるが、忠実に色を再現するところまでは保証していない領域です。

消耗品の寿命

消耗品の寿命（印字可能ページ数）

消耗品名	印刷可能ページ数 (*)
ブラックトナーカートリッジ	約 5,500 ページ
イエロートナーカートリッジ	約 6,000 ページ
マゼンタトナーカートリッジ	約 6,000 ページ
シアントナーカートリッジ	約 6,000 ページ
ドラムカートリッジ （トナー回収カートリッジを含む）	約 20,000 ページ

(*) A4 ヨコサイズ、5% 印字比率連続印刷時。なお、実際の交換サイクルは、印刷条件や原稿の内容によって異なります。
また、本体の電源の ON/OFF に伴う初期化動作やプリント品質維持のための調整動作等により枚数は異なります。

※ 弊社は、消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 7 年間保有しています。

F 注意 / 制限事項

本プリンターを使用して印刷するうえでの、注意 / 制限事項について説明します。

解像度に関する注意と制限

項目	使用環境	説明
オブジェクトに設定されたパターンの一部が薄く印刷される	Windows 2000/ Publisher2000	プリンタードライバーで [おすすめ画質タイプ] が [速度優先] に設定されていると、このような症状が起こることがあります。 [おすすめ画質タイプ] を [画質優先] に設定して印刷してください。正しく印刷される場合があります。
文字がかすれたり、線が途切れたりする。 滑らかに印刷されない。	Windows 98/ Adobe Illustrator 9.02	
円や斜線が滑らかに印刷されない	Windows 98/ Adobe PageMaker 6.53	
文書作成時と異なった箇所で改行、または改ページが行われる	Windows/Microsoft Excel	
円がギザギザに印刷される	Mac OS 9.1/ ファイルメーカー Pro 5.0	
グラフィックスの一部が白く抜ける	Windows 2000/ Adobe Acrobat Reader 5.0	
グラデーションが設定されたグラフの壁面部分に不要な線が印刷される	Windows 98/ Adobe Acrobat Reader 5.0	
透過部分が塗りつぶされて印刷される		
文字がかすれたり、文字の太さにばらつきがある		
細線に設定された矢印の両端が印刷されない	Windows 2000/ Microsoft Excel 2002	
ページ罫線が正しく印刷されない	Windows/ Microsoft Word	
表罫線上に不要な点が印刷される	Windows NT/ Microsoft Word	
文字が表からはみ出して印刷される	Windows 98/VISIO 2000	[スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。 表示されたウィンドウ内にある、本プリンターのプリンターアイコンから、プロパティダイアログボックスを開き、[おすすめ画質タイプ] を [画質優先] に設定してください。

画質に関する注意と制限

項目	使用環境	説明
オブジェクトに設定されたグラデーションの一部が白く抜ける	-	プリンタードライバーで [おすすめ画質タイプ] を [プレゼンモード] に設定して印刷してください。正しく印刷される場合があります。
低温で長時間 (一昼夜など) おかれたあとで印刷すると、出力した数枚にしみのようなものが発生する	-	電源を入れ、15 分ほど待って機械が十分温まってから印刷してください。 または、開封直後の新しい用紙に印刷してください。
うら面 (両面印刷時) の塗りつぶし部分がもやもやした状態になる	-	使用している用紙によって、低温環境で印刷した場合、このような症状が発生することがあります。 J 紙を使用してください。
ハーフトーンの中に同系色の濃い色があると、その色の周りが正しく印刷されない	-	プリンタードライバーで [おすすめ画質タイプ] を [プレゼンモード] に設定すると、正しく印刷される場合があります。
文字などの一部に濃度の薄い部分がでることがある	-	J 紙などの上質な用紙を使用すると、目立たなくなることがあります。
特 A3 サイズの用紙に印刷した場合、用紙の端が汚れる	-	印字保証領域外に多くの印字を行うと、用紙の端が汚れたようになることがあります。

縮小印刷に関する注意と制限

項目	使用環境	説明
縮小印刷を行うとパターンが正しく印刷されない	Windows 2000/ Microsoft Word 2002	縮小処理によって、線が途切れる、パターンが擦れる、つぶれるなどの症状が発生することがあります。
N アップ機能や画像繰り返し機能を使って印刷をすると、線の一部が消える	-	

禁則処理に関する注意と制限

項目	使用環境	説明
A5 サイズの文書の場合、出力用紙サイズを A4 サイズに設定して印刷指示をすると、印刷できない	Windows/DocuWorks 4.0	A5 サイズの用紙は、トレイ 1 〜 3 から給紙できないため、手差しトレイが選択されていないと【プリントシジハ ムコウデス】のメッセージが表示されて印刷できません。印刷時にプリンタードライバーで [出力用紙サイズ] や [用紙トレイ選択] を正しく設定してください。

その他の注意と制限

項目	使用環境	説明
DocuPrint C620 とプリンタードライバーを共存できない	Mac OS	Ver.3.3.2 以前の C620 プリンタードライバーをインストールして、C830 と同一 Macintosh 上で共存させると、C830 が正常に動作しないことがあります。 Ver.3.3.3 以降の C620 プリンタードライバーでは、このような問題は発生しません。C830 に同梱されている CD-ROM 内に格納されている、Ver.3.3.3 以降の C620 プリンタードライバーを使用してください。
[自動モードのあいまい判定] をオンにし、画質調整で [緑] を [-100] に設定して印刷するとページ全体がピンク色になる	-	[自動モードのあいまい判定] をオンにした状態で画質調整機能を使用すると、モノクロのオブジェクトもカラーとして画質調整されます。 [自動モードのあいまい判定] をオフにすると、モノクロのオブジェクトは画質調整されません。
A5 やはがきなどの用紙にバナーシートを付けて印刷すると、バナータイトルやファイル名などの一部が欠ける	Windows Mac OS	A5 やはがきなどの用紙の場合、バナーシートを付ける設定をして印刷すると、用紙が小さいため、バナータイトルやファイル名などの一部が欠けることがあります。 バナーシートを印刷する場合は、A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
TCP/IP Direct Print Utility を使って印刷する場合のポートの IP アドレスについて	Windows 98	TCP/IP Direct Print Utility を使ってポートの IP アドレスを設定する場合、256 以上の数値を入力すると、プリンター内部で別の数値に変換され、その結果、間違った IP アドレスが設定される場合があります。 256 以上の数値は使用しないでください。

項目	使用環境	説明
TCP/IP Direct Print Utilityを使ってPort9100で印刷する場合のポート番号について	Windows 95/98/Me	TCP/IP Direct Print Utilityを使ってPort 9100のポートを設定する場合、正しくない数値を入力してもエラーメッセージが表示されません。 入力した値は無視され、自動的に「9100」になります。
用紙の先端まで高密度の画像を印刷しようとすると、紙づまりが発生する	-	用紙の先端に、確実に4㎜以上の余白ができるように、余白を調整してください。
トナーカートリッジの交換を促すメッセージが表示されたあと、すぐに機械が停止する	-	トナーカートリッジの交換を促すメッセージが表示されたら、早めに新しいカートリッジを用意し、交換してください。画像密度が高い文書を印刷するなど、使用条件によっては、このメッセージが表示されたあと、数枚から数十枚出力したところで機械が停止します。
画像密度が高い白黒印字が続いた場合、印刷終了後も機械がしばらく動作する	-	トナーの量を調整しています。 故障ではありません。しばらくお待ちください。
新しいトナーカートリッジに交換後、しばらく機械が動作して印字できない	-	
操作パネルに【プリントデキマス】と表示されているときに、約1分に1回、短い小さな動作音がする	-	フューザーが回転している音です。故障ではありません。
FTPでの出力について	-	FTPでの出力は、PDFダイレクトプリント機能を使用して印刷するときだけ可能です。
PDFダイレクトプリント機能を使用する場合	-	PDFダイレクトプリント機能を使用する場合は、増設メモリー(オプション)の追加が必要です。

付録

用語解説

【10BASE-T】
IEEE802.3 の規格の中で、10Mbps、ベースバンド、ツイストペアケーブルのことです。

【100BASE-TX】
10BASE-T の拡張版で､FastEthernet(ファーストイーサネット) とも呼ばれるものの1つです。通信速度が 100Mbps で、10BASE-T の 10Mbps から大幅に高速になっています。

【Ack 信号】
プリンターがコンピューターに対して、受信の準備ができていること、あるいはデータを正しく受信したことを表す信号です。

【AppleTalk】
Macintosh 専用のネットワークソフトウェアです。通信プロトコルには、LocalTalk、EtherTalk などがあります。

【Busy 信号】
プリンターがコンピューターに対して、受信不可能な状態であることを示す信号です。

【CD-ROM】
コンパクトディスク (CD) にコンピューター用ソフトウェアや画像などのデータを記録したものです。

【DHCP】
Dynamic Host Configuration Protocolの略で､DHCP サーバーから DHCP クライアントに IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。

【DNS】
Domain Name System の略で、インターネットでホスト名から IP アドレスを入手するための名前解決サービスです。

【dpi】
Dot Per Inch の略で､1 インチ (約 25.4mm) 幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使用します。

【EtherTalk】
Macintosh 専用のネットワークソフトウェア「AppleTalk」の通信プロトコルの一つです。

【FTP】
File Transfer Protocol の略で、TCP/IP 環境でファイルやデータを送受信するためのプロトコルです。

【HTTP】
インターネット上で WWW サーバーと通信をするためのプロトコルのことです。

【IPP】
HTTP を使用して印刷するためのプロトコルです。

【IP アドレス】
TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレスです。小数点で区切られた４つの数値 (10 進数) で表します。

【Java】
米国サン・マイクロシステムズ社がインターネットのホームページ上などで機能するソフトウェアのために開発したプログラム言語の 1 つです。Java 言語で開発されたアプリケーションをアプレットと呼びます。

【NetWare®】
Novell 社が開発したネットワーク OS です。

【NetWare ファイルサーバー】
NetWare でネットワークを構築する場合に必要な専用のサーバーのことです。このサーバー上では、サーバーソフトウェアを、クライアントコンピューターではクライアント用ソフトウェアを組み込んで実行します。

【NV メモリー】
Non-Volatile Random Access メモリーの略で、電源を切っても設定内容を保持できる不揮発のメモリーです。

【N アップ】
複数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する機能です。本プリンターでは、2、4、8、16 アップ印刷ができます。

【OS】
コンピューターのハードウェアとソフトウェアの基本的な動きを制御し、管理するソフトウェアで、Operating System の略です。アプリケーションソフトウェアなどが動作するための土台となります。

【PDF ファイル】
このマニュアルでは、米国 Adobe Systems 社が開発した Acrobat というソフトウェアで作成したオンラインドキュメントを「PDF ファイル」と呼びます。PDF ファイルを画面に表示したり、印刷したりするには、Adobe Acrobat Reader というソフトウェアをコンピューターにインストールする必要があります。

【Port9100】
Windows 2000、Windows XP 上でデータを送信できる、ネットワーク通信方法です。標準 TCP/IP ポートモニタ上で使用できます。

【SDRAM】
従来よりも高速に、情報の読み出しと書き込みができる記憶装置（メモリー）です。

【SMB】
Windows ネットワーク（Microsoft ネットワーク）上でデータを送信できるネットワーク通信方法で、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP 上で使用できます。
オプションのネットワーク拡張カードのバージョン 4.22 は、Windows XP には対応していません。

【SNMP】
ネットワークに接続された機器を、ネットワークを経由して管理するプロトコルです。
管理する側には SNMP マネージャーというソフトウェアを、管理される側には SNMP エージェントというソフトウェアを組み込んで実行します。

【TCP/IP】
DARPANET(Defense Advanced Research Project Agency NetWork)で開発されたネットワークプロトコルです。インターネットの標準プロトコルであり、パーソナルコンピューターから大型コンピューターまで、さまざまな機種で使用されています。

【USB】
Universal Serial Bus の略で、コンピューターと周辺機器との間のデータ転送方式の 1 つです。「ホットプラグ」機能に対応しているので、電源を入れたままでコンピューターと周辺機器を接続できます。

【Web 画面】
このマニュアルでは、WWW ブラウザーを使用して情報を表示する画面のことを、「Web 画面」と呼びます。

【WINS】
Windows Internet Name Services の略で、TCP/IP 環境でコンピューター名から IP アドレスを入手するための名前解決サービスです。

【WWW】
World Wide Web の略です。インターネットでホームページを提供するしくみのことです。

【アドレス】
ネットワーク上のノード（各コンピューターや端末など）を識別するために割り当てられる情報（一意の識別子）のことです。
また、メモリーに個別に割り当てられた番地のこともアドレスと呼びます。

【アプリケーションソフトウェア】
コンピューター上で作業を行う道具となるソフトウェアのことです。ワープロ、表計算、グラフィックス、データベースなど、数多くのアプリケーションソフトウェアが販売されています。

【アンインストール】
コンピューターに組み込んだソフトウェアを削除することをいいます。

【印刷キュー（プリントキュー）】
特定のプリンターに印刷するために、コンピューターから印刷データを一時的に格納しておく場所のことです。

【インストーラー】
ソフトウェアをコンピューターにインストールするための専用ソフトウェアのことです。

【インストール】
ソフトウェアやハードウェアをコンピューターや周辺機器に組み込み、使えるようにすることです。プリンタードライバーなどのソフトウェアをコンピューターのシステムに組み込むことや、ネットワークカードをプリンターに組み込むことをいいます。
このマニュアルでは、主にコンピューターにソフトウェアを組み込むことを「インストール」と呼び、プリンターにオプションなどのハードウェアを組み込むことを「取り付け」と呼びます。

【インターフェイス】
互いに異なるシステム（系）が接触する部分を指します。コンピューターとプリンターの間、人間と機械との間などを指す場合によく使用されます。
インターフェイスの仕様、特に電気的仕様のことを単にインターフェイスということもあります。

【インターフェイスケーブル】
複数の装置を相互に接続するケーブルのことです。
プリンターとパーソナルコンピューターを直接接続するパラレルケーブル、プリンターをネットワークに接続するイーサネットケーブルなどがあります。

【オフライン】
【オンライン】
プリンターがコンピューターからデータを受信できる状態を「オンライン」、受信できない状態を「オフライン」といいます。印刷するときは、オンラインの状態になっている必要があります。逆に、操作パネルを使用してメニュー操作を行うときは、必ずオフラインの状態にします。
オンラインとオフラインの切り替えは、操作パネルのボタンで行います。

【オンラインヘルプ】
コンピューターの画面に表示される説明書です。

【解像度】
画像の細かさを表現する能力をいいます。通常、1インチの幅で何ドットが区別できるか（dpi）を数値で表します。この数値が大きいほど解像度が高い（細部まで表現できる）ことを示します。

【クライアント】
ネットワーク上で情報を蓄積し、ほかのコンピューターにサービスを提供するコンピューターのことを「サーバー」といい、そのサーバーにサービスを要求するコンピューターを「クライアント」といいます。

【クリック】
マウスボタンを1回、押して離すことです。
このマニュアルでは、マウスの左ボタンをクリックすることを「クリック」と呼び、右ボタンをクリックすることを、「右クリック」と呼びます。
また、マウスのボタンをすばやく2回続けて押し、離すことを「ダブルクリック」と呼びます。

【サーバー】
ネットワーク上で情報を蓄積し、ほかのコンピューターにサービスを提供するコンピューターのことをいいます。
逆に、サーバーにサービスを要求するコンピューターを「クライアント」といいます。

【ジョブ】
コンピューターが行う一連の処理を指します。たとえば、1つのファイルを印刷する処理が1件の印刷ジョブになります。印刷の中止や排出は、このジョブ単位で行われます。

【双方向通信】
2つの装置間で互いに情報を送信したり、受信したりする通信のことです。双方向通信によって、コンピューターから印刷データを送るだけでなく、プリンターからコンピューターに印刷状況などの情報を送ることができます。

【ソート】
複数部数を印刷したとき、1部ごとに1,2,3...1,2,3... の順で排出することを「ソート」と呼びます。

【ソフトウェア】
コンピューターを動かすためのプログラムです。OS もアプリケーションソフトウェアもソフトウェアの一種です。

【ドライブ】
ディスクを駆動する装置のことです。フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブ、ハードディスクドライブなどがあります。

【ネットワークパス】
ネットワーク上の目的のコンピューターやファイルまでの経路のことです。
サーバー名を指定する場合などに使用します。

【ネットワークプリンター】
このマニュアルでは、イーサネットケーブルでネットワークに接続したプリンターを「ネットワークプリンター」と呼びます。

【パラレルインターフェイス】
コンピューターと周辺機器との間のデータ伝送方式の1つです。複数ビットのデータを同時に転送します。代表的なものにセントロニクスがあり、プリンターなどの周辺機器との接続に使用します。

【フォント】
書体や字体のことです。統一性を持ったデザインでまとめられた文字の1セットを指します。

【ブラウザー】
インターネットで、WWW サーバーの情報をコンピューターに表示し、見るためのソフトウェアです。代表的なものには、Netscape® Communicator や Internet Explorer などがあります。

【プラグアンドプレイ】
Windows 95/Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP で採用された、周辺機器をコンピューターに取り付けるだけで自動的に動作環境が設定され、すぐに周辺機器を使用できるようにする機能です。

【プリンタードライバー】
アプリケーションで作成したデータをプリンターが解釈できるデータに変換するためのソフトウェアです。

【フルカラー】
コンピューターの画面に表示できる最大の色数で、約1,677万色です。

【プロトコル】
複数の装置やコンピューターシステムが、互いに通信するための約束事です。ハードウェア間で情報を転送する場合の手順の取り決めや、2 つのコンピューターがネットワークを介して通信するための手順の取り決めのことです。

【ポート】
コンピューターが周辺装置と情報をやりとりするための接続部分のことです。

【メートル坪量】
1㎡ の用紙 1 枚の質量です。

【リーガル】
14 × 8.5 インチ (約 356 × 216㎜) の用紙のことです。主にアメリカ合衆国で契約書など法的文書で使用されています。

【レター】
11 × 8.5 インチ (約 279 × 216㎜) の用紙のことです。主にアメリカ合衆国で社外内の文書に使用されています。

【ローカルプリンター】
このマニュアルでは、パラレルケーブルでコンピューターと直接接続したプリンターを「ローカルプリンター」と呼びます。

【ログイン】
コンピューターシステムの資源 (ネットワーク上のハードディスクやプリンターなど) にアクセスできる状態にすることです。また、ログインを終了することを「ログアウト」と呼びます。

索　引

記号・英数

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

DocuPrint C830 取扱説明書

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
発行者 ― 富士ゼロックス株式会社
ドキュメント プロダクト カンパニー
ヒューマンインターフェイスデザイン開発部

発行年月―2002 年 10 月 第 1 版 第 1 刷

(帳票 No:DE3097J1-2)
Printed in China

富士ゼロックス株式会社

● この商品の**保守**(修理)、**操作**のお問い合わせ、および**消耗品**のご購入については、
商品に貼られている**保守サポートの問い合わせ先シール**のあて先にお問い合わせください。

商品に問い合わせ先シールが貼られていない場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。(各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。)

フリーダイヤル　フジゼロックス
0120-66-2209　FAX : 03-3342-1552

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、祝日を除く 9 時～12 時、13 時～17 時30 分、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご使用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

● 富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル
0120-27-4100
フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、祝日を除く9時～12時、13時～17時、東京でお受けします。ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。

● インターネットホームページで富士ゼロックスの商品全般に関する情報、最新ソフトウェア等を提供しています。
http://www.fujixerox.co.jp

2002年　10月　1版　部番：80P8180　帳票番号：DE3097J1-2